

国立

高知大学 2019 大学案内

人文社会科学部

教育学部

理工学部

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部

土佐さがけプログラム



KOCHI でしかできない学び
Super Regional University

学びは、自由を拓く

— 高知は大きな実践の場 —

大学とは、学びたい意欲や積極性に対して、そのチャンスを提供する場。

どうせなら舞台は大きい方がやりがいがあるし、可能性も実現性も、高いほどきっとおもしろい。

高知大学を拠点に始まる、あなたの挑戦。その先に、まだ見ぬ自由が広がっているはずです。

Super Regional Universityへようこそ!



高知大学 学長
櫻井 克年

みなさんはどんな社会人になりたいですか?
社会の求める人材は、自分で考えられる学生。
創造を主導することのできる学生。
つまり、地域を創生することで日本を再生に導くプレイヤーです。
現場を経験して、自分で考えるトレーニングを積み、
あらゆる社会の現場で、活躍できる人材に育つはず。
高知大学は、地域協働型教育を通して
みなさんの、そして社会の期待に応えます。

高知にはあらゆる現場がある。
山頂から、海底までの豊かな自然環境はもちろんのこと、
人間の暮らす社会としての限界集落や小都会もある。
豊富で新鮮な食料と、気さくで親切な人々もいる。
未来の日本のヴィジョンを描くうえで、
土佐の地にどっしりと腰を据えた高知大学での様々な体験と実践は、
きっと、役に立ちます。
高知大学で、みなさん自身とこの社会の未来図を描き、
それを具現化するために、私たちと共に学び、成長しましょう。

そんな、Super Regional University 高知大学へ ようこそ!

INDEX

巻頭特集	
学びは、自由を拓く	
— 高知は大きな実践の場 —	01
学びの構造	11
共通教育	13
▶ 各学部の情報や特徴は?	
学部紹介	
人文社会科学部	15
教育学部	21
理工学部	27

医学部	33
農林海洋科学部	39
地域協働学部	45
土佐さきがけプログラム	49
学びの環境	53
教員紹介	57
▶ もっと学びたい時は?	
大学院	63
国際交流	65

▶ 大学生活について詳しく知りたい	
キャンパスライフ	
学生生活・生活費	67
サークル活動	71
朝倉キャンパス	73
岡豊キャンパス	75
物部キャンパス	77
学びを支える様々な制度や取組	79
入学科・授業料・奨学金制度	80

▶ 就職に関する情報	
就職活動支援	82
▶ 入試に関する情報	
入試データ	86
入試Q&A	89
オープンキャンパス	90

※学生の学年表記は、平成29年度時点です

奥深く豊かなフィールド

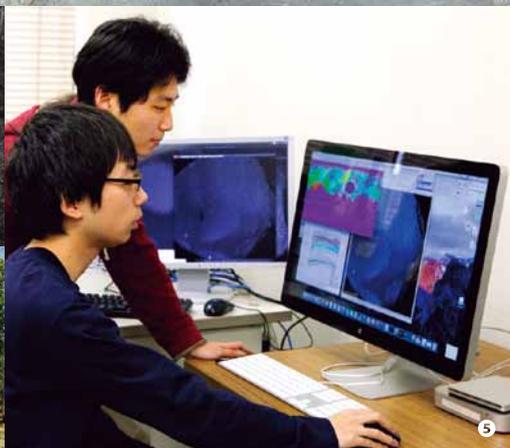
深海から宇宙まで、そして歴史から未来まで——。
高知大学の学びのフィールドは、類をみない壮大なスケールと時間軸で広がっています。



撮影協力:山下浩文氏 ①



写真提供:四国森林管理局 ④



⑤



⑥

森林鉄道から日本一のゆずロードへ 産学官民の協働で、「日本遺産」に認定

地域のアイデンティティ再確認やブランド化を目的に、そこにある“ストーリー”を認定する文化庁の「日本遺産」。その認定に向けた活動に取り組んだのが、高知県中芸地域の住民、企業、行政と本学の教員・学生たちだ。

かつて日本三大杉美林「魚梁瀬杉」を運んだ森林鉄道が(写真④)、林業の衰退後、新たに地域を支える産業となった「ゆず」を運ぶ道に生まれ変わった物語を地道に聞き取り調査してまとめ、2017年、認定に至った。

産学官民のコラボが生んだこの成果は、地域の大きなエネルギーとなって次世代への一歩となっている。

月惑星探査プロジェクトに参画

月周回衛星「かぐや」から、小惑星探査機「はやぶさ2」まで

2018年6～7月、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の探査機「はやぶさ2」が、小惑星「Ryugu(リュウグウ)」に到着する。そのミッションにおいて、光学航法カメラ、分離カメラの開発や画像解析に関わっているのが、本学理工学部だ。教員の指導のもと4年生が取り組むのは、様々な波長で撮影された小惑星表面の模擬画像からの物質分布図作成(写真⑤)。得られた反射スペクトルを機械学習により分類し、小惑星からのサンプル採取を情報科学の手法でサポートすることを目指す。宇宙というフロンティアに思いを馳せ、最先端の技術と向き合う。そんな風景がここに広がっている。

深海底から、過去と未来を探る

JAMSTEC(海洋研究開発機構)や、地球深部掘削船「ちきゅう」との連携

全世界規模の過去の記録が積み重なっている堆積物。それを掘削し、柱状に抜き取った試料が「コア」だ。物部キャンパスにある高知コアセンターは、この研究における世界三大拠点の一つ。世界中から研究者が集まってきており、本学の農林海洋科学部や理工学部の学生も、この施設を活用してハイレベルな研究を行っている(写真⑥)。

また、海底に眠る鉱物やエネルギー資源は、次世代を担う資源として注目を集める新領域だ。国が進める「海のジバンク計画」6事業のうち3つが本学から採択という実績の通り、高知は海底・海洋研究における最前線。先駆けの地なのである。



歴史から未来へ

宇宙から

深海まで

©JAXA/NHK

2

①地域の未来に続くゆずロード

木材運搬だけでなく通学からお嫁入りまで人々の暮らしを支えた「魚梁瀬森林鉄道」(写真④)が、現在はゆずとその食文化を運ぶ「ゆずロード」として再生。

②世界初！満地球の撮影に成功

NHKと共同でJAXAの月周回衛星「かぐや」ハイビジョンカメラでの月面からの“地球の出”の撮影に成功。映像アーカイブシステムの試作には学生も貢献した。

③海山斜面に発達するマンガンクラスト

黒潮が沿岸する土佐湾は、豊かな生物多様性を持つ一方で、沖合の海底はメタンハイドレートやレアメタルなどエネルギー資源・鉱物資源を有する資源の“宝庫”かも知れない。

©JAMSTEC 写真提供協力:白井研究室

3



豊かな海で新種を発見! 日本屈指の魚類標本コレクション

まるで自然史博物館の魚類部門のような理工学部標本室。ここには登録件数12万件、個体数20万点を超える魚類標本が保管されている。学名の基準となる146種1,385標本(ホロタイプ、パラタイプ、ネオタイプ)は学術的に最重要で、特にソコダラやリュウグウノツカイなど深海魚のコレクションは世界有数を自負する。

学生たちは日々、調査船や漁港回りで魚を採集。豊かな海が研究の源だ。



KOCHI てしかできない学び
Super Regional University

研究室と現場を

自然、地域コミュニティ、企業や行政の現場
多彩な実践の場で、「生きた



小規模校に入って支援 少子化の最前線で、ともに育つ

本学教育学部では、学生が多彩な教育の現場に入り、実践を行うプログラムが重層的に組まれている。その一つが「支援実習」だ。

これは一年間を通じて定期的に中山間地域の小・中学校を訪れ、行事支援や授業支援を行うもの。一人ひとりの子どもと深く関わりながら成長を見守ることができるとともに、それを通して学生たちも学びを深めるという相乗効果を生んでいる。





海外の現場を体感する 教員と一緒に、本格的実習

実践の地は、国内だけに留まらない。人文社会科学部「国際社会実習」のスタディツアーでは、海外の様々な現場を教員と一緒に巡る。異文化の中に飛び込み、五感で自分なりの学びをつかみ取ることが目的だ。

農林海洋科学部「国際協働特別プログラム」では、本学とアジアの大学が相互に行き来し、学び合う。農学という地球規模のテーマに、国境を超えてともに挑む第一歩となっている。

行き来して学ぶ

から、国境を越えた海外のフィールドまで。
「学び」が行われています。



企業と大学、連携の学び 新聞記者として学生が活躍

社会で活躍する人を輩出するために近年、力を入れているのは、企業と大学とが協働で行う実践的な教育だ。

その一つ、人文社会科学部の地域ジャーナリズム分野の授業では、現役新聞記者によるリレー講義や新聞社でのインターンシップなど、独自の学びが展開される。実習はハードだが、自分の足で地域を回って書いた記事が載る紙面からは、社会の厳しさを体験した学生たちの成長がうかがえる。



次世代の 人材を輩出

高知できかできない体験を通じて、豊かな感性と高い能力を身につけた学生たちが、世界に羽ばたいています。



2年生で株式会社を起こし、地域の魅力を発信!

カフェ satobito の挑戦

地域協働学部3年 | 三重県立津西高校出身 | 大道 健太



僕たちが実習で入っている大豊町は、県内一過疎化の進む町。そこで地域再生をかけて始まったブルーベリー栽培が停滞している状況を見て、販路開拓を手助けしたいと強く思ったのが起業の動機です。



大学近くにあるカフェ satobito では週5日(月・木定休日)、大豊町産のブルーベリーや柚子を使ったアイスクリーム、地場の食材を活かしたランチなどを提供しています。レシピ開発、接客、売上管理、やるのはすべて学生です。生産者と消費者をつなぐ架け橋として、地域に貢献していきたいですね。

カフェの目玉は14種類のアイス。店内には、実習で関わった様々な地域の加工品や情報誌も置かれる。

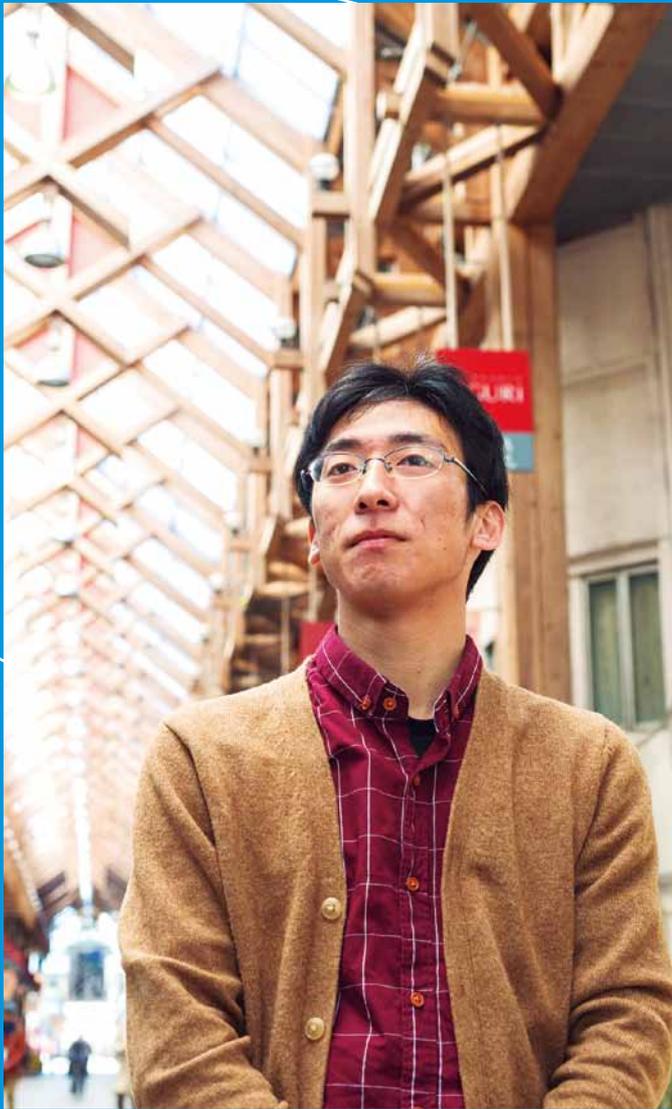
人材育成を支える 様々な取り組み

▶希望創発センター

未来を考える教育で育つ次世代、未来型の教育でつなぐ将来

現在の高知県は、他県に先駆けて少子高齢化や人口減少が進み、環境保全や人材、資源確保だけではなく地域コミュニティの維持も難しくなっています。

だからこそ高知大学では、未来を担う若者の「事実を見る目」を養い、自ら何が課題なのかを考え、周りを巻き込んで



「バリアフリー」をキーワードにした町づくり 学生力で、商店街を元気に！

人文学部（現 人文社会科学部）4年 | 兵庫県 私立神戸星城高校出身 | 岩瀬 誠司



きっかけは、2年生の授業で商店街に入ったこと。現状を知り、もっと継続的に関わろうと学生団体を設立。誰もが利用しやすい商店街を目指し活動を始めました。



手応えを感じたのは、バリアフリーマップの作製です。おかげで安心して外出できたと車椅子の方から声をいただき、うれしかったですね。マップは、その後、高知市、NPOとの共同事業に進展しました。

活動を通して感じたのは、人と人がつながることの大切さ。それが町づくりの起点になると学んだ。

4月から、僕は建設コンサルタント企業で働きます。ここで学んだ町づくりの心を、仕事にも繋げていきたいと思えます。

現場体験から見てきた、理想の将来像 チューター活動で原点を見つめ直す

教育学部3年 | 高知県立追手前高校出身 | 田畑 咲恵



初めて地域の小学校にチューター（学生講師）として入った時、教育現場の現実にとっても驚きました。まず席に座っていない子の方が目立ち、授業をするための環境づくりから支援をスタートしました。



大学の授業や実習先の附属小学校では、授業の指導法、その正確性を学びます。チューターの現場では、学級運営や授業の魅力づくりについて教わりました。「その子のできる最大限をいかに引き出すかが大事」——現場で出会った先生の言葉から、目指す教員像も見えてきました。

キャンパスで地域の小学生と一緒に遊び、学ぶプログラムなど、学内でも様々な体験ができる。

課題解決に取り組むことで、新しい“当たり前”を創り出すことに挑戦できる次世代の人材を育成することを目的として希望創発センターを設立しました。

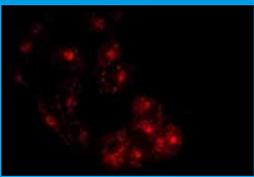
本センターでは、様々な専門知識を持つ県内外の企業、官公庁の方々と本学教員及び学生が既存概念を破るような思考を巡らせます。高知県で成功例を創ることは日本の未来を豊かにすることに繋がるのです。20年後が希望を抱ける明るい未来になるように、ただ待つのではなく自分たちで創ることに挑戦しませんか。





生体深部のミトコンドリアをモニタリング 世界初の蛍光色素で、特許出願

理学部 (現 理工学部) 4年 | 高知県 私立土佐女子高校出身 | 関 仁望



開発した蛍光色素と、それによって光るミトコンドリア。医学の発展に大きく寄与する可能性を持つ。

※一つは高知大学仁子陽補助教との連名、もう一つはそれに加えて山口大学との連名

がんや糖尿病の治療の鍵として研究が進むミトコンドリア。私はミトコンドリア観察用蛍光色素を開発してきました。この色素は、通常時には細胞内ミトコンドリアに吸着しますが、ミトコンドリアに元気がない時には細胞核に移動します。この挙動を蛍光顕微鏡で観察することで、ミトコンドリア活性のモニタリングが可能になるため、今後、生命科学における新たな研究ツールになると期待できます。この研究は、2つの特許出願※と、サイエンス・インカレでの受賞に繋がりました。

クラウドファンディングから、フェア出展まで 土佐あかうし振興プロジェクト

農学部 (現 農林海洋科学部) 4年 | 熊本県立熊本北高校出身 | 久保 里加
4年 | 広島県立府中高校出身 | 藪本 美月



ブランド商標登録やグッズデザインも学生が中心に。ビジネスフェアでは大きな手応えを得た。

土佐あかうしは、脂肪が少なくうまみ成分が多い褐色の和牛。私たちの研究室ではその増頭と肉質向上に取り組んでおり、このほど柚子を飼料に混ぜて育てた新ブランド牛「柚子だっこ」が誕生しました。この「柚子だっこ」を全国に広め、県の畜産振興に貢献したい—そんな思いで学生が中心となって様々な活動に挑戦。高知大学初となったクラウドファンディングや、アグリビジネスフェアへの出展など、社会と繋がりがながら大きな体験ができ、達成感と自信を得ることができました。

人材育成を支える 様々な取り組み

▶地域連携推進センター

地域発展のために 「敬地愛人」～地域を敬い、人を愛する～

地域連携推進センターは「敬地愛人」の理念を掲げ、地域発展のために人材育成、イノベーション創出、科学の発展、技術開発および産業活性化への貢献を目指しています。大学の研究力を活かして地域産業をサポートするとともに、高知県の大部分を占める中山間地域などのコ





日本腎臓学会総会で、921演題の中から選出 快挙！3年生で学会受賞

医学部3年 | 高知県 私立土佐高校出身 | 間崎 護



会員数が一万人を超える大きな学会で、医学部3年生の受賞は異例の快挙。まだまだ挑戦は続く。

今回、私が優秀演題賞を受賞した研究は、急性腎障害の予後に、免疫反応に関連する細胞間相互作用を媒介するタンパク質の一つ、インターロイキン-36 (IL-36) が関連していることを検証したものです。

急性腎障害は、入院患者の3分の1の人に後遺症が残り、3分の1の人が亡くなる重篤な疾患。患者さんの尿中のIL-36を病気の指標として活用し、将来的には創薬まで繋げて予後改善に貢献するのが研究の大きな目標です。今後も臨床と研究、両方を担える医師を目指し努力していきたいです。

コミュニティの維持、発展のため、大学の知や学生の若い力を活かした様々な企画を地域の皆様と協働で実施しています。地域の「産」「官」「民」等との連携を創出し、高知大学が地域課題解決の中核的拠点となるための役割を果たします。



数字が裏付ける 高知大学の實力

97.53%

就職率

76.74%

公務員内定率



就職先県内外比率
(平成29年度卒業生)



学生県内外比率
(平成30年度入学者)



男女比率
(平成30年度学部在校生)

留学生数
(24ヶ国)

海外協定校
うち大学間協定62校(20ヶ国)
部署間協定32校(18ヶ国)

海外派遣
留学生数

140名 94校 110名



人文社会科学部
4年生のゼミ平均人数
4.8人



農林海洋科学部
キャンパス内農地面積
東京ドーム4個分



地域協働学部
1~3年生の実習時間
600時間

74.2%

教育学部
教員就職率

35%

理工学部
開講専門科目の実験
実習科目割合

144%

医学部
サークル加入率

学びの構造

1年

2年

3年

4年

※医学部医学科は6年

共通教育

- 初年次科目
 - 大学基礎論
 - 学問基礎論
 - 大学英語入門
 - 英会話
 - 情報処理
 - 課題探求実践セミナー
- 教養科目
 - 人文分野
 - 社会分野
 - 生命・医療分野
 - 自然分野
 - 外国語分野
 - キャリア形成支援分野

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

専門教育

分野のキーワード

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 社会制度

P.15

学科/課程/コース

人文科学コース

人文社会科学科 国際社会コース

社会科学コース

人文社会科学部

- 幼児教育と乳幼児保育
- 発達や障害に応じた教育支援
- 教育学、心理学の理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 芸術、スポーツの高度な実技と指導法
- 障害のある子どもへの高度な教育支援

P.21

学校教育教員養成課程

幼児教育コース
教育科学コース

国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育・技術教育・家庭科教育の各コース

科学技術教育コース

特別支援教育コース

数学コース

物理学コース

教育学部

- 科学の基礎法則
- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- コンピュータ、情報理論
- 資源、エネルギー、レアメタル
- 生物の多様性、環境、生命現象、古生物
- 防災、南海地震、地球掘削

P.27

数学物理学科

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

理工学部

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

P.33

医学科

看護学科

医学部

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

P.39

農林資源環境科学科

農芸化学科

海洋資源科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

農林海洋科学部

- 地域協働による地域産業振興
- 高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
- 大学での学びと地域での実践の往復
- 6次産業化による農山漁村の発展
- コミュニティビジネスによる地域生活の維持
- 官民協働による地域政策

P.45

地域協働学科

地域協働学部

- 化学、環境、資源
- 語学力と異文化理解で国際貢献
- スポーツ科学で地域に貢献する

P.49

グリーンサイエンス人材育成コース(化学スペシャリスト育成コース)

国際人材育成コース

スポーツ人材育成コース

土佐さきがけプログラム

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文・社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
 - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
 - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
 - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象とその歴史を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
 - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
 - 人や組織の協働を作り出し、その活動を促進する力
- 環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術力
 - 高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
 - スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

進路

進学 → P.63

就職 → P.82

大学院（総合人間自然科学研究科）

修士課程

- 人文社会科学
- 教育学
- 理学
- 医科学
- 看護学
- 農学

専門職学位課程

- 教職実践高度化専攻 [教職大学院]

博士課程

- 応用自然科学
- 医学
- 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院 連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、保育士、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医科学: 病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学: 看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通: 国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など

県・市町村職員、地場産業社員、商工会等職員、グラフィックデザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊、地域資源活用ビジネスの起業家、地産外商農家、コミュニティデザイナー、マスコミなど

修士課程

- グリーンサイエンス人材育成コース(化学スペシャリスト育成コース)

民間企業開発部門、公的研究機関

国際的な企業・団体

スポーツ振興に関わる指導者や審判員

共通教育 General Education

目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。

「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらす、意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」の2つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

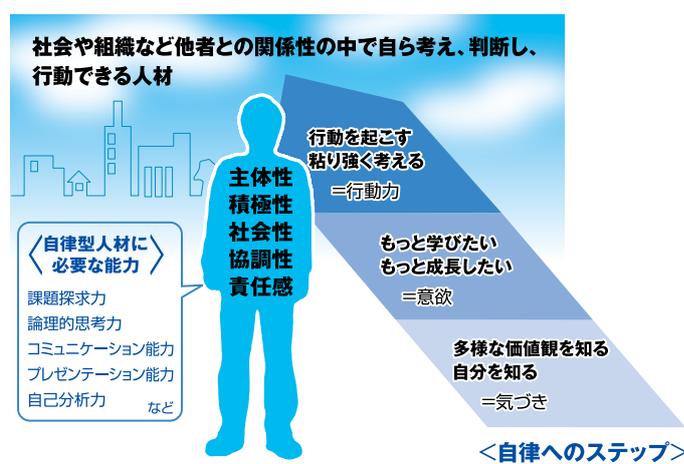
共通教育とは

共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎を身につけるとともに、人生や生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。

大学では、必ず履修しなければならないと指定されている授業(必修科目)以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。



■ 高知大学の考える自律型人材



■ 4年間の履修の流れ



※ 初年次科目、教養科目のほか、一部学部には共通専門科目の区分があります。

▶ 初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

Step. 1 学びの転換をはかる。 — 与えられる学びから、掴みとる学びへ 大学基礎論

大学基礎論は、入学後すぐの1年生第1学期に開講される授業です。その最大の目的は、「学ぶ姿勢を学ぶ」こと。「大学で学ぶ意義は?」「学ぶ目的は?」といった学びの動機を学生自身が再確認し、「教わる」から「掴みとる」へと学びの姿勢を転換します。

また、卒業時に達成していきたい目標を考え、自らの学びを振り返ることにより、これからの大学生活における学びの統合を促進します。

Step. 2 社会と関わり、自律性に目覚める。

課題探求実践セミナー

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。



Step. 3 自律的な学びの土台を築く。

学問基礎論

1年生第2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。



▶ 教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

Extra PBL (Problem Based Learning) 課題探究型授業

みのまわりの科学

グループワークを通じて、自分で学ぶ力やセルフマネジメント力を養う

CMのコピーや女優の声が出すものを、自分で「選択」していると思わず買われていませんか？世の中には一見良さそうな、いかにも正しいことのような間違った情報がいっぱいです。

この授業では、「その情報は本当に正しいの？」に自分で答えられるよう、どのように考え、行動すれば良いかをグループワークを通じて体験します。その過程で、どのように課題を設定し、解決プロセスを考え、行動を持続させるかをメンバーで合意し、実践します。授業が終わる頃には、頑張った人は必ず多くのことを身につけるでしょう。



グループに分かれて課題(テーマ)を決める

持続可能な社会を実現するため、決めたテーマについて多面的にとらえ、議論する。

学習テーマの条件

- 高知の自然に関係している
- 是か非かの二面性を持っている

グループ学習を行う

賛成派と反対派の両方の立場からテーマにアプローチする。

講義時間内

簡単なゲームやオススメ本の紹介バトルなどを活用して、評価的思考やプレゼンテーション力、チーム力等を高める学習を行う。

講義時間外

グループで自主的に調べ学習や体験学習を行う。ネットや文献を活用するほか、インタビューやアンケート調査など、人と接するやり方も行う。

学習結果報告

受講者の感想

- 他の授業では得られない経験ができる
- 面倒なこともあるが、すべて自分の力になる
- 一番面白かった授業
- 自分を変えることができる

互いの存在が
学びの刺激に!

高校生が参加

授業から発展する場合も!

腸内細菌について調べたグループの
発案した腸内細菌活性化メニューが
期間限定で学食に出されました!

約2ヶ月間

計画的に学習を進めていかないとクリアできないため、セルフマネジメント力が養われる。

人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

人文科学コース

国際社会コース

社会科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



人文社会科学部

人文社会科学の新たな学び —人文学部から人文社会科学部へ—

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的・専門的知識を持った人材だけでなく、従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

人文社会科学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編により誕生しました。1学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に

取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。

～平成27年度

人文学部

人間文化学科

国際社会
コミュニケーション学科

社会経済学科

平成28年度～

人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム、日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム

国際社会コース

言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム、ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム

社会科学コース

経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム、法律・政治プログラム

▶ 人文社会科学科人文科学コース2年生第1学期の時間割例（日本語・日本文学プログラム）

※教職をめざす学生の例

	月	火	水	木	金
1時限		中等国語指導法I	生徒指導	教育相談	
2時限		日本語学概論I	中国語中級I		
3時限	専門英語I	中国文学概論I		中国古典文学論I	日本語論I
4時限	特別活動指導法	日本近代文学講読I		基礎演習	日本古代中世文学史
5時限		日本古典文学論I		日本文学概論I	

▶ 人文社会科学部ホームページ

<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>

先輩にきく Message from Student

高校生のみなさん、大学選びも、入学後の過ごし方も、自分なりに納得のいく選択をして将来につなげてください!

自由に自分の学びを創ろう

角 奈都子 人文学部国際社会コミュニケーション学科4年(愛知県立半田東高校出身)

高知は、時代を変える人材を輩出してきたエネルギーあふれる土地です。自然が豊かで人の温かさに触れられる環境もあり、ここで貴重な4年間の学生生活を過ごしたいと考え、高知にきました。

私たちの学部は必修の枠組みがとても柔軟で、かつ授業のバラエティが幅広いため、自分の興味に沿って学びを自由に組み立てることができます。また2年生からゼミが始まり、密度の濃い学びを早くから体験します。私も入学当初からいろんな友達や先輩、先生と出会いながら、やりたい学びを見つけていくことができました。

さらに高知大学では課外活動も活発です。私も学内外のNPOや国際交流団体に参加して国境を越えたボランティア活動を行ったり、新たな学生団体を立ち上げたりと、今しかできないことにたくさん挑戦しました。



「東南アジア青年の船」事業にて、ディスカッショングループのメンバーと伝統衣装を交換

一番大きな経験となったのは、3年生の秋から1年間、内閣府国際交流事業「東南アジア青年の船」事業に参加したことです。これは日本と東南アジアの青年280人が船上で共に暮らし交流するプログラムで、様々な文化や考え方に触れ、大きく成長することができました。

高知は、何かやりたいという気持ちを実現するチャンスにあふれた場所——ここで学べてよかったと心から感謝しています。



教員にきく Message from the Dean

学びの扉を叩こう

中川 香代 人文社会科学部長

人文社会科学部の最大の特徴は、一つの学部にいながら「人文科学」「社会科学」「地域と国際」の幅広い分野を学べること。それを可能にしたのが、本学部独自の履修システムです。まずは「プラットフォーム」という学部共通の科目の中で、基礎的な勉強をしながら視野を広げます。やがて所属コースの専門を軸に、15のプログラムの中から自分の好奇心と目標にあわせて学びを選び、自分だけのテーマを見つけていきます。

現代社会では、例えば“文化と企業がつながる”、“地域に軸足を置きながら国際的視野で考える”というように、様々な分野が融合し、専門家同士が協力し合って物事を考えたり動かしたりしています。だからこそ皆さんにも、広い視野を持ちながら専門的な知識と深い思考力を身につけてほしいと考えています。

大学は自由で、敷かれたレールもありません。自分で叩いていかないと扉は開かれないけれど、叩けば必ず世界は広がります。高知大学の4年間で、自律的に学び、自分をデザインしてってください。



カリキュラム例

人文学科コース	国際社会コース	社会科学コース
講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。	講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。	講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 哲学・思想プログラム: 西洋近代思想・倫理学・宗教学論 ■ 心理学プログラム: 認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学 ■ 歴史・地理学プログラム: 日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学 ■ 日本語・日本文学プログラム: 日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学 ■ 英米文学プログラム: イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 言語・コミュニケーションプログラム: 第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション ■ 総合文化プログラム: 英米文化史、比較文化論(日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中)、言語文化論(アメリカ・イギリス・フランス・中国等) ■ グローバル社会プログラム: 越境社会論、国際関係論、世界経済論、経済発展論、文化人類学 ■ ヨーロッパ地域プログラム: ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史 ■ 南北アメリカ地域プログラム: 南北アメリカ関係論、南北アメリカ特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級 ■ アジア・オセアニア地域プログラム: アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション、中国経済社会論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済理論プログラム: ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学 ■ 経済政策プログラム: 地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論 ■ 経営・会計プログラム: 経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会计学原理、流通論、経営史、マーケティング論 ■ 法律・政治プログラム: 憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法

人文社会科学科 Department of Humanities and Social Sciences

3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。

コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。

ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べるしくみです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする学生の希望にも応えます。



4年間の流れ	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業論文
人文科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
国際社会コース		各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
社会科学コース	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修				
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求実践ゼミナール 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ (基礎演習)	ゼミナールⅢ、Ⅳ (専門演習)	ゼミナールⅤ、Ⅵ (卒論演習)	
プラットフォーム科目	基礎科目 (1・2年次履修)	外国語科目 (2年次～履修)	発展科目 (2～4年次履修)		

人文科学コース Humanities Course

さまざまな「知」のあり方に触れて、分析力と問題解決能力を養う

学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養いながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を高めていきます。

5つのプログラム

哲学・思想プログラム 歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探求します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拓けていきます。	心理学プログラム 心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。	歴史・地理学プログラム 歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史資料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。
日本語・日本文学プログラム 古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。	英米文学プログラム 英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語・文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。	



国際社会コース International Studies Course

分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×地域の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》です。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化/自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

6つのプログラム

<p>言語・コミュニケーションプログラム</p> <p>言語・コミュニケーションプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。</p>	<p>総合文化プログラム</p> <p>総合文化プログラムでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤としています。あわせて、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象に社会と文化のあり方を考える発展的な科目も学んでいきます。文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。</p>	<p>グローバル社会プログラム</p> <p>グローバル社会プログラムでは、現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチします。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学んでいきます。さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会についても学びます。</p>
<p>ヨーロッパ地域プログラム</p> <p>ヨーロッパ地域プログラムでは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学びます。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。</p>	<p>南北アメリカ地域プログラム</p> <p>南北アメリカ地域プログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。英語系科目に加え、スペイン語系科目も基盤として学ぶことができます。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。</p>	<p>アジア・オセアニア地域プログラム</p> <p>アジア・オセアニア地域プログラムでは、実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。</p>



社会科学コース Social Sciences Course

経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学習することで、物事を複眼的・多角的に捉えて考える力を養い、社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

4つのプログラム

<p>経済理論プログラム</p> <p>経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。</p>	<p>経営・会計プログラム</p> <p>経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えると同時に、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。</p>
<p>経済政策プログラム</p> <p>経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。</p>	<p>法律・政治プログラム</p> <p>法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。</p>



Pick Up ▶ 授業

人文社会科学の「知の創造」を学ぶ

人文社会科学部において学び、研究(リサーチ)していくための出発点として、1年生の第2学期に「リサーチ・リテラシー」を学部生全員が履修します。

この科目では、人文社会科学という学問領域の全体像を理解するとともに、そこに共通するリテラシー(必要情報を引き出し活用する力)を学び、学生一人ひとりが研究の基礎力を身につけることを目指します。

人文社会科学のなかには複数の専門領域が含まれており、私たちは実に多様な対象を多様な方法で取り扱っています。たとえば、歴史学における古文書などの文献資料、社会学でのアンケート調査データ、経済学での統計データなど、各専門領域には、ほかにも多様なデータ・資料があります。それらをどのように集め、整理し、どのような視点からどのように分析し、新たにデータ・資料を生み出すのか、本授業で、専門研究者の講義とグループ・ワークにより学んでいきます。



01:研究者が資料・データの集め方や読み方を指導します 02:学生どうして資料の内容を検討します
03:じっくり分析します 04:グループで意見を交換しながら学習します

卒業論文テーマ例

人文社会科学科 人文科学コース

カント哲学における純粋理性の第一アンチノミーについての考察(哲学)／動物愛護における人間の責任(倫理学)／日本の神話・民話における異類婚姻譚—蛇から狐、狸への変遷について—(宗教学)／ワーキングメモリにおける視空間スケッチパッドと音韻ループの関係(心理学)／自己複雑性と自己注目が気分不一致効果に及ぼす影響(心理学)／土佐における須恵器の在地化(考古学)／五大老としての宇喜多秀家(日本史)／古代中国の蹴鞠文化(東洋史)／タイタニック救済基金からみるイギリスの慈善活動(西洋史)／離島の観光振興(地理学)／森鷗外と平出修—大逆事件をめぐる—(日本近代文学)／和泉式部日記における「月」—月の描写と日記の構成意識をめぐる—(日本古典文学)／尊敬表現「をらる」—江戸時代を中心に—(日本語学)／Peter Pan におけるネバランドの現実性(イギリス文学)／Absalom, Absalom! 論—喪と語りをめぐる—(アメリカ文学)／英語と日本語における「時間」のメタファーについて(英語学)

人文社会科学科 国際社会コース

Improvement of Self-esteem through Project-based Language Teaching / フランス語における借用語の諸相—kamikazeから考察する日本語との関わり / 若者言葉に見られる意味の転換についての考察—「ヤバイ」の意味変化について / 現代日本における古い氾濫とその社会背景 / プライバシーの誕生とトイレの発展 / 茶室から学ぶ日本人の精神 / 明治期における肉食—栄養面の強調と洋食の広まり / ジェンダーに関する制度と意識—男女平等賃金を中心

に / タイ・バンコクのスラム改善政策と内発的發展—CODIのバーン・マンコン・プログラムを中心に / スウェーデンの事例から見る成人教育とジェンダー・イクオリティの関連性 / 現代アメリカの差別意識について—エーリッヒ・フロムからみるアメリカの人種差別的根底 / 子どもの貧困と「子ども食堂」の可能性—高知県内の事例を中心に / 人口減少社会における過疎地域の取り組み—高知県橋原町を事例に

人文社会科学科 社会科学コース

commonsからアンチcommonsへの転換についてのゲーム理論的分析 / 中山間地域における小学校児童数の動向分析—大豊町を事例として— / 大豊町原集落と他出子の関係から集落の将来を考える / 耕作放棄地対策としての放牧利用の可能性の検証 / 日曜日における「生活市」概念の検証—新しい利用規制に向けて— / トレーサビリティに関する研究—米と牛肉を中心に— / 高齢者世帯における老後の最低所得補償 / 農林漁家民宿における品質保証制度の検討 / 雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方 / 地方百貨店の再生法を考える—岡山天満屋本店を例に— / 中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響 / 衣料品市場における競争環境の変容とアパレル間格差 / これからの夫婦財産制度について考える / 交通事故の損害賠償における逸失利益の格差について / 忘れられる権利について—EU裁判所2014年5月13日先決裁定を中心に— / 少年法改正による理念の変容とその妥当性に関する考察 / 憲法と民法の規範構造の関係について

取得できる資格等

人文社会科学科 人文科学コース

中学校教諭一種免許状(国語・社会) / 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書 / 認定心理士

人文社会科学科 国際社会コース

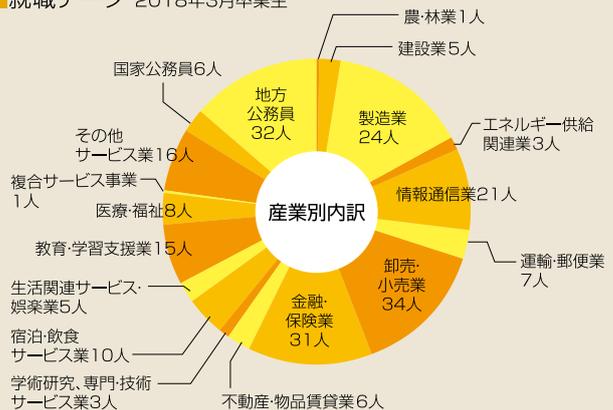
中学校教諭一種免許状(英語) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書

人文社会科学科 社会科学コース

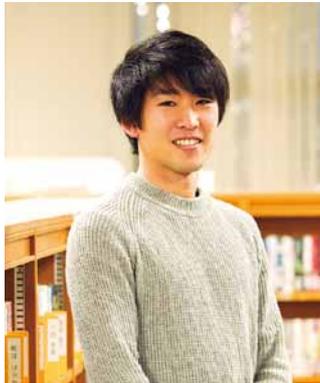
中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民・商業) / 学芸員 / 日本語教員養成課程単位修得証明書

※なお、コースを越えた免許の取得をさまたげるものではありません。

就職データ 2018年3月卒業生



Voice! 内定者の声



野本 和歩 (兵庫県立西宮高校出身)
SMBC信託銀行 平成29年度卒業

親元を離れて自立したいという思いがあったこと、高校の国際経済科で学んだ金融の分野についてさらに知識を深めたいと考え、高知大学にやってきました。

人文学部(現 人文社会科学部)は教授陣ととても距離が近く、わからないことがあればマンツーマンで教えてもらえる環境でした。3年生からは金融論のゼミに入り、新しいビジネスを生み出すことについて学び、能動的に思考する授業の中でいろいろな視点に立って考えることができるようになりました。

就職活動は金融だけに絞らず、いろいろな業種にチャレンジしました。さまざまな会社を知り、面接を受けるうちに、「金融の道に進んでやりきる」という自信と信念が生まれたように思います。

金融は、自分のアイデアと提案力が勝負。お客様と丁寧に関わる個人向けの業務に就きたいと考えていたところ、新卒採用が3期目という新しい信託銀行から内定をいただきました。若い会社で即戦力となり、自分らしく仕事に邁進したいと思っています。

大学2年生の春、イギリスに短期で留学しました。リスニングの力がつき、視野がぐっと広がりました



大学4年間、フットサルに熱中。3年生の時には四国インカレで優勝しました。

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人文社会科学科 人文科学コース ※旧人間文化学科

高知県庁、兵庫県庁、奈良県庁、鹿児島県庁、沖縄県庁、高知市役所、備前市役所、津山市役所、堺市役所、いの町役場、大豊町役場、岡山県立高等学校教員、広島県警、大阪府警

青山商事、アニメイト、岡山県立大学、亀田製菓、香川銀行、九州旅客鉄道、高知県市町村総合事務組合、高知県信用保証協会、高知銀行、高知信用金庫、佐川急便、ザクザク、四国銀行、島根銀行、四国労働金庫、スタジオアリス、全国健康保険協会、全国労働者共済生活協同組合連合会、損保ジャパン日本興亜、中国木材、TKC、西尾レントオール、日本年金機構、日本郵便、NEXCO西日本サービスホールディングス、農林中央金庫、百五銀行、ビッグカメラ、福山市農業協同組合、マイナビ、丸住製紙

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院、立教大学大学院、関西大学大学院、国立武蔵野学院付属児童自立支援専門員養成所

人文社会科学科 国際社会コース ※旧国際社会コミュニケーション学科

高知県庁、岡山県庁、徳島県庁、神戸市役所、高知市役所、串間市役所、自衛隊、高知県警、岡山市消防局、高知市消防局、高知県公立学校教員(高等学校) ANAウイングス、あなぶき興産、エイチ・アイ・エス、SMBC日興証券、NTTデータ四国、NTTデータ東海、大分銀行、京都銀行、共栄社化学、紀陽銀行、技研製作所、高知銀行、国立病院機構、高知さんさんテレビ、四国銀行、JAえひめ中央、奈良県農業協同組合、JTB西日本、スズキ、全日本空輸株式会社、損害保険ジャパン日本興亜、第一生命、大和証券、徳島銀行、鳥取銀行、ナイガイ、日本郵便、富士通、富士重工業、マイナビ、三菱商事、三菱電機、明治安田生命保険、良品計画

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、鳴門教育大学大学院、琉球大学大学院、広島大学大学院、武蔵野美術大学大学院

人文社会科学科 社会科学コース ※旧社会経済学科

原子力規制庁、厚生労働省広島労働局、国土交通省四国運輸局、国立印刷所岡山工場、四国財務局、高松国税局、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、労働基準監督署、徳島地方検察庁、高知県庁、鳥取県庁、愛媛県庁、徳島県庁、大分県庁、宮崎県庁、御坊市役所、尾道市役所、浜田市役所、阿南市役所、高知市役所、越前町役場、中土佐町役場、那賀町役場、東みよし町役場、警視庁、香川県警、高知県警、福岡県警、田辺市消防職、西条市消防職

伊予銀行、伊藤忠食品、愛媛銀行、SMBC信託銀行、大塚製菓、カリモク家具、香川銀行、近畿車両、高知新聞社、山陽新聞社、資生堂ジャパン、四国銀行、JA岡山、スターバックスコーヒージャパン、千趣会、全国農業協同組合連合会、ダイハツ九州、帝国データバンク、鳥取銀行、土佐塾、東京海上日動火災保険、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、TOKAIホールディングス、日本郵政四国支社、西日本高速道路、野村証券、パソナキャリアカンパニー、ミズノ、ゆうちょ銀行、両備ホールディングス、ローソン

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、鳴門教育大学大学院

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育教育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



アドミッションポリシー

教育学部は、「幅広い教養と教育（保育）とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育（保育）という営みや教師（保育士）という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 教育実践に必要なとされる幅広い教養や教育（保育）に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 主体的に課題を探求する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育と教師（保育と保育士）の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。



▶ 学校教育教員養成課程 松岡紗希さんの3年生第1学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		初等社会科	生徒指導	教育相談	食生活論
2時限	8:00~16:30	中等家庭科指導法I			教育評価(初等)
3時限	小学校で 学習コンピューター 活動	被服学概論		専門演習I	教育実習総合 研究
4時限		特別支援教育概論		被服製作実習	
5時限					

▶ 教育学部ホームページ

<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>

先輩にきく Message from Student

常に子どもたちと接しながら学べる

松岡 紗希 学校教育教員養成課程4年(高知県立中村高校出身)

高知大学では、正課の授業はもちろん、ボランティアやサークルなど様々なかたちで学校現場と関わりながら学ぶことができます。チャンスはゴロゴロ転がっているので、上手に掴んで将来につなげてほしいと思います。

私が初めて子どもたちと接したのは、1年生の「フレンドシップ事業」です。これは、小学校に向向いてゴミ拾い活動をしたり、大学に小学生を招いて大規模なレクリエーションをしたりするもので、1年生が主体となって企画・実施されます。子どもたちに関わることの楽しさや、教員になるために自分に足りないものを実感する機会になりました。2年生では一つの小学校に1年間通って子どもたちと関わる「支援実習」や、3年生では附属小学校での教育実習も経験しました。また、私は授業以外にも興味のあることに積極的に参加してきました。「こどもの森」と



環境劇では、エコを啓発するヒーローの役を熱演!

いうボランティアサークルで小学校の親子参観日に環境劇を披露したり、「学習チューター」として小学校の授業支援に行ったり、小学生の朝ごはんの習慣化を目指した「おはなしモーニング」という活動に向向いたり…。学生のうちからこんなに多くの実践の機会を経験できるのは、高知大学ならではの! とても恵まれていると感じます。

将来、誰からも信頼してもらえる温かい先生になるのが私の目標。学びと実践をさらに深め、夢を叶えたいと思います。

附属小学校での教育実習では、1・2年生の複式学級を担当。将来は高知県の教育に貢献したいです!



教員にきく Message from Professor

教育の未来を担うリーダーを育てる

玉瀬 友美 教育学部 教授、高知大学教育学部附属幼稚園 園長

高知大学教育学部の一番の特徴は、実践的な学びをふんだんに取り入れていることです。本学部に来る学生は、「子どもが好き」「子どもたちの成長に関わりたい」という高い意欲を持っています。それを、座学ばかりで低下させてはもったいない(笑)。実習と講義を行ったり来たりしながら同時並行で学ぶことで、難易度の高い知識もよく身に入ってくるし、実践もより深まります。

幼児教育や学校教育における基本——「子どもの主体性をいかに伸ばしていくか」。これは実は、大学教育でも同じです。学生自身から出てきた気づきやアイデアを活かし、それをいかに実践に結び付けていくか、またそこからいかに研究的な視点を持つかが、非常に重要。目指すのは、教育の現場でリーダーシップを発揮し、日本の教育を底上げしていける教育者の育成です。ぜひ、私たちと共に高知大学で学びましょう!



カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学概論 教育心理学概論 特別活動指導法 教育の方法・技術 教育相談 同和教育論 道德教育 生徒指導	課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業) 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 支援実習 応用実習 実践的に学ぶ指導法	■教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレンティング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I~IV 卒業論文 教職キャリア開発論 演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 小学校外国語活動・英語教育 高知県の教育

学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

子どもたちに豊かな人間教育を

教育理念

本学部は、「本気の教員になろう!」を合い言葉に質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育、グローバル化に対応した英語教育など現代の教育課題に応じた教育プログラムを充実させています。また、幼児教育コースを設置し、幼稚園教諭・保育士の養成も行っています。

学びの特色

小学校および中学校、特別支援学校の教員養成を一体的に行っていることを特色としています。また、4年間一貫した実習系授業を設定していることも特色です。実際に、子ども達や教職員、地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力、発達段階に応じた適切な教育的関わりを身につけることができます。本課程では、教員免許の取得が必須です。



教育現場と同じ教材・教具・雰囲気を再現し、実際の教育現場を想定した実習を行うことができる模擬授業教室も設置されています。また、遠隔講義システムが完備されており、いくつかの教室と附属小・中と連携しながら学習を行うことができます。

コース紹介

▶ 幼児教育コース

乳幼児保育および幼児教育における 高度な専門性と研究・実践力を育む

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としています。同時に、就学後の教育を見据えた乳幼児保育・教育を考えられる幼稚園教諭・保育士を養成するために、小学校・特別支援教育に関する科目も履修を必須としています。さらに、高知の保育やペアレンティングの支援等の授業を通して、子どもを取りまく現状について学びます。

また、コースの学生を中心に企画・準備した様々な遊びを未就学児や保護者の方に体験していただく地域子育て支援広場「あそぼーや」などの地域連携活動も行っています。充実したカリキュラムのもと、多様な学びの機会を準備しています。



▶ 教育科学コース

多様で複雑な教育課題を読み解き よりよい未来を切り開く力を育む

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。本コースの学習は、教育を教室や学校でのものだけに限定せず、広い視野から捉えていることが特徴です。

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、深く読み解き粘り強く思考・試行する力を養います。



▶ 国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育／技術教育／家庭科教育の各コース

教科内容の専門性と教科指導の 実践力を培い、「確かな学力」を育む

教科の各コースでは、教科内容・指導方法を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身に



▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ



つけた優れた実践力を持った学校教員の育成を目指します。

各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての専門的な理論と実践を学びます。併せて、その基礎となる教科の内容について専門的に学びます。

さらに、現代の子ども達の課題に応じた教科学習の指導法や教科の専門的な知識を探究し、新たな教科指導を創造していくことのできる「学び続ける教員」の養成を目指します。



▶ 科学技術教育コース

**知的好奇心と探求心を高め
科学的思考・技術に結実させる力を育む**

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。

また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。



▶ 特別支援教育コース

**子どもの教育的ニーズに応じた
適切な指導・支援ができる力を育む**

本コースでは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法を中心に、視覚障害や聴覚障害、情緒障害や発達障害の子どもの教育について学びます。また、児童生徒の学習上や生活上の困難を分析するための理論についても学びます。

現在、発達障害の子ども達への支援を始めとしたユニバーサルデザインに基づく教育が求められ、特別支援に関する知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。本コースでの学習・研究を通して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育成します。



新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところで転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

子どもと一緒に楽しみながら接し方のヒントが見つかる

吉川 真末 学校教育教員養成課程3年生（高知県立高知西高校出身）

からふるカンパニーは、小学生の学習支援を行うサークルで、週に1度、高知市の小学校2校の放課後学習室で活動しています。他の学習チューター（授業支援）とは異なり、学習支援だけでなく、オリジナル教材を自分たちで作ったり、子どもたちのお楽しみ企画を計画したり、1年間を通して子どもたちと関わることができます。子どもたちが自分のことを話してくれたときなど、徐々に距離が縮まってきたことを実感したときは、とても嬉しかったですね。また、先輩から子どもとの接し方を学んだり、小学校の先生方とのつながりができて、入学したばかりの1年生の様子や、参加日や保護者会の様子を知る貴重な機会をもらえたりと、とても勉強になっています。

教職に就いてからも、この活動を通して学んだ「子ども一人ひとりをしっかり見る」ということを大切にしていきたいです。



吉川さん



放課後学習室での活動の様子

Voice! 内定者の声



島崎 桂子（高知県 私立土佐高校出身）

高知県立学校教員（小学校） 平成29年度卒業

小学校教諭である母の背中を見て育ちました。子どもたちへの愛にあふれ、大人になっても慕われる母のような先生になりたいと思い、高知大学に進学しました。

社会科を選んだのは、身の回りで起こったこと、今起こっていることについて、子どもたちに興味や関心を持ってほしいと思うからです。「覚える」のではなく、話を理解し、もっとその先を知りたいと思うようなストーリー性のある授業をしていきたいです。

在学中は、教育実習はもちろんのこと、子どもたちの学習支援を行う学習チューター、小1サポーターとして現場を経験したことが、とても勉強になりました。小1のクラスで発達障害の児童と関わる機会があり、最初は席に着かせることも難しかったのですが、やがて心を開いてくれるようになりました。できることから少しずつ進め、丁寧に心を通わせることの大切さを学びました。また、「教育者になる」という同じ夢を追う仲間存在は心強く、「こんな場合はどうする?」と意見を交わし、真剣に学び合ったことも大きな力になっています。

4年間で有意義に過ごしたいと、いろいろなことに挑戦しました。アルバイトでは接客業の楽しさや難しさを学び、時間を見つけてはスキーやスノボ、ダイビングにも行きました。2、3年生ではよさこい祭りに参加し、旅行にも出かけ、社会科の授業に役立ちそうなことはメモを取るようになっていました。これらの経験で得た知識や楽しさ、改めて実感した高知の魅力なども、子どもたちにリアリティーある言葉で伝えられたらいいなと思っています。

4年生では応用実習を履修し、小規模校での密度の濃い現場体験により、目指す教育者像が見えてきました!



「まずは自分が気づき、楽しむことから!」。海は高知県の豊かな資源だと実感しました。

卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。（企業名は五十音順です）

北海道中標津町立学校教員（義務教育学校）、宮城県立学校教員（中学校）、千葉県立学校教員（中学校）、横浜市立学校教員（小学校）、愛知県立学校教員（小学校・高等学校）、大阪市立学校教員（小学校）、大阪府私立学校教員（高等学校）、堺市立学校教員（中学校）、三重県立学校教員（中学校）、和歌山県立学校教員（幼保・小学校・中学校）、兵庫県立学校教員（小学校・中学校）、神戸市立学校教員（中学校）、岡山市立学校教員（幼保・小学校・中学校）、広島県立学校教員（小学校・高等学校・特別支援学校）、山口県立学校教員（小学校）、香川県立学校教員（小学校・中学校）、香川県私立学校教員（中学校・高等学校）、愛媛県立学校教員（小学校・中学校・高等学校）、徳島県立学校教員（小学校）、鳴門市立学校教員（幼稚園）、高知県立学校教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援）、高知県私立学校教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）、高知大学教育学部附属中学校教員、佐賀県立学校教員（小学校）、宮崎県立学校教員（特別支援学校）

会計検査院、四国運輸局、中国四国農政局、福岡入国管理局、陸上自衛隊、高知県庁、福井県庁、京都府庁、三田市役所、高松市役所、高知市役所、大阪府警、熊本県警、東京都消防庁、姫路市消防局、三田市消防局、岡山市消防局

阿波銀行、伊予銀行、FC今治、FC大阪（アールダッシュ）、オハヨー乳業、花王カスタマーマーケティング、香川大学、高知県農業協同組合中央会、高知信用金庫、高知銀行、高知大学、サッポロビール、JAえひめ南、資生堂ジャパン、四電エンジニアリング、四国銀行、蛇の目マシン工業、ジャパネットホールディングス、ダイハツ工業、天満屋、徳島市農業協同組合、徳島県農業共済組合、西日本旅客鉄道、日本生命保険、日本放送協会、野村證券、パナソニック、福山通運、水戸ホーリーホック（サッカー競技者）、三井住友銀行、ヤンマー

▶大学院進学先

高知大学大学院、愛媛大学大学院、岡山大学大学院、島根大学大学院、鳴門教育大学大学院、広島大学大学院

壮大なスケールの世界を解き明かす

理工学部

Faculty of Science and Technology

学科・コース

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



理工学部

理学部は理工学部へ

高知大学理学部は、地域・社会のニーズにあわせた「理工学部」に生まれ変わりました。この新学部は、論理的思考を重視する理学教育に、実用を重視する工学教育の融合を目指しています。

新学部には、自然科学の基礎を支える「数学物理学科」、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを扱う「情報科学科」、南四国の豊かな自然を生かす「生物科学科」、化学と生命科学の基礎に高度な技能を積み上げる「化学生命理工学科」、地球を理解して総合的な防災力を身につける「地球環境防災学科」の5学科構成となっています。

～平成28年度

理学部

理学科

数学コース

物理科学コース

化学コース

生物科学コース

地球科学コース

応用理学科

情報科学コース

応用化学コース

海洋生命・分子工学コース

災害科学コース

平成29年度～

理工学部

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

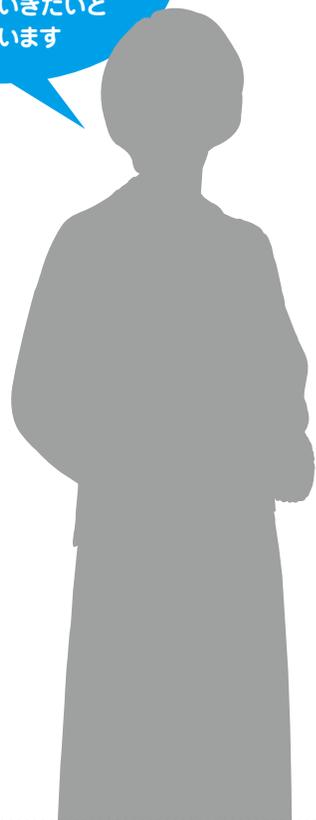
▶ 数学物理学科 物理科学コースの3年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限					物理化学Ⅱ
2時限	(教養科目)	固体物理学Ⅰ			量子力学Ⅰ
3時限	相対性理論	理工学英語ゼミナールⅠ		(教養科目)	物理化学演習
4時限		中等理科指導法Ⅲ			物理科学実験Ⅱ
5時限					物理科学実験Ⅱ

▶ 理工学部ホームページ

<http://science.cc.kochi-u.ac.jp/>

卒業後は、
大学院進学を考えています。
自分の可能性や選択肢を
より広げていきたいと
思っています



先輩にきく Message from Student

夢を叶えるための学び

理学部3年（宮崎県出身）

高校時代からの私の夢は、化粧品会社で働くこと。その夢を叶えるために「天然物化学」を学ぼうと考え、高知大学に来ました。

入学してまず戸惑ったのは、自分で授業を組み立てる履修登録です。興味ある科目は全部取りたい、でも必修単位を満たすのかと不安でしたが、先輩のアドバイスに助けられました。実はこの学部には「い組」「ろ組」「は組」・・・と、学部を1年生から4年生まで縦割りにした組があり、同じ組の先輩が後輩の面倒を見てくれます。楽しい交流イベントなどもあり、おかげで私もすぐに周囲になじむことができました。

1年生の授業で印象的だったのは、学部横断で行われる「課題探求実践セミナー」です。グループ学習を通じていろんな学部・学科の人と出会い、刺激をもらいました。また2年生では、土佐湾にある海洋生物研究教育施設に泊まり込んで行ったウニの発生の観察実験がとても面白く、心に残っています。

3年生の現在は、様々な学生実験を行う傍ら、4年生に備えて理論や反応式の予習・復習に取り組んでいます。希望通りの天然物化学研究室に配属が決まっており、本格的な研究が今からとても楽しみです。高校の授業は、与えられた課題をすることで理解できました。けれど大学では違います。自分から学ぼうという積極的な姿勢が必要です。夢を叶えるため、精一杯学びたいと思っています。

教員にきく Message from the Dean

理学の知を基盤に、工学の応用を身につける

鈴木 知彦 理工学部長

高知大学理工学部は、理学をベースに進化した理工学部です。論理的思考力を重視する理学教育がまず土台にあり、そこに実用を重視する工学を融合させました。科学技術が加速度的に進化する今、基礎となる学問知識や思考力をしっかり身につけておかないと、理工系人材として活躍することはできません。そこで高知大学では、3つの学部共通科目と2段階の専門科目をくさび型に学んでいくカリキュラムを構築しました。学部共通科目では、理工系人材に欠かせない知識や思考力、英語力、倫理観を学び、また早い段階から社会に目を向けキャリアへの意識を養います。さらに専門科目では、学科ごとに基礎と専攻の2段階科目群で専門性を高め、応用力を培ってきます。受験生のみならず、用意されたレールの上を行く学びではなく、自分でもがきながら考え見出していく学びをここで体験し、我々と共に社会の期待に応えられる理工系人材を目指しませんか？



カリキュラム例

数学物理学科	情報科学科	生物科学科	化学生命理工学科	地球環境防災学科
<p>■数学コース</p> <p>微分積分学や線形代数学を基盤として、解析学 幾何学、代数学、確率・統計学を中心に学びます。</p> <p>■物理科学コース</p> <p>力学分野、電磁気学分野、熱統計学分野、量子物理学分野、応用物理学分野、実験科目</p>	<p>計算機システム学、オペレーティングシステム論、プログラミング演習、情報ネットワーク論、人工知能工学、情報理論、シミュレーション工学、アルゴリズムとデータ構造、数値解析、画像処理論、情報解析学、デジタル回路実験、データベースシステム、離散数学、ヒューマンコンピュータインタラクション、情報社会と情報倫理</p>	<p>植物分類学、動物分類学、生態学、古生物学、比較生化学、動物生理学、細胞生物学、植物形態学、脊椎動物学、系統進化学、保全生物学、古生態学、理論生物学、生物圏進化学、地球表層動態学、タンパク質科学、代謝生理学、分子生理学、原生動物学、植物生理学、細胞構造構築学、生物多様性学、化学分類学、海洋環境学、動物生態学、水界生態学、海洋植物学</p>	<p>分析化学、物理化学、有機化学、無機化学、量子化学、錯体化学、天然物化学、分子生物学、細胞機能学、有機・高分子化学実験、無機・物理化学実験、遺伝子工学実験、生命分子工学実験、高分子化学、光機能創成化学、反応工学、無機材料化学、有機材料化学、ケミカルバイオロジー、発生工学、遺伝子工学、細胞工学、進化生物学</p>	<p>■必修</p> <p>地球環境防災実習、地震学ほか</p> <p>■選択必修</p> <p>連続体力学、気象学、地球ダイナミクス、構造力学、地盤工学、水理学、構造地質学、地震地質学、岩石学ほか</p> <p>■選択</p> <p>物理探査法、大気環境工学、耐震工学、防災計画学、鉱物学、テクトニクス、地球掘削科学、海洋地質実習ほか</p>

理工学部 Faculty of Science and Technology

教育理念

理工学部は、論理的思考を重視するこれまでの理学教育に加え、実用を意識した工学教育を融合させて、新しい理工学教育を目指します。このため、他大学の理工学部とは異なり「理学の基礎に強い」人材育成が特徴です。卒業時に取得できる学位も、理学教育を追求する「数学物理学科」と「生物科学科」は『学士(理学)』、理学はもちろん理工学教育を充実させた

「情報科学科」「化学生命理工学科」「地球環境防災学科」は『学士(理工学)』となります。さらに、「英会話」や「科学英語」などの英語教育を通して、グローバル化への対応も行います。

数学物理学科 Department of Mathematics and Physics

知的文化の創造と人類進歩を目指して

コース紹介

▶ 数学コース

数学的・論理的思考力はすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、数学の代表的な分野である解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に数学的・論理的思考力を養成します。また、必要単位を習得することにより中学校・高等学校の数学教員免許を取得することができるので、数学をしっかり学び、卒業後は数学の先生になりたいという方にもおすすめです。



▶ 物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、宇宙線・電磁現象、核物質・クォーク物質などの研究に応用する力を養います。そして、社会の多種多様な分野で独創性を発揮できる人材の育成を目指します。



情報科学科 Department of Information Science

未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについて、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい理論や学問の創出のみでなく、次世代の新技术や産業の発展に貢献しています。情報科学科では更なる高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



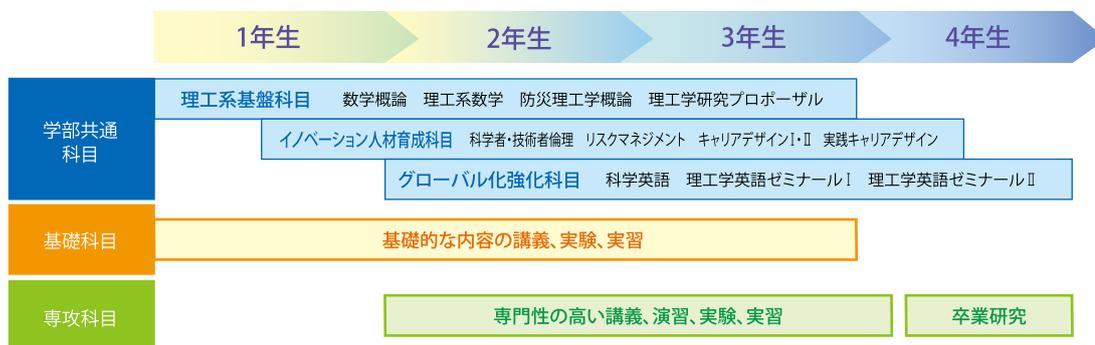
生物科学科 Department of Biological Sciences

生物・環境、その歴史を科学する

地球生態系から分子レベルの現象まで、そして、太古の地質時代から現在、未来まで、スケールや時空を越えた幅広い領域におよぶ「生物科学」を、多様で充実したカリキュラムのもとに学びます。そして、生物科学に関する総合的な知識と技能を有し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。



▶ 4年間の流れ



1年次は共通教育初年次科目に加え、「数学概論」など学部共通科目、様々な基礎科目を履修します。2年次以降は専門性の高い授業・実験を履修し、4年次に「卒業研究」を行います。

化 学 生 命 理 工 学 科

Department of Chemistry and Biotechnology

分子の視点で環境・材料・生命に挑む

身近な日用品も最先端の機能性材料も生き物も、みな化学物質でできています。化学と生命科学に関する知識と実験技術を習得し、分子や細胞の性質と機能およびその仕組みを理解できるように教育を行います。環境・材料・生命などの分野において重要な課題を解決できる能力を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現に挑む人材を育成します。



地 球 環 境 防 災 学 科

Department of Global Environment and Disaster Prevention

地球に生きる!

地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全や維持に関する教育・研究を行います。理学および工学の両分野から学ぶことで、環境変化や自然災害に対する問題解決能力を持ち、かつ、自然共生型社会の構築・発展に貢献できるような高度職業人・技術者・教員・公務員・地域リーダーの育成を目指します。



+α

授業科目紹介「情報理論」～快適な情報通信を支える数学的理論～

理
工
学
部

情
報
科
学
科

情報理論を学ぶことで、世界の見え方が変わる!

鈴木 一弘 情報科学科 講師

「いぬ」も「ねこ」も2文字で短い。この当たり前の事実を情報科学は見逃しません。もし犬や猫が「じゅげむじゅげむ……」のような長い名前だったら私たちの平均会話時間は大変なことになります。同様にコンピューター通信においても、頻繁に発生する情報に長いビット列(0と1からなる列)を割り当てることは非効率です。より“多くの情報”に効率的にビット列を割り当てて平均通信時間を短縮したい。そのためには情報の多少、すなわち“情報量”をきちんと数学的に定義したうえで、何が情報伝送速度の限界をもたらすのかを明らかにする必要があります。

情報理論では情報量、通信路、ノイズなどの情報通信の諸概念が数学を用いて記述され、そこから導かれる数々の定理が情報通信工学の基礎となり、今日の快適な情報通信を支えています。このように、大学では“当たり前”を見逃さない視点を知って世界の見え方が変わる体験がたくさんできます。お楽しみに!



快適な計算機環境で情報理論を学ぶ学生たち

Pick Up ▶ 研究者

新しい蛍光物質の創製とその応用

化学生命理工学科 助教 仁子 陽輔



仁子研究室では、新しい蛍光物質の開発を行っています。蛍光物質は、身近なところでは有機ELに使われており、また医学分野においては蛍光による病巣の可視化や、病理機構の解明への利用などが期待されている重要な材料です。研究室ではまず、物理化学的知識に基づき、どのように分子を設計すれば「どの色で、どれだけ強く光るか」を考えます。次に、有機化学的技術を駆使し、自分で設計した分子を合成し、さらにその分子の性能を評価する、ということを行って行っています。

皆さんも、私たちと一緒に、世界に一つしかない、新しい蛍光物質を探してみませんか？



01



02



03



04

01:仁子研究室で開発された蛍光物質 02:新規物質の単離精製の様子 03:実験室でのディスカッション風景 04:女性研究者を目指す学生も多数

卒業論文テーマ例

数学物理学科 数学コース

楕円曲線について/グラフの次数列について/立体復元方程式/代数学の基本定理/ABC定理/フレクサゴンの数理/「ディリクレ問題」と「ポアソン積分」/球面三角形/バナハ=タルスキの定理/無限集合と連続体仮説/機械学習について/回帰係数の推定について/メトロノームの同期現象の数学モデル化

数学物理学科 物理科学コース

擬二次元における二体問題/イジング模型のモンテカルロシミュレーション:複素数結合定数の導入に向けて/NASICON型結晶構造を持つリン酸タンマグネシウムの水熱合成/バナジウムをベースとする新規ホランド型化合物の探索/Perovskite型酸化物 $SrFe_{1-x}MxO_{3-\delta}$ (M = Mn, Co)の酸素放出特性の評価/l α 型超新星爆発の初期閃光と多様性/宇宙線望遠鏡実験における大気透明度の研究:データ解析プログラムの開発

情報科学科

深層学習による気象監視カメラ画像からの巻巻検出/RSA暗号の拡張フェルマ法に対する耐性の研究/シートを重ねるほどコントラストが上がる(2,n)-視覚暗号/ギガビット・イーサネットを搭載したGPUクラスシステムによるリアルタイム電子ホログラフィ/学習習慣化支援のための机上筆記音検出手法の開発/視覚障害者のための白杖型歩行支援デバイスの開発/高知県高等学校における研究授業のためのレビュー支援システムの提案

生物科学科

高知市血ヶ峰に生育する草原生絶滅危惧種の分布と立地環境/牧野公園(高知県高岡郡佐川町)の蘚苔類相/ミカヅキモ(*Closterium ehrenbergii*)における細胞動態解析/インド-太平洋産フサアンコウ属*Chaunax pictus*種群の分類学的研究/高知県下の砂浜海岸におけるアカウミガメの産卵に影響する環境要因/鮮新統穴内層から産出するモミジツキヒガイの微細成長線から探る古生態と古環境

化学生命理工学科

鉄触媒によるジアリールメタンの酸化反応に関する研究/N-アセチル-L-システインを用いた光学活性コバルト(III)錯体の合成と性質/触媒水熱反応による糖類から5-HMF、レブリン酸、乳酸の合成/温度応答性ブロックを有する側鎖液晶型両親媒性トリブロックターポリマーの合成/微生物型シテロフォアdesferri-thiocin類縁体の植物に対する鉄供給能/カタユレイボヤにおけるPrickleの機能解析

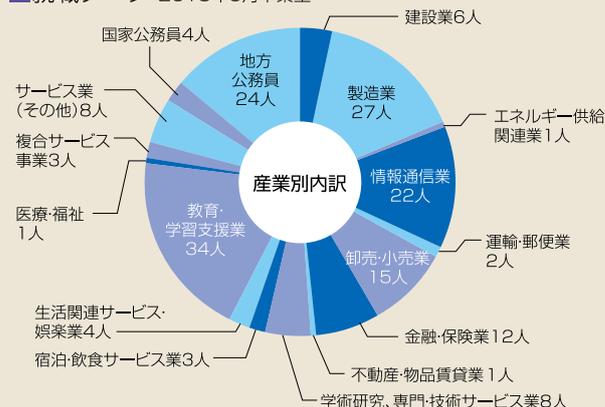
地球環境防災学科

蛇籠擁壁の地震時安定性に関する研究/豪雨時の都市排水過程に注目した雨水管理方法に関する研究/三郡一周防帯の再定義とアジア大陸東縁のテクトニクス/南大洋インド洋区における表層水の酸素・酸素同位体比の分布と支配要因/高知大学MPLレーダーネットワークによる雨量評価/平成28年(2016年)熊本地震における断層運動の解析と阿蘇火山への影響

取得できる資格等 (主なもの)

- 数学物理学科 数学コース:中学校教諭一種免許状(数学)/高等学校教諭一種免許状(数学)
- 数学物理学科 物理科学コース:中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)他
- 情報科学科:高等学校教諭一種免許状(情報)/情報処理技術者[要試験]
- 生物科学科:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/生物分類技能検定[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 化学生命理工学科:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/毒物劇物取扱責任者[資格審査有]/危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]/環境計量士[要試験]/有機溶剤作業主任者[要試験]/特定化学物質取扱責任者[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 地球環境防災学科:学芸員/測量士補[要試験]/技術士補[要試験]/防災士[要試験]/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/気象予報士[要試験]

就職データ 2018年3月卒業生



Voice! 内定者の声

教員採用試験対策の講座などの情報を集め、積極的に参加して教育者の視点を磨きました



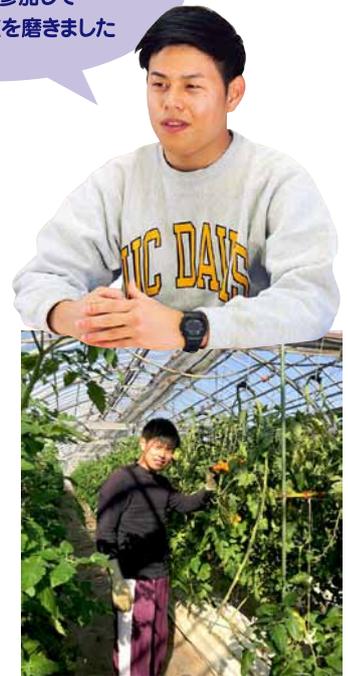
柴田 恭孝 (岡山県立西大寺高校出身)
高知県公立学校教員(高校 数学) 平成29年度卒業

小学校の頃から教員になりたいという希望があり、高校の先生から、「高校の数学を教えたいのなら理工系に」と勧められ、高知大学理学部(現 理工学部)を受験しました。

大学の数学は考えることが主であり、数字が出てこない分野もあります。高校までの数学の勉強と比べると難しいですが、数学を通してしっかりと自分の考えを持てる子どもを育てたいと思うようになりました。

卒業後は教員一本と決めていましたが、高校での進路指導を視野に入れ、企業について少しでも知っておきたいと、SBI(人間関係形成インターンシップ)に参加しました。期間はわずか3週間でしたが、建築会社での仕事にはいろいろな気づきがありました。お客様との対話、社員さんとのコミュニケーションなど、マニュアルでは育たない能力が求められます。実際に正社員となればそれ相応のスキルが必要で、責任も重いでしょう。いつかこの貴重な体験を生徒に還元したいと思っています。

アルバイトでは、高知市教育委員会が主催する「チャレンジ塾」での講師と、トマト農家での農作業を経験し、とても勉強になりました。子どもたちの心に寄り添う機会を持てたことは自信になりましたし、作物を栽培する大変さを知ったことで食べ物への感謝の気持ちも生まれました。この4年間に栄養に、教員としてしっかり子どもたちと向き合っていきたいです。



食べ物がおいしい高知! トマト農家でのアルバイトは自分自身の食育になりました。

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学物理学科 ※旧数学・物理科学コース

国税庁、四国行政評価支局、高知県庁、香美市役所、佐伯市役所、岐阜県公立学校教員(中学校)、和歌山県公立学校教員(高等学校)、兵庫県公立学校教員(中学校)、神戸市公立学校教員(中学校)、岡山県公立学校教員(中学校)、高知県公立学校教員(中学校・高等学校)、高知県私立学校教員(中学校・高等学校)
RKCプロダクション、イトーヨーカ堂、NTN、大分銀行、高知大学、高知新聞企業、高知銀行、島根銀行、四国銀行、東京海上日動火災保険、日本電気航空宇宙システム、日本銀行、日本セラムック、菱サ・ビルウェア、マツダ、三井住友海上火災保険、ヤマト運輸、楽天、レオパレス21

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、名古屋大学大学院、東京工業大学大学院、兵庫教育大学大学院、電気通信大学大学院

情報科学科 ※旧情報科学コース

岡山県警

アルファシステムズ、オムロンソフトウェア、ケイオプティコム、高知信用金庫、四国通建、システナ、シャープ、ソフトウェア・サイエンス、SOLIZE engineering、日亜化学工業、日立公共システム、両備システムズ

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、広島大学大学院

生物科学科 ※旧生物科学コース

高知県庁、愛媛県庁、岡山県瀬戸内市役所、松山市役所、警視庁、あいまほう吹田、神戸市公立学校教員(中学校・高等学校)

アクサ損害保険、穴吹エンタープライズ、化学及血清療法研究所、熊本県農業協同組合、四国銀行、全農兵庫、大和ハウス工業、鳥羽水族館、東京コンピュータサービス、日本旅行、久光製薬社、フジッコ、ファーストリテイリング、三井生命、エスアールエル、ハヤシ、弓削商船高等専門学校

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、奈良女子大学大学院、神戸大学大学院

化学生命理工学科 ※旧化学・応用化学・海洋生命・分子工学コース

国税庁、高松国税局、鳥取県庁、徳島県庁、高知市役所、香美市役所、土佐清水市役所、和歌山県警、岡山県警、高知県警、土佐市民病院、大阪府公立学校教員(高等学校)

あわじ島農業協同組合、アズワン、愛媛小林製薬、おかやまコープ、大分キャンノン、兼松エンジニアリング、関電エネルギーソリューション、九州乳業、高知銀行、サクザク、四国銀行、太陽石油、日医工、日亜化学工業、日華化学、日本メナード化粧品、ニプロ、西日本シティ銀行、ホシザキ四国、ユニチャーム・プロダクツ、琉球大学、レベルファイブ、ロクシタンジャボン、矢崎総業

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、九州大学大学院、岡山大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学大学院

地球環境防災学科 ※旧地球科学・災害科学コース

徳島県庁、郡上市役所、米子市役所、高松市役所、三豊市役所、鳴門市役所、美馬市役所、さいたま市消防局、広島県公立学校教員(中学校・高等学校)

ANA新千歳空港、阿波銀行、大分キャンノン、五星、四国ガス、地質工学、東設土木コンサルタント、豊通マシナリー

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、京都教育大学大学院、鳴門教育大学

人間とその病態の中に真理を見出す

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



医学部の教育理念

医学部は、「敬天愛人」「真理の探究」という高知医科大学の建学の精神を受け継いでおり、これは「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にする大学人であることを目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」という教えであり、呼び掛けです。

超高齢社会を迎えた現在、地域社会が求める医療・福祉を担うためには、優れた知性や高い倫理観に加えて、豊かな感性や人間そのものに対する深い共感、自然を理解するための鋭い洞察力が必要です。また、多様な専門職の同僚たちと協力して円滑に医療を行うための協調性やリーダーシップ、生涯を通して医学・看護学を学び続ける強い向上心や探究心も求められます。高知大学医学部は、これらの能力を備え、全人的な医療が実践できる医療人の育成を目標としています。

アドミッションポリシー

医学部の教育理念に基づいて、医学・看護学を学ぶ基礎としての「人類の文化・社会・自然に関する知識」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」および「協働実践力」を有する人材を求めます。

▶ 渡部伸一朗さんの3年第2学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限	臨床遺伝病学総論	病理CPC演習	内科学総論	病理学実習	臨床感染症学総論
2時限	臨床免疫学アレルギー病学				薬理学
3時限	薬理学	外科学総論	基本的診察技能	臨床腫瘍学総論	臨床検査医学
4時限	地域医療学	先端医療学コースⅢ	泌尿器科学・腎尿路系	PBLⅢ/先端医療学コースⅢ	放射線医学
5時限					



▶ 医学部ホームページ <http://www.kochi-ms.ac.jp/>

先輩にきく Message from Student

基礎研究と臨床をつなぐ医師に

渡部 伸一郎 医学科4年(北海道 私立函館ラ・サール高校出身、社会人経験後に編入)

私はもともと大学と大学院で物理学を学び、その後一般企業に勤めていました。けれども、もっと夢のある人生を送りたいと考え、医学科2年に編入してきました。目指しているのは、これまで培ってきた物理やコンピュータの専門性を活かした、臨床医でありながら研究の視点も併せ持った医療人です。

高知大学の魅力は、何と言っても先端医療学コースの存在です。他大学では4年生以上で行う専門的な研究活動



アメリカ麻酔科学会にて



医学部ワンダーフォーゲル部のメンバーと

に、ここでは2年生から携わることができます。私は現在、メディカルデータマイニング研究班と麻酔科学・集中治療医学講座に所属しています。そして、附属病院の病院情報システムに蓄積されている過去35年、32万人の患者データを、麻酔科のような臨床の現場に橋渡しする研究を進めています。主な研究テーマは、患者データから薬の新しい効果を見つけることです。将来、その新たな効果から病気の予防につながる結果が出ればと思っています。これまでの研究内容をアメリカ麻酔科学会や日本医療情報学会春季学術大会など数多くの場で発表する機会をいただきました。そこでの経験は大きな刺激となり、さらなる意欲につながりました。

基礎と臨床をつないでいくこと、自分自身がその架け橋になることが今の私の夢です。新しい研究の先には、それを待ち望んでいる患者さんがきつといます。一つの発見が誰かの生命を救い、医療・医学の発展につながることを目指し、前に進んでいきたいです。

部活は、囲碁将棋部とワンダーフォーゲル部。実はコンピュータ関連で起業もしていて、充実した日々を送っています！



教員にきく Message from the Dean

地域での実践が、世界の医療につながる

菅沼 成文 医学部長

高知大学は、高知という地域に存在している国立大学法人です。そこで学ぼうとする皆さんは、いわば胸に日の丸をつけた“日本代表選手”。地域に根差して人々の生命と健康を守ることはもちろん、日本の医学研究を進め、世界の医療をリードしていくという気概を持って活躍してほしいと思います。

そのために高知大学医学部では、様々な特色ある教育に取り組んでいます。そのひとつが医学科の「先端医療学コース」。これは真のリサーチマインドを持った医学研究者の育成を目指すもので、毎年学生が大きな成果を上げています。また、地域医療を担う医師や看護師のリーダーを育てる「家庭医道場」では、地道な取り組みを重ね、地域との信頼の絆も深まっています。医療の世界は、ある意味ユニバーサル。地域での実践が、世界の医療の発展に直結します。高知大学医学部で、医療の世界の日本代表として一緒にがんばりましょう！

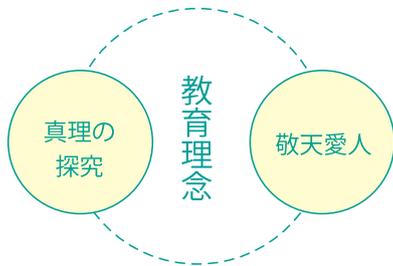


カリキュラム例

医学科	6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL／先端医療学の選択コース制を導入しています。	看護学科	4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。
6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。	カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1~4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV [臨床実習・統合医学](5・6年)。	カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目と各学生がある程度自由に選択できる教養科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。	さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。

医学科 Medical Course

高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験	
教養科目							
	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				臨床実習後OSCE (態度・技能)		
EME 初期臨床医学体験		臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科学／循環器病学／血液病学／他		診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)			
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)			

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間はPBLによるグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

地域医療学の充実

6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。

先端医療学研究

先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。

PBL学習の導入

自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

+α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医師が家庭医です。その心構えと必要な能力を学ぶため、毎年春と秋の2回、家庭医道場が開かれています。

地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医師と交流します。家庭医に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触られます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



地域と共に、医療の本質を学ぶ

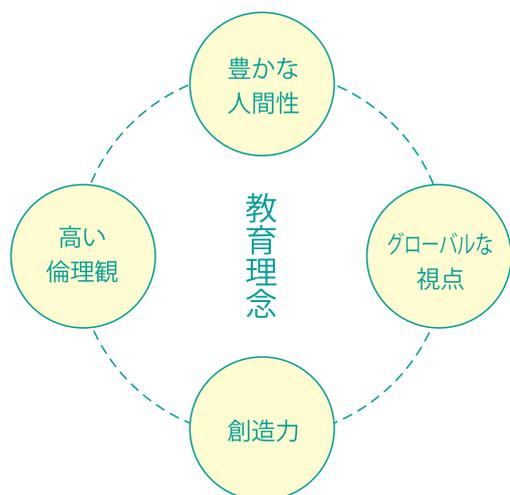
西森 友俊 医学科2年(高知県 私立土佐高校出身)



初めて参加した馬路村の道場では、楽しい中にもしっかりと学びがあり、最後には「自分がどうい医師像を描くか」を真剣に考えることができました。

2回目の梶原町の道場は、実行委員として参画。地域で何を学びたいか先生たちと議論しながら、テーマやプログラムから一緒に作っていきました。梶原町では、「防災」を切り口に地域医療を考えていきましたが、災害発生時という非日常の視点から見ることで、日常における「あたりまえの医療」や「人とのつながり」の大切さにあらためて気づかされました。1年生から6年生までの医と看護の学生、先生、地域の人と一緒に学んだ道場で、医師として一番大切なものを掴みとれたように感じています。

時代のニーズに応えられる革新力を備えた看護専門職



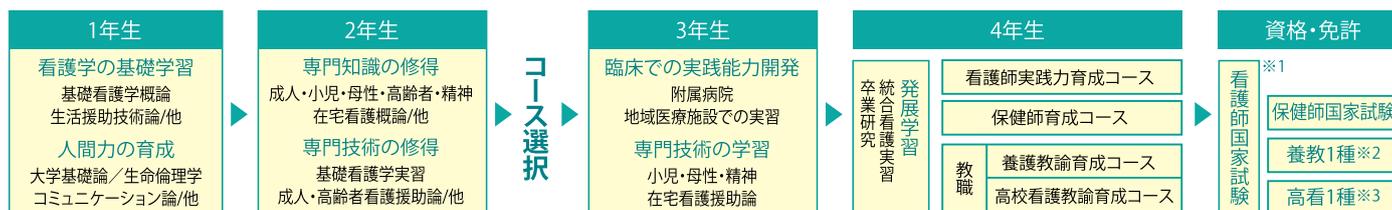
教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

求める学生像

看護学科では、人材養成の基盤となる以下の能力・態度を有する人材を求めます。

1. 人に関心があり人々の健康と生活を支える看護職を目指す意欲がある
2. 相手の立場に敬意を払い、コミュニケーションが取れる
3. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる
4. 専門職として自ら学び、挑戦することができる
5. 物事を論理的に考え、自分の考えを説明できる
6. 医療・看護の理解のために必要な理数系・人文系科目の基礎学力を有する



※1：看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3：4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する体験や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、先端医療から地域で求められる確かな看護実践力まで身につけることができます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、技術と人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、教諭(高校看護または養護)育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

+α 台湾留学

医学部
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはず。



学びの多い台湾留学

中山 真実 看護学科4年(徳島県立徳島北高校出身)



私が今回台湾留学に参加しようと思ったのはもともと海外の医療に興味を持っていたことや一度台湾を訪れたことがあったこともあり親しみを感じていたからです。一番印象に残っているのは、看護技術の授業に参加したこと。そこで台湾大学の学生が積極的に質問をしている姿やどうしたらより上手にできるか、患者さんに負担をかけずに実施できるかなど一つひとつ疑問を持ち、考えている姿を間近で見て、技術をそのまま覚えていた自分が恥ずかしくなり、「考える」「疑問を持つ」ことが技術や知識を高めていくためにもこれから実習や看護師として働く上で大切だと改めて強く感じました。

また、今回の留学を通して、現地の学生の勉学に対する姿勢や謙虚さにとても刺激を受けました。私も負けないように、これからも一つひとつ丁寧に学びを重ねていきたいと考えています。



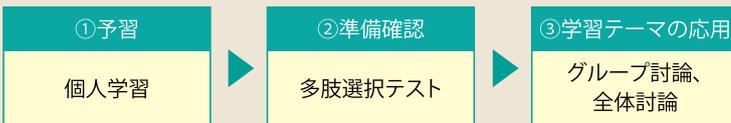
Pick Up ▶ 授業

チーム基盤型学習を通じて、 能動的学びを身につける

医学科 統合医学コース(2~4年生の選択コース)

医師として最善の治療を行うためには、常に最新の医学知識や情報を自ら学び、集める必要があります。そこで、本コースではチーム基盤型学習(TBL:Team-Based Learning)を取り入れ、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBLは米国発祥の学習法で、本学部が日本で初めて導入しました。知識を応用する能動的な学習を重視しています。

▶TBLの特徴



3つのフェーズを繰り返しながら、知識だけでなく協調性やリーダーシップなどチーム医療に欠かせない態度やスキルを身につけていく。

Pick Up ▶ 授業

附属病院で半年間、 様々な領域の看護を体験する

看護学科 臨地実習(3年生)

隣接する附属病院で約6ヶ月間、「成人」「高齢者」「精神」「小児」「母性」の各領域をまわり、授業で得た知識を実体験しながら学びにつなげる実習を行います。卒業生の先輩看護師がたくさんいる環境の中、学生も医療チームの一員として温かく迎えられ、スタッフの方と一緒に、患者さんやご家族のことを考えながら看護を学んでいくことができます。病棟での実習を通して得た気づきや学びは、4年生でさらに、卒業研究やコース別実習で深めていきます。



01:小児科病棟での臨地実習。教員や病棟看護師の指導のもと、チームの一員として現場に加わり、看護の実際を学ぶ



02:2年生の「医療安全論I」 03:04:1年生の「生活援助技術論II」

■卒業論文テーマ例

看護学科

性に関する教育への教員の考え/発達障がいのある児童生徒に対する組織的な支援/看護学生における身体的負担の少ない沐浴技術についての検討/大学生の性感染症予防に関する知識・態度の実態/子どもの睡眠状況と親の養育態度の関連について/大学生のインフルエンザワクチン接種に関する研究/病室入室場面における看護学生の意識と振る舞いについての検討/高知県在留外国人が地域で健康な生活を送るうえでの体験とおもい/若年介護者が同居している療養者(被介護者)に対する関わり/長期入院中の乳幼児に付き添う母

親の生活体験/学童期・思春期にステロイド治療を受けた慢性腎疾患の青年の治療しながらの生活の体験/造血幹細胞移植を行い無菌室に入室している患者への「その人らしさ」を尊重した生活支援/臨地実習で出会ったロールモデルにしたい看護師の行動と態度/医学部生における認知症高齢者に対するイメージに影響を与える要因/看護系大学生のストレス対処能力と社会的スキルの関連/臨地実習での報告項目に対する看護学生及び実習場の指導者の重要度認識/看護学生の定期試験のストレス評価における唾液αアミラーゼ活性の有用性

■取得できる資格等

医学科

医師国家試験受験資格

看護学科

看護師国家試験受験資格

また、所定科目単位の修得により保健師国家試験受験資格(人数制限あり)、または高等学校教諭一種免許状(看護)、または養護教諭一種免許状のいずれか1つの資格を得ることができます。

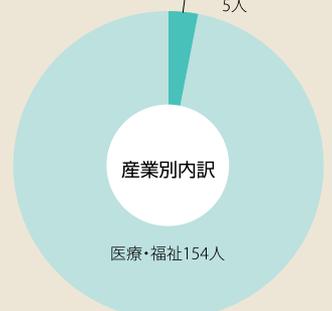
なお、保健師免許を取得した後は、本人の申請により第一種衛生管理者免許状が取得できます。また、教職課程の定められた科目を修得している場合は、卒業後に本人の申請により養護教諭二種免許状が取得できます。

(卒業後、高知大学大学院「実践助産学課程」に進学・修了すると、助産師国家試験受験資格を得ることができます)

■就職データ

2018年3月卒業生

教育・学習支援業
5人



Voice! 内定者の声

国試も就職試験も、
卒論指導の先生が
親身に相談にのってくれました。
感謝しています!



今井 葉月 (高知県 私立土佐塾高校出身)

高知大学医学部附属病院 看護職 内定 平成29年度卒業

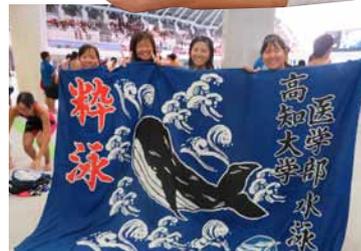
私の出身は、高知県の中でも少子高齢化が進む大豊町。公務員をしていた父の影響もあり、最初は地域の健康を守る保健師になりたいと思っていました。

その気持ちが変化したのは、附属病院での3年生の領域別実習です。成人領域の慢性期の患者さんを受け持たせていただいたのですが、治療が難しく緩和ケア※に移行する中で「家に帰りたい」というご本人の希望をいかに叶えるか、カンファレンスでチーム全員が様々な角度から意見を交わしていました。高齢や独居の患者さんが増える中、附属病院のような高度医療の拠点もまた、

地域の人の人生に寄り添っているのだと気づき、自分もこのチームの一員になりたいと思いました。

4年間を振り返ると、附属病院での実習はOB・OGが多いため困った時にも相談しやすく安心して臨めたり、地域実習では住民の方々が「お世話になっている大学病院の学生さん」と温かく受け入れてくれました。また、看護学科では卒論をグループで行うため、並行して国試の勉強もみんなで助け合って進められたこともよかったですと感じています。

将来は、「看護師さん」などの職業名ではなく、「今井さん」と名前でもらえるような信頼関係を患者さんと築いていきたいと思っています。 ※身体的・精神的な苦痛をやわらげるためのケア



部活は水泳部。週3回練習し、医療系大学の大会にも出場しました!

■卒業後の進路 学部卒者の過去2年間の主な就職先・進学先です。

医学科 卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

▶卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)

自治医科大学、国際医療福祉大学、千葉大学、東京大学、東京医科歯科大学、昭和大学、慶応義塾大学、杏林大学、日本医科大学、東京慈恵会医科大学、横浜市立大学、福井大学、信州大学、名古屋立大学、三重大学、大阪大学、大阪医科大学、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、山口大学、愛媛大学、徳島大学、九州大学、福岡大学、産業医科大学

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の基幹型臨床研修病院(抜粋)

地域医療機能推進機構札幌北辰病院、札幌東徳州会病院、気仙沼市立病院、会津中央病院、寿泉堂総合病院(福島)、日立製作所ひたちなか総合病院、彩の国東大宮メディカルセンター、埼玉石心会病院、千葉医療センター、千葉市立青葉病院、成田赤十字病院、千葉県済生会 習志野病院、千葉西総合病院、聖路加国際病院(東京)、東京北医療センター、多摩北部医療センター、東京労災病院、大森赤十字病院、東大和病院、東京都保健医療公社 多摩南部地域病院、東京警察病院、横浜市立市民病院、伊勢原協同病院、川崎市立井田病院、大船中央病院、東海中央病院、中東総合医療センター(静岡)、沼津市立病院、伊東市民病院、名古屋記念病院、名古屋立西部医療センター、協立総合病院、岡崎市民病院、遼美病院(愛知)、春日井市民病院、京都第二赤十字病院、第二岡本総合病院(京都)、京都市立病院、京都桂病院、大阪市立総合医療センター、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立淡路医療センター、公立豊岡病院(兵庫)、国立病院機構 神戸医療センター、神戸市立医療センター、神戸中央病院、甲南病院(兵庫)、姫路赤十字病院、明石医療センター、奈良県立西和医療センター、国立病院機構岡山医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、総合病院岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山労災病院、水島協同病院(岡山)、岡山市立市民病院、鳥取県立中央病院、広島総合病院、広島市立安佐市民病院、興生総合病院、徳島赤十字病院、香川県立中央病院、愛媛県立中央病院、千鳥橋病院(福岡)、飯塚病院(福岡)、沖縄県立中部病院、那覇市立病院

看護学科

■看護師

▶高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、細木病院、島津病院、高須病院

▶高知県外の大学病院(大学名のみ)

自治医科大学、東京女子医科大学、大阪大学、大阪医科大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、香川大学、愛媛大学

▶高知県外のその他の病院

地域医療機能推進機構札幌北辰病院、市立札幌病院、土浦共同病院(茨城)、千葉県救急医療センター、千葉県こども病院、市川総合病院(東京)、立川病院(東京)、横浜労災病院、関東労災病院(神奈川県)、AOI国際病院(神奈川県)、静岡県立こども病院、静岡赤十字病院、三菱京都病院、大阪市立総合医療センター、住友病院(大阪)、国立循環器病研究センター(大阪)、牧方公済病院(大阪)、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立がんセンター、兵庫県立こども病院、神戸市民病院機構 神戸市立医療センター、神戸市立医療センター西市民病院(独立行政法人)、兵庫県立西宮病院、明石こころのホスピタル、西神戸医療センター、北播磨総合医療センター(兵庫)、近畿中央病院(兵庫)、兵庫県病院、明石市立市民病院、加古川中央市民病院(独立行政法人)、川崎病院(兵庫)、笹生病院(兵庫)、岡山市立市民病院、福山市市民病院、倉敷中央病院、倉敷成人病センター、三宅医院、鳥取県立中央病院、県立広島病院、マツダ株式会社マツダ病院(広島)、広島市民病院、呉共済病院(広島)、徳島赤十字病院、徳島県病院、香川県立病院、四国がんセンター(愛媛)、愛媛県立病院、市立宇和島病院、北九州市立八幡病院、佐世保中央病院、鶴見病院(大分)、大分県立病院、鹿児島市立病院、浦添総合病院(沖縄)

■保健師 高知県、奈良県、香美市、安芸市、宿毛市、宝塚市、岡山市、宇和島市、中土佐町(高知)、いの町(高知)、琴平町(香川)、日之影町(宮崎)、大川村(高知)

■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む) 高知県、島根県、岡山県、広島県、宮崎県、長崎県、名古屋市、尾道市

■大学院等進学先 高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学看護学研究科、香川県立保健医療大学助産専攻科、愛媛県立医療技術大学助産学専攻科、岡山大学教育学研究科、岡山大学教育学部養護教諭特別別科、日本赤十字社助産学校、穴吹リハビリテーションカレッジ理学療法学科

人と自然が共存していく道を探求する

農林海洋科学部

Faculty of Agriculture and Marine Science

学科・コース

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで
読み込もう

詳しくは
90ページ



農学部は、農林海洋科学部へ

国の施策、高知県の産業振興計画として生産現場の強化、農畜産物の高付加価値化、中山間地域対策の強化等が挙げられています。また、国の「海洋基本計画」等では、地域間あるいは国際間で天然資源の維持管理に必要な基礎的知識を有する海洋人材の育成が強く求められています。

このような課題に対応するため、農林海洋科学部では、農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学科の3学科体制により、農学・海洋科学分野のバックグラウンドとなる専門的知識をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成します。また、特別教育プログラムとして、国際協働特別プログラム及び農山漁村地域連携プログラムによる分野横断的教育が実施できる体制の再構築もあわせて行います。

▶ 海洋資源科学科海底資源環境学コースの2年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	海底地形処理	地球科学概論	課題探求実践セミナー		水産学概論
2時限	水質学		分析化学概論		
3時限	海洋情報化学		学生実験		
4時限	海底資源岩石鉱物学	海洋基礎生態学	地学基礎実験 海底資源学演習(地学)		
5時限		物理学概論		化学概論	

～平成27年度

農学部

農学科

暖地農学コース

海洋生物生産学コース

食料科学コース

生命化学コース

自然環境学コース

流域環境工学コース

森林科学コース

国際支援学コース

平成28年度～

農林海洋科学部

農林資源環境科学科

農芸化学科

海洋資源科学科



▶ 農林海洋科学部ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>

川で泳いだり、
河原でBBQしたり。
川が身近な暮らしを体験し、
「人と自然の共生」を
肌で学びました!

先輩にきく Message from Student

授業で得た知識を、鮮度良くフィールドへ!

清末 健人 農学部4年(福岡県 私立福岡工業大学附属城東高校出身)

祖父母が大分県でみかんを作っており、幼い頃から手伝いをしていました。収穫や草刈り、祖父が操縦する機械に乗せてもらったり、農業が身近にあったことがこの学部を選んだきっかけです。

高知大学の魅力は、何といてもフィールド実習の充実です。授業で得た知識をすぐに実験や実習で確認できるので、学びが定着し、より興味が深まります。グループで取り組むことも多く、議論することが成長の糧となりました。

僕が学んだ河川や環境管理の領域では、山から海へと流れる「水」をもとに山の保全や土壌改良などを学び、農業土木ではダム設計も行います。女子が半数を占める農林海洋科学部ですが、僕のクラスは17人中16人が男子。



チャレンジ精神とあきらめない不屈の精神。
竹馬の旅は、学びの多い4日間でした!

紅一点を含めみんな優秀で仲がよく、刺激を受けながら勉強しました。

我ながらよく学んだと自負できる4年間ですが、常に「せっかく高知に来たんだから」という気持ちを持って、いろんなことに挑戦しました。1年生の時は高知大名物の南溟寮に入り、寮の先輩たちと一緒に四万十川を訪れました。「午年だから竹馬で行こう!」と、110kmの道のりを竹馬で踏破。道中で出会った人たちの温かいふれあいがうれしかったです。翌年は、友達を訪ねながら自転車で九州一周。よさこい祭りや龍馬マラソンにも参加しました。

豊かな自然と広大なキャンパス、自由な校風。ここには、よく遊び、よく学び、たくましく成長できる環境があります。ぜひ、高知大学を目指してください!



教員にきく Message from the Dean

陸から海までの地球資源の活用法を探る

尾形 凡生 農林海洋科学部長

高校生のみなさん!平成28年に生まれた私たちの農林海洋科学部は、それまでの農学をパワーアップさせ、かつ海の学びの幅を広げた、全国どころか世界でも例を見ない新しい学部です。

農学は、地球に降り注ぐ太陽エネルギーを生物のちからで人間が利用できる資源に変え、その資源の効率的獲得・利用方法をあみだすことで人のいのちと暮らしを支えてきた科学分野です。これまで海の資源というと魚だけがイメージされがちでしたが、実は海は、海底の鉱物や海中の微生物など有用な資源の宝庫であり、今その活用・管理ができる人材の確保が急がれています。また陸の資源についても、人をとりまく自然環境との共存や、化学を切り口にした農芸化学の生命科学全般への展開など、新時代の産業科学への期待が急速に高まっています。私たちの学部ではこうした社会ニーズに対応した学びを、みなさんに提供していきます。

農林海洋科学を学ぶ格好のフィールドである山・川・海に近いのが高知大学の何よりの取り柄です。学部全領域を体験するフィールドサイエンス実習や、国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラムなど、体験型の学びも充実!ぜひ一緒に新しい世界に挑みませんか?



カリキュラム例 1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
<p>■学科共通</p> <p>農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物学</p> <p>■暖地農学領域</p> <p>農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論</p> <p>■自然環境学領域</p> <p>自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農業化学、植物微生物相互作用論</p> <p>■森林科学領域</p> <p>森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実習、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学</p> <p>■生産環境管理学領域</p> <p>土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学</p>	<p>農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生産環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論</p>	<p>■学科共通</p> <p>海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、台形形成学、科学英語コミュニケーション</p> <p>■海洋生物生産学コース</p> <p>水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物学、水産化学、水産増殖学、水産遺伝学、育種学、魚類防疫学、水産環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学</p> <p>■海底資源環境学コース</p> <p>海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学</p> <p>■海洋生命科学コース</p> <p>海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医薬品化学、海洋進化生態学、ハイオインフォームテックス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規</p>

農林海洋科学部 Faculty of Agriculture and Marine Science

教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基盤科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学・海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

農林資源環境科学科 Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉学・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次～2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。



暖地農学領域	自然環境学領域	森林科学領域	生産環境管理学領域
<p>太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ</p> <p>高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多湿な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか？</p>	<p>生命と自然の未来地図を描く。</p> <p>様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からミクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。</p>	<p>都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。</p> <p>森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。</p>	<p>産業・人・自然にとつての「真の豊かさ」を評価する。</p> <p>稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森～農地～まち～沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。</p>

+α

自然を体感しながら成長！

農林海洋科学部

「現場主義」を掲げる農林海洋科学部において、最もその精神を体現しているのが「フィールドサイエンス実習」です。この授業では、1年生全員が1年をかけて農場、森林、河川、海洋・海底、企業などの現場を回り、様々な経験を重ねていきます。生態系のつながりや産業と自然との共生を学ぶのはもちろん、実際に現場に触れてみることで自分の進みたい分野を見つける学生も多く、4年間の学びの大切な土台となっています。



講義棟に隣接する農場は、東京ドーム4倍もの広さ！果樹園やハウスも体験します。



豊かな自然に感性も磨かれる！海には魚、バイオ、海底資源など幅広いテーマがあります。

化学的視点から生物生産を幅広く探求する

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。



生物環境化学科目群

汚染土壌の浄化など
土壌環境の保全に
地球規模で取り組む!

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌-植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

動植物健康化学科目群

植物・動物・ヒトの健康を守る
安全・安心の実現!

「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

微生物化学科目群

微生物は多彩な産業に
大きな可能性を与える
永遠の資源!

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。

水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「海」を知る、「海」を使う、「海」を護ることに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。



海洋生物生産学コース

海の恵み、生命の息吹。
ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

海底資源環境学コース

太平洋に眠る次世代の資源を、
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。

次世代の産業を担う海底資源——。その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。
私たちは“過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)”, そんな人材を育てます。

海洋生命科学コース

海からの贈り物。
海の生き物は薬の宝庫。

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われませんが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だったりするかも!当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。



亜熱帯から亜寒帯までの植生が分布している高知の山。演習林も広大です。



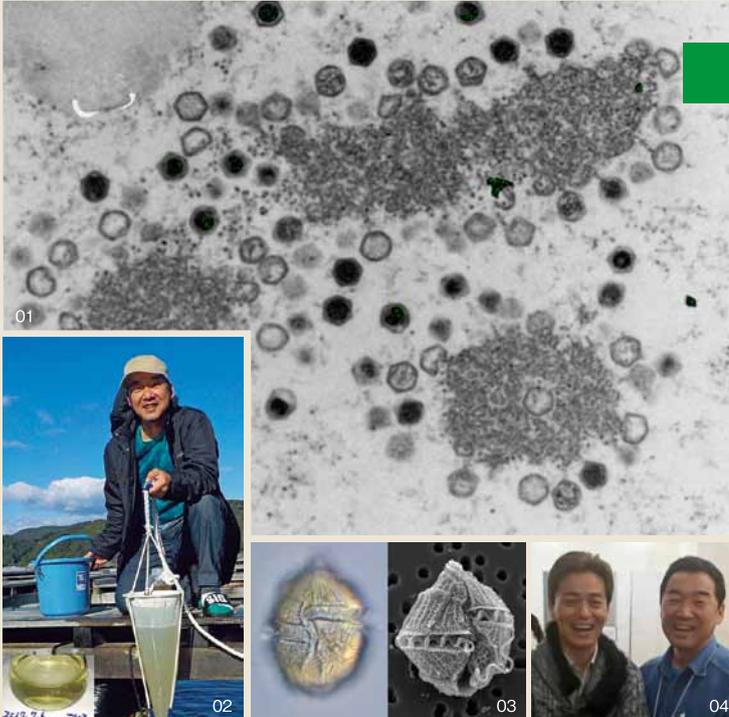
遺伝子、微生物、食品化学など、企業やラボの現場もしっかりと体験します。



あかうしや昆虫など生き物も農学の大事なテーマ。産業と自然の関係を考えます。



1次産業から6次産業まで視野に入れ、地域や行政との連携にも触れていきます。



01

02

03

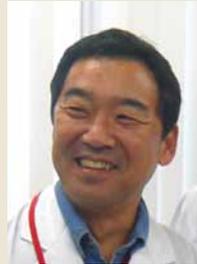
04

01:プランクトンの細胞内で増殖するウイルスの姿(黒い粒子) 02:赤潮試料採取(左下は赤潮海水:この中に何千万個もの細胞が存在) 03:赤潮原因プランクトンの光顕像と電顕像(撮影:高野義人) 04:JAMSTECの宇宙生物学者・高井研氏と学会の懇親会で

Pick Up ▶ 研究者

海洋ウイルスの存在意義を究める

海洋資源科学科海洋生命科学コース 教授 長崎 慶三



「ウイルス」と言われて連想するのは「病気」でも、我々人類が知っているのは、地球上に存在するウイルスのほんの一部に過ぎません。環境中には、人間の健康には影響しない、でも何かしら別の役割を与えられた無数のウイルスたちが存在しています。近年では、海の中のウイルスが、生態系の維持や生物進化に深く

関わっていることも徐々に分かってきました。

海のマイクロ・ナノの世界には、まだまだたくさん謎が残されていて、研究者が退屈する暇などありません。私たちは、東大・京大・JAMSTEC等、多くの機関と密接に連携しながら、地球生態系におけるウイルスの存在意義の解明に挑んでいます。

■卒業論文テーマ例

農林資源環境科学科 暖地農学領域

CO₂施肥がカンキツに及ぼす影響/光線が蘭の器官形成に及ぼす影響/稲の晩生および抑制遺伝子に関する研究/温湿度がニラの生育に及ぼす影響/土佐あかうしの高付加価値化/イネの環境ストレス回避技術の開発/GHPを活用したハウス内環境制御/ブルーベリー栽培における竹堆肥の利用/農産物の輸出を想定した海外への地産外商

農林資源環境科学科 自然環境学領域

土着天敵クロヒョウタンカスミカメとタバコカスミカメのギルド内捕食について/良質小麦の自給率向上に関する基礎研究/エダナナフシとナナフシモドキを用いた系統学的研究/インドネシア西カリマンタン州産担子菌類の抗乳がん作用/イネの抵抗性メカニズムの分子生物学的解明/蛇紋岩地におけるコツクバネウツギの形態学的研究

農林資源環境科学科 森林科学領域

スギ、ヒノキ樹皮の繊維性状の比較/路網と流域界による集材可能範囲の設定/紙表面上に調製したファイバー状高分子を活用した光触媒シートの開発/高知県内の林業用苗木生産業者における規模拡大への課題/マレーシア熱帯二次林における植生回復に影響を及ぼす要因に関する研究

農林資源環境科学科 生産環境管理学領域

食品素材に含まれる豚肉成分の非破壊検出法に関する研究/クラリスロマイシンによる活性汚泥の硝化阻害とその抑制手法の検討/サウンドスケープに関する調査研究/ADI法を用いた水平2次元モデルによる浦/内湾の流動解析/泥炭およびロームの化学成分がセメント硬化体の強度発現特性におよぼす影響

農芸化学科

機能性素材ホモキラルポリγグルタミン酸/基質依存的発現誘導を指標とした未知遺伝子の機能/ブタ卵子の低温障害に関わる低温感受性チャンネル/イミダゾールジペプチドの定量用微生物酵素/黒酵母が乳酸菌の生育に与える効果/非晶質鉄水酸化物吸着剤の特性/イネのNi吸収に関わるトランスポーター/青枯病菌のクオラムセンシング機構/L-プロリン質化に関与するタンパク質/県産作物の抗酸化活性

海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

紫外線照射による各種魚病原細菌に対する殺菌効果/高知県野見湾における海産白点虫 Cryptocaryon irritans の分子系統学的研究/ブリ稚魚における低魚粉飼料への有機ミネラルの添加効果/ウツボ筋肉の食品化学的的特性の把握/物部川水系桑ノ川に生息するアカサガ好む河床形態/高知県幡豆郡柏島におけるアオブダイ Scarus ovifrons の採食生態

海洋資源科学科 海底資源環境学コース

Keggin型貴金属置換新規タンゲスト硫酸錯体の合成研究/Keggin型金属置換タンゲスト硫酸錯体の電気化学的酸化還元反応の解析/Keggin型希土類金属置換新規タンゲスト硫酸錯体の合成研究/チオ硫酸イオン・亜硫酸イオンのC18カラムによる固相抽出とHPLCを用いた定量法の開発

海洋資源科学科 海洋生命科学コース

ピロールの位置選択的トリシア/ビニル化における反応機構解析/α-置換プロピオフェノールのジアステレオ選択的ヒドリド反応における溶媒効果/超原子価ヨウ素試薬を用いた立体選択的反応の反応機構解析/二本鎖RNA結合タンパク質によるケモカイン発現制御を介した浸潤促進機構の解明

■取得できる資格等

農林資源環境科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)、学芸員、測量士補、樹木医補、森林情報士2級、JABEC認定修習技術者

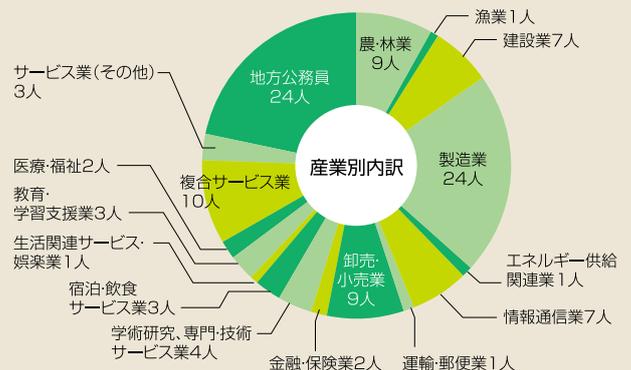
農芸化学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)、学芸員、食品衛生監視員[任用資格]、食品衛生管理者[任用資格]、環境衛生監視員[任用資格]、食品衛生責任者、飼料製造責任者、毒物劇物取扱責任者[任用資格]

海洋資源科学科

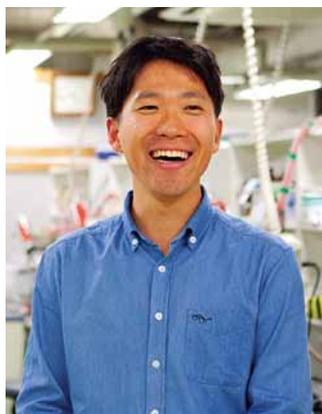
中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・水産)、学芸員

■就職データ 2018年3月卒業生



Voice! 内定者の声

研究室には留学生も多く、
ともに切磋琢磨する中で
生きた英語を
学ぶことができました!



庭田 一平 (広島県 私立広島なぎさ高校出身)

住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社
大学院総合人間自然科学研究科(農学専攻)平成29年度修了

生き物に関わりたという思いから、農学部生命化学コースに入学しました。3年生の時に、虫の嫌がる物質を見つけて、それを殺虫剤や忌避剤に応用する研究に出会い、進む方向が大きく変わりました。

害虫であるワタアブラムシの不思議な生態系については、18世紀頃からの長きに渡り、今なお研究が続いています。未だ解明されていない謎が多くあり、それを解くことに夢中になりました。学部卒業時には研究が道半ばで佳境に入っており、「今この研究をやめるわけにいかない!」と、大学院に進学することを決めました。大学院では、さらに一歩踏み込んだ研究を行って成果を出すことができ、学会発表にも挑戦しました。虫の知られざる生態に迫る日々は、ワクワクの連続でした。

就職活動では、殺虫剤メーカーや農作物の資材メーカーなどにエントリーする中、希望していた研究者として働ける会社に出会うことができ、お世話になった先生や切磋琢磨した研究室の仲間達に感謝しています。

虫と人の暮らしは関わりが深く、害虫を駆除する技術は日々進化しています。ここで得た知見を生かし、役立つ技術開発に貢献していきたいです。



他の大学ではやっていないことに挑戦できる環境が魅力です!

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

農林資源環境科学科 ※旧暖地農学コース・自然環境学コース・流域環境工学コース・森林科学コース・国際支援学コース

高知県庁、静岡県庁、和歌山県庁、岡山県庁、島根県庁、香川県庁、愛媛県庁、徳島県庁、福岡県庁、美馬市役所、吉野川市役所、高知市役所、南国市役所、熊本市役所、宮崎県警

安藤・間、伊藤忠建材、院庄林業、糸島地区酪農ヘルパー利用組合、奥村組、高知大学、高知県山林協会、高知県園芸農業協同組合連合会、高知県農業協同組合中央会、神栄、JAうおづ、JAつやま、JA全農高知、JAぎふ、JA全農、JA庄原、水資源機構、全農えひめ、全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、愛媛県本部、ゼンショーホールディングス、タキイ種苗、中国木材、千代田コンサルタント、東洋検査工業、長崎県中央農業協同組合、中日本ハイウェイエンジニアリング東京、西日本旅客鉄道、兵庫西農業協同組合、兵庫県信用農業協同組合連合会、百十四銀行、富士通、ホクト、丸和林業

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、九州大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院、広島大学大学院、岐阜大学大学院、信州大学大学院、東京農工大学大学院

農芸化学科 ※旧生命化学コース、食料科学コース

高松高等裁判所、宮城県庁、岡山県庁、愛知県私立学校教員(高校)

あいち知多農業協同組合、味の素、アヲハタ、大塚製薬工場、カネテツデリカフーズ、京セラコミュニケーションシステム、国際航空、高知銀行、参天製薬、四国銀行、シャボン玉石けん、四国日清食品、新出光、JA全農こうち、スタッフサービス・エンジニアリング、全国農業協同組合連合会岡山県支部、そごう・西武、東ハト、土佐ガス、ニッポン高度紙工業、パナソニックグループ、日立システムズ、万田発酵、マックスバリュ西日本、ヤクルト本社、不二家

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、京都大学大学院、筑波大学大学院

海洋資源科学科 ※旧海洋生物生産学コース、理学部応用化学コース、地球科学コース

静岡県庁、愛知県庁、鳥取県庁、大分県庁、菊川市役所、姫路市役所、高知市役所、岡山県警、茨城県公立学校教員(中学校)

阿波銀行、石川県水産団体JFいしかわ、愛媛小林製薬、兼松エンジニアリング、共立製薬、四国ガス、四国銀行、JR西日本テクシア、スズキ、太陽石油、大旺新洋、大起水産、東設土木コンサルタント、中日本航空、東町漁業協同組合、兵殖、微生物化学研究所、星野リゾート

▶**大学院進学先** 高知大学大学院

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



地域協働学部

アドミッションポリシー

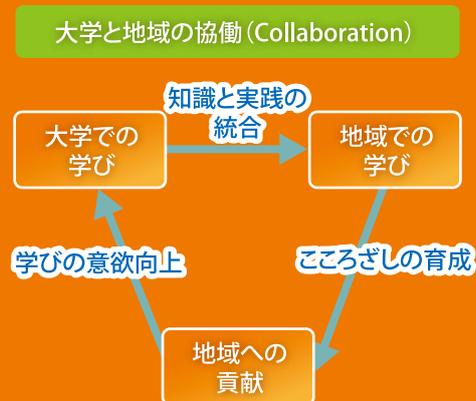
地域協働学部は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。



地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践します。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。



▶ 地域協働学科1年 仲田和生さんの第2学期の時間割

	月	火	水	木	金	集中等
1時限	非営利組織経営基礎演習				地域組織論	
2時限	学問基礎論	(地域理解実習)		大学英語入門	生物時計のはなし	中山間地域の生活と環境I 中山間地域の生活と環境II
3時限	大学英語入門					地域協働企画立案 ファシリテーション演習
4時限		地域理解実習		川と人との生活誌	みのまわりの科学	
5時限	地球的規模の課題と国際協力			地域協働研究I		

▶ 地域協働学部ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/rc/>

先輩にきく Message from Student

“新しい答え”を探そう

仲田 和生 地域協働学部1年（長野県屋代高校出身）

地域協働学部での日々は、一般的な大学生活のイメージとはおそらく180度違います。講義室にこもるのではなく、文字通り地域に出ていって実践を重ねる毎日。入学後すぐの4月中旬に初実習が行われ、これまで2週間に1日のペースで地域に入って学んできました。僕たちの実習は、必ず事前学習と事後の振り返りレポートがセット



イタリア留学



実習で出会った「高知ファイティングドッグス」とは、実習後も個人として運営企画などのサポート活動を続けている。

になっています。ただ実践するだけでなく、グループの仲間や先生と議論したり自分の考えを深めたりすることも大事で、結構な時間が割かれています。その繰り返しの中で僕は、“実習はきっかけであり、そこから何を見つかるのが大事だ”ということに気づきました。

また夏休みには、3週間のイタリア短期留学プログラムに参加し、海外における地域との協働を学びました。2009年にイタリアで起こった大地震からの復興について考えるワークショップで、ヨーロッパ各国の学生と交流。与えられたひとつの答えに向かって解き方を探るような日本の学習とは違う、自分で考えて答えを創っていく学びの姿勢に触れ、とても刺激を受けました。

現在は、これから継続的に入っていく実習地として南国市稲生^{いなぶ}地域を選び、地域理解を深めているところです。ここで地域の人や課題に向き合いながら自分なりの考え方を見つけ、それが新しい答えのひとつとなって地域で活かされていけたらうれしく思います。

1年生の論文では、大好きな釣りや観光を結び付けて考えをまとめました。お手本をなぞるような学びではなく、自分だけの学びができていると思います！



教員にきく Message from Assistant Professor

自分の枠を壊し、世界を広げよう

佐藤 洋子 助教

「地域協働って何ですか?」と聞かれると、私はいつもどう答えようか迷います。それは、「地域ってこうだよ」「協働ってこれだよ」と決めつけるのではなく、皆さんが自分でそれを考え、創ってほしいからです。そもそも大学の学びは、正しい答えがひとつあるというようなものではありません。世の中には様々な人がいます。「地域協働」にも、それぞれの立場から見たいろんな答えがあるはずです。

本学部の実習では、サービスマーケティングや調査を通して地域の課題を見つけ、その課題を解決するための企画やプロジェクトを立案し、地域の人と一緒にそれを動かしていきます。その時、自分なりの問題意識が必要ですが、必ずしも最初から明確に持っているわけではないので、地域に入って一緒にそれを探していきます。どうせなら、そこで今までの自分の枠組みを一回ガツンと壊されるくらいの出会いを得てほしい。新しい世界が見えるはずです。そのうえで何か新しいものを創る、そんな学びをここで体験してほしいと思っています。

カリキュラム例

地域協働学科

- 講義科目 地域協働論、地域組織論、産業論、地域社会学概論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行財政論、会計学概論、社会教育論、起業・経営実務講座、行政実務講座、金融・税務実務講座、実践情報処理、経済学入門、地域デザイン論、フードビジネス論、六次産業化論、農業振興論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、食品生化学、森林経営学、地域産業連関論、中心市街地活性化論、国際農林水産物市場論、生涯学習論、地域スポーツ振興論、環境社会学、ダンス、地域スポーツ社会学、地域福祉論、コミュニティ振興論、地域防災論、比較地域社会論、地域生活と女性、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、家庭経営学
- 演習科目 プロジェクトマネジメント演習、地域協働マネジメント演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
- 実習科目 地域理解実習、地域協働企画立案実習、事業企画プロジェクト実習、地域協働マネジメント実習、教えるプロジェクト実習



地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な協働を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な学外実習に加えて、実習の振り返りと実習に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。



目指す人材像

地域協働マネジメントに必要な3つの力(地域理解力、企画立案力、協働実践力)を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。



人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスをもらいながら、1年間の学習成果を整理します。



1年生

目標 地域理解力を身につける

第1学期
課題探求実践セミナー
新入生が「高知」にはじめてふれる場。高知のうみ・やま・むら・まちで何が起きているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかを知り、地域に向き合う作法を身につけます。

第2学期
地域理解実習
地域の活動の手伝いやヒアリングを通じて、地域の特性や課題を理解します。「地域理解力」の基礎を固めます。

地域協働研究 I

2年生

目標 企画立案力を身につける

第1学期
地域協働企画立案実習
地域課題を探し出し、地域資源を活かした企画をつくる実習を行います。「地域理解力」を身につけるとともに、アイデアを発想し形にするすることで、「企画立案力」の基礎を固めます。

第2学期
事業企画プロジェクト実習
地域資源の商品化に向けた事業計画づくりのプロジェクトを実施します。商品開発する力、事業を計画する力を育て、「企画立案力」を発展させます。

地域協働研究 II

3年生

目標 協働実践力を身につける

第1学期
地域協働マネジメント実習
2年生までに身につけた能力や知識・技法を活かして事業計画を実施し、その点検評価を行います。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固めます。また活動を客観的に評価する力を固めます。

第2学期
教えるプロジェクト実習
実践した事業の結果を地域の人と一緒に評価して改善策をつくるワークショップを実施します。ファシリテーション力や合意形成する力など、地域を巻き込んで活動するための「協働実践力」を身につけます。

地域協働研究 III

4年生

目標 地域協働マネジメント力の統合・深化

地域協働実践・卒業研究
4年間の学びを統合し、地域協働の実践経験や実践事例を理論化します。これをもとに、卒業後「地域を変える新しいリーダー」としてどのように地域に関わるのか、将来展望を描きます。

卒業研究発表会

学習成果報告会

授業例

キャンパスの外で地域の実情を探る ― 課題探求実践セミナー (第1学期)・地域理解実習 (第2学期)

1年生の第1学期に、グループに分かれて、高知県内の複数の地域を訪問します。訪問先では、地域の行事の手伝いなど、様々なサービスラーニングを行うなかで、地域の実情を把握します。第2学期から始まる地域理解実習では、第1学期に訪れた地域から1つの地域を選んで、その地域に深く関わっていきます。

学内実習(事前学習)

- 訪問先地域の下調べ
- 地域の実情の仮説の設定

学外実習

- サービスラーニング
- 地域の観察、地域住民とのコミュニケーション
- 地域の実情把握

学内実習(事後学習)

- 事前学習で立てた仮説の検証
- 実習の振り返りと改善点の共有



キャンパスの中での知の統合 ― 地域協働研究 (I・II・III)

授業では、少人数グループでのディスカッションを通じて、実習授業で活動を行ったフィールドの経済・産業構造、生活・社会環境、各種活動に関わる団体や組織(地域主体)の特性などの分析を行い、地域が抱える課題の本質的な原因や構造を理解します。また、その成果を論文としてまとめるための能力を養います。

▶ 卒業後の想定される進路

6次産業化人

農林水産分野の地域資源を活かして起業する人材

農林漁業ベンチャーの起業、フードサービスの起業、地域資源活用ビジネス(グリーンツーリズム、飲食業、観光業、小売業)の起業、農業生産法人等の起業、6次産業化コンサルタント

産業の地域協働リーダー

地域の多様な資源(人・モノ・組織)を活かし、協働をコーディネートして事業を創る人材

地場産業(伝統産業)、食品加工・流通企業、金融機関、広告代理店、デザイン会社、観光関連企業、都市開発関連会社、まちづくり会社、ソーシャルビジネス・地域ビジネス企業

行政の地域協働リーダー

住民、企業と協働して、地域の課題解決に向けた政策形成をコーディネートできる行政職員等の人材

地方自治体、国の行政機関、独立行政法人、国際機関、農林漁業団体、商工団体、研究機関

生活・文化の地域協働リーダー

住民、企業、行政と協働して、地域の生活・文化を支える事業をプロデュースする人材

コミュニティデザイナー、ソーシャルデザイナー、マスコミ、福祉関連法人・企業、コンサルタント会社、まちづくりNPOの起業、地域おこし協力隊、文化スポーツ振興団体

■取得できる資格等 社会調査士

+α 地域の実習パートナーと学生の協働イベント「地域協働マルシェ」

地域協働学部

地域協働学部は、毎年1回、地域協働マルシェを開催しています。地域協働マルシェとは、地域協働学部が実習でお世話になっている実習パートナーと学生が協働して、学園祭の日に学内で出店するイベントのことです。実習地の名産品が一堂に会する機会として大変好評で、ほとんどの品物が売り切れます。

地域協働マルシェに参加して

西岡 由希 地域協働学部1年生(岡山県立矢掛高校出身)

地域協働マルシェの準備は本当に大変でした。私たちの実習班では、実習地をデザインした写真撮影ボードを作りました。当初の予定を大幅に越えた作業になりましたが、実習地のイメージが伝わるように妥協はしませんでした。こうした準備を通じて、実習メンバーの間にそれまでになかった連帯感が生まれたように感じました。

当日は、他の実習地も出店していて、各実習地にちなんだ品物が売られていました。マルシェに出店したり、他の実習地のお店を回ったりすることで、自分たちの実習地の良さを来場者に伝えたり、他の実習地の人や実習の様子を知ったりすることができました。他の実習地の人たちとの交流の中から、人脈ができた、自分たちのしていることに共感してもらえたりと様々な収穫がありました。自分たちの写真撮影ボードもほめてもらい、やりがいを感じる事ができました。

地域協働マルシェに参加することで、一つのものを多くの人と楽しみながら作り上げることができ、やりがいと達成感を感じる事ができ、今後の実習をもっと頑張りたいという意欲がさらに強まりました。



出店したお店で接客する西岡さん



地域協働マルシェの様子

リーダー人材育成を目指す新しい教育プログラム

土佐さきがけプログラム

TOSA Innovative Human Development Programs

コース

グリーンサイエンス人材育成コース

国際人材育成コース

スポーツ人材育成コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



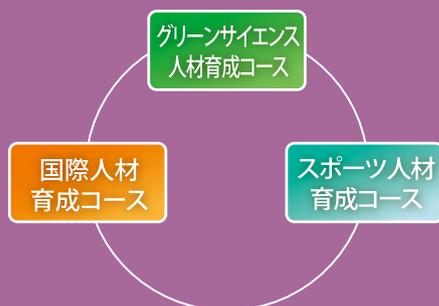
特別プログラムでリーダー人材を育成

現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。

これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。

従来のカリキュラムを超えた分野横断型の学び

このプログラムでは、すでにある学部・学科のカリキュラムにとらわれず、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識(基礎力)とそれらを組み合わせる力(応用力)を養います。



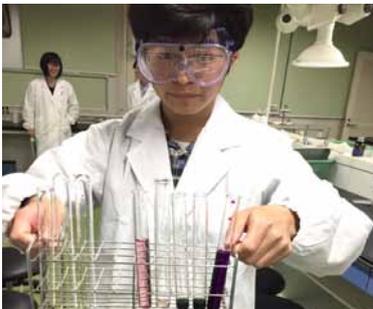
▶ 土佐さきがけプログラムホームページ
http://www.kochi-u.ac.jp/sakigake_program/

先輩にきく Message from Students

基礎研究を極め、社会に貢献したい

小松 響 グリーンサイエンス人材育成コース1年（高知県立安芸高校出身）

グリーンサイエンス人材育成コースでは、実験は1年生から、研究室への配属は3年生第1学期からと、通常の理工学部のカリキュラムよりも1年早く専門的な学びに進みます。レポート課題が多かったり、集中講義が入ったりと勉強は大変ですが、興味ある実験や研究にたくさん時間を費やし集中して取り組める点が魅力です。



化学実験の様子。白衣を着ると気も引き締まる

僕たちの初実験は、2年生と一緒に行いました。膜を回収する作業では、先輩たちはきれいにくるくると取っていたのに僕は全然とれずにボロボロに…(笑)。けれど、困っていると先輩たちが優しく声をかけてくれ、その後も気後れせず実験に参加することができました。

僕の将来の夢は、有機化学の研究者になること。例えば危険な薬品や貴重な金属を使った反応などを、もっと簡単でコストのかからない代替経路を見つけるような研究に携わりたいと思っています。医療や暮らしへの貢献につながるような仕事ができればうれしいですね。



異なる文化や広い世界に触れる

佐次田 李旺 国際人材育成コース3年（沖縄県立コザ高校出身）

大学選びにおいて僕が最優先したのは、留学のプログラムが整っていること。このコースは留学が必修でサポートも手厚く、カリキュラムの融通が利く点が理想通りでした。授業も少人数クラスで、先生を囲んで意見をキャッチボールするような雰囲気。また海外からの留学生も一緒に、異なる価値観や高い志を持った彼らと日々接する中、刺激もたくさん受けました。



留学中、ホームステイ先の家族との一枚

留学は、2年生の9月から約10か月間、アメリカのロードアイランド大学に行ってきました。向こうの学生は学修に本当に意欲的。大人数の講義でも躊躇なく質問していて、僕も積極的に取り組みました。これらの経験は自分の中に積み重ねられており、今後いろんな面でアウトプットしていけたらと思っています。

授業や留学以外でも、国際茶屋という団体が「国」「地域」「学生」を結ぶイベントを企画・実施するなど、幅広く活動する毎日です。将来は、地元沖縄と海外をつなぐような道に進みたいと考えています。



学びの範囲を広げよう!

島崎 菜緒 スポーツ人材育成コース2年（主専攻は人文社会科学部）（高知県立高知南高校出身）

私は将来、教師になって、地理の面白さを伝えたいという夢があります。それと同時に、小学生の頃からずっと続けているバレーボールの指導もしたいと思っています。スポーツ人材育成コースでは、主専攻で学問に取り組みながら、副専攻として競技技術の向上や、トレーニング論、スポーツ栄養学などスポーツを多角的に学んでいます。私は大学進学を決めた時に、高知大学のスポーツ人材育成コースでは、スポーツに



キャンプ実習でのコマ

についての学びを深めることができると知りこのコースに所属することを選びました。主専攻の授業との両立は大変ですが、異なる2つの分野を学べることはとても充実していて、日々、自分の専門分野もスポーツのこともたくさん学ぶことができています。

さらにコースでは、スキー実習やキャンプ実習などといった授業もあり、このコースを選んだからこそ出会える先生や先輩、他学部の仲間と、たくさん刺激あひ成長できます。スポーツに携わりたい方はぜひ一緒に勉強しましょう!



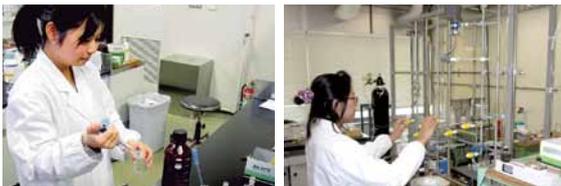
グリーンサイエンス人材育成コース (化学スペシャリスト育成コース) Green Science Education Program

育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

教育の特色

- 化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- 入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- 大学院では、英文で研究論文を自ら執筆したり海外の研究機関で実験を行い、専門性や国際性を高め、研究者としての実践力を身につけます。



実践的「化学」への招待 森 勝伸 教授

私たちの身の回りで起こっている様々な現象は、化学的变化としてとらえることができます。本コースが掲げる実践的「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための重要な糸口となります。



カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義 I・II GS実験 I・II
学部 3年	3年第1学期から研究室に配属され、理工学部化学生命理工学科の学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験 III・IV
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ (修士1年)
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究 学術論文作成セミナー

卒業後の進路イメージ

- 大手企業(食品・製薬・化学・エネルギー産業)や公的研究機関の高度技術者や研究開発者を目指します。
- 大学院博士課程(3年)に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指します。

国際人材育成コース International Education Program

育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語および日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

教育の特色

- 日本人学生と外国人留学生が同じプログラムの中でともに学ぶことで、国や文化の違いを越えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- 日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留学生は国内研修や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。



日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ! 前西 繁成 准教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するために必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行能力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。



カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉強方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	Public Speaking in English、実践中国語特別演習、国際講座(海外勤務経験者等による実践的講座)等
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研究を深めます。(日本語、中国語等)	English for International Studies、実践中国語演習、異文化理解、対人コミュニケーション論、国際講座等
学部 3年	日本人学生は海外研修・インターンシップ、外国人留学生は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。(日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人留学生は日本国内でのインターンシップが必須です。)	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ 等
学部 4年	言語表現力、コミュニケーション力をさらに高めます。また、学修の集大成として自ら設定した研究テーマに基づき日本語と英語による論文作成に取り組み、国際社会へ巣立つ準備を行います。	卒業課題研究、Graduation Reviews、実践ビジネス中国語、海外(国内)研修・インターンシップ報告会 等

卒業後の進路イメージ

- 本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業や組織・団体に多言語能力を活かし、グローバルな視野で活躍できる人材を目指します。

スポーツ人材育成コース Sports Education Program

育成する人材像

人文社会科学部・教育学部・理工学部推薦入試または一般入試の合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

教育の特色

- それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- トレーニング実習や専門実技演習Ⅰ～Ⅲを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。

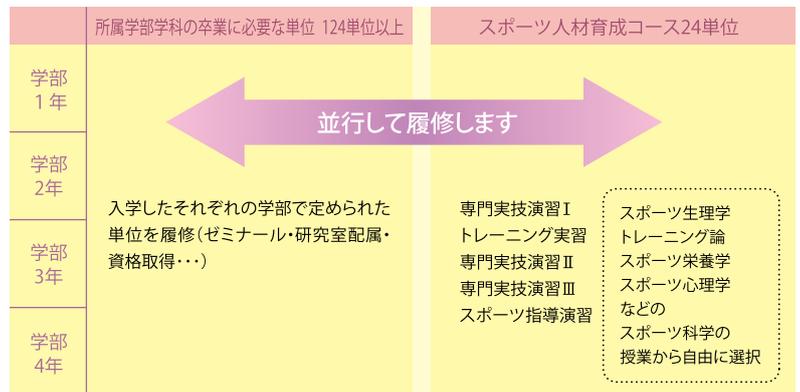


文武両道を大学でも実現! 矢野 宏光 教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意味をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。



▶ カリキュラムのイメージ



卒業後の進路イメージ

- 小学校や中学校及び高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する。(人文社会科学部・理工学部及び教育学部にて教員免許を取得した場合。本コースの開講科目のみの履修では保健体育の教員免許は取得できません。)
- 民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する。
- 海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ(剣道など)の普及の一翼を担う。

Voice! 内定者の声

高瀬 佳織

(兵庫県立明石城西高校出身)
 井上石灰工業株式会社 内定
 グリーンサイエンス人材育成コース 平成29年度修了



入学当初は、漠然と食品系の企業に就職したいという気持ちを持っていました。しかし、グリーンサイエンス人材育成コースでは、初年次から化学コースの先輩方と

一緒に実験を行うなど常に研究に携わった生活を送ってきたため、いざ就活が始まると、今の研究内容や知識を活かせる業務に携わりたいという気持ちが大きくなってきました。これからは、研究開発者として高知をより活性化さ



研究生活を通して、様々な国籍の方と交流することができました

せていけるような仕事をしたいと思います。

長廣 京子

(山口県立華陵高校出身)
 株式会社日本旅行 内定
 国際人材育成コース 平成29年度卒業



国際人材育成コースでは、1,2年次に幅広い国際関係の専門科目を学んだ後、3年次に半年または1年の留学が必須となっています。私が留学した

オランダでは日本とは全く違う環境に身を置いて生活を送るため不安もありましたが、自分が大きく進化できる良いきっかけになりました。4年次には様々な国に留学していたメンバーが帰国し、論文作成に取り組むので、十人十色の経験から多くのことを学ぶことが



冬のオランダの昼は短く早くから綺麗な夕空を楽しめます

できます。社会人になっても常に新しいことに挑戦し続けていきたいです。

西埜植 颯斗

(和歌山県 私立近畿大学附属和歌山高校出身)
 FC今治 内定
 スポーツ人材育成コース 平成29年度修了



私は教育学部と土佐さきがけプログラムスポーツ人材育成コースに所属していました。スポーツ人材育成コースでは、自らの競技力の向上はもちろん、指導者の資格を取得

するなど様々な面からスポーツを学びました。両立させることはとても大変でしたが、ひとりのスポーツ選手として大きく成長できたと思います。

卒業後はFC今治でサッカーを続けることになりました。活躍できるように大学で得たことを活



サッカー部の試合の様子

かして、頑張りたいと思います。



高度な学びと研究を支える基盤として、最先端の設備・装置を配した施設と利用体制を整えています。学生はこれらの環境を自由に駆使して、自分のやりたい学びや研究を進めることができます。



海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年から海洋研究開発機構(JAMSTEC)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界三大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期(平成28年度～平成33年度)の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。



海洋コア総合研究センターは、高知大学と国の研究機関(海洋研究開発機構)が共同運用する世界屈指の地球科学分野の研究施設です。



最先端の地球科学分析装置と豊富な海底コア試料を用いた教育研究を行っています。

Voice 学生の声

武田 大海

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野2年
(高知県 私立高知学芸高校出身)

共通教育の講義で古地磁気を習い、面白そうだったからと研究対象にすると海洋コア総合研究センターで研究することになりました。たまたまやって来たここは世界でも有数の研究施設。目の前にあるたくさんの貴重な海洋コア試料と様々な最先端の分析機器の数々。そんな環境をどれだけ活かすことができるかは自分次第。想像力とやる気さえあればどんな研究も思うがまま。そして周りにはプロの研究者。プロの持つ空気を肌に感じ、研究に対する姿勢を見習いながら、他ではできない研究をする数年間は貴重な経験になっています。



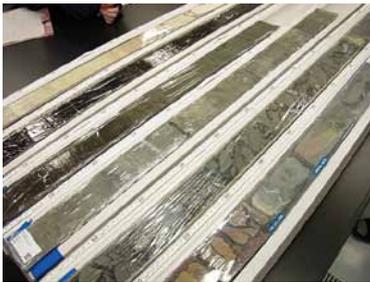
海外の研究者と触れ合えるチャンスが多いことも魅力です。

column



今、「資源」がキーワードに

海洋コア総合研究センターのもう一つのキーワードは「資源」です。そこには、研究材料としての海底の堆積物から、レアメタルをはじめとする海底資源、未知の海洋生物やその遺伝資源まで幅広い分野が含まれています。持続可能な未来社会に欠かせないこれらの研究に、高知大学の恵まれた環境で取り組んでみませんか？



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

世界の海を研究できる！

池原 実 教授

高知大学海洋コア総合研究センター 専門分野：古海洋学、有機地球化学

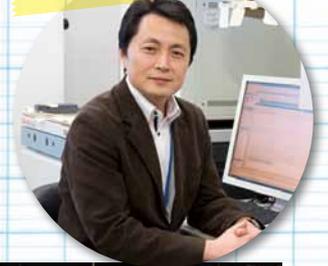
地球の歴史を紐解く

海底の堆積物には、過去から現在までの海洋や気候の変化の痕跡が連続的に記録されています。それを分析・復元し、将来の環境変化の予測につなげるのがこの分野の大きな目的。日常とは全く違う時間・空間スケールで、世界をまたにかけた研究が行われています。

学生も研究船に乗って世界の海へ

高知大学の学生も、当センターが保管する世界の海底コア試料や最新設備を利用して研究を行ったり、海洋調査実習船に乗って世界の海に調査航海に出たりすることができます。必要なのは、積極性と熱意！興味がある人はぜひ、関連する授業を受講してみてください。

Voice 教員の声



研究紹介 白鳳丸の挑戦！

2016年11月11日から11月28日の18日間、北西太平洋において学術研究船「白鳳丸」による航海（国際共同研究）が行われ、本学からも多くの学生が研究者の一員として参加しました。航海中は、複数地点から海洋コアを新たに採取。約2万年前の最終氷期以降の黒潮と深層水循環の変動を復元し、東アジアの気候変動との関係の解明に取り組みました。



高知大学からは学部生や大学院生も参加。



現場を経験することが、何より大きな学びになる。

research!



海洋生物研究教育施設 ▶ 高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用設備、海洋観測機器類（水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速）、海洋調査実習船「豊旗丸」（19t）、「ねぶちゅーん」（5t）、「はまゆう」（2t）および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。

東島 昌太郎 総合人間自然科学研究科 博士課程黒潮圏総合科学専攻1年（静岡県立韮山高校出身）

海洋生物研究教育施設がある宇佐は、田舎ですが、土佐節発祥の地で、ジョン万次郎が出港したことで有名な高知屈指の漁港です。施設は多様な環境に囲まれており、実習船豊旗丸をはじめとする調査機材や設備も充実し、先生方も自ら乗船して、私たちの世界に向けた研究を後押ししてくれます。私は魚類の初期生活史について研究していますが、海に出て塩分、水温等を調べ、網を曳くことで、自然を科学的に研究することの難しさや面白さを日々、学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方には是非お勧めの場所です。



Voice 学生の声



研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽。

理工学部附属水熱化学実験所 ▶ 朝倉キャンパス

100℃、1気圧よりも高温、高圧の水が関与する水熱反応を専門に研究を行う世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料や高活性触媒の合成、セルロースなどからの高付加価値有機物への変換、有害物質や産業廃棄物の処理・処分に関する研究を行っています。卒業論文、修士論文、博士論文を作成するための学生や国内外の共同研究者に、実験の場を提供しています。

研究紹介 水熱化学実験所のここがスゴイ

酸化物などの無機材料は一般に1000℃以上の高温で合成されますが、水熱合成法を用いると、合成温度を数百℃にまで一気に下げることが可能になります。たとえば、高い誘電率をもつことからセラミックコンデンサなどの誘電体材料として広く使用されているチタン酸バリウムBaTiO₃を通常の固相反応法で合成するにはおよそ1300℃が必要ですが、オートクレーブと呼ばれる反応容器を用いた水熱法では200℃程度で合成できるようになり、エネルギー消費が極めて少なく、地球にやさしい方法を実現できます。



オートクレーブ



水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

Voice 学生の声



田北 直也

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻1年(大分県立大分高校出身)

私は、熱電材料について研究しています。熱電材料とは、熱を電気エネルギーに直接変換できる材料のことで、例えば自動車から発生し使われずに捨てられてしまっている熱(廃熱)から発電できるため、新たなクリーンな発電技術として期待されています。これまでに実用化された熱電材料は、毒性があり、資源的にも問題がありました。そこで私は、無毒性で豊富な元素からなる環境に優しい新たな熱電材料と注目されているカルコパイライトという化合物を、水熱反応を用いて合成することにより、熱電材料としての特性を向上させるために研究を行っています。



研究に使用する装置、透過型電子顕微鏡

理工学部附属高知地震観測所 ▶ 朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。



地震動観測の一例(左上)、地殻変動観測の準備(右上)、地震動波形解析の様子(右下)

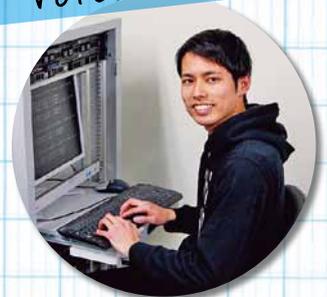
四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。

Voice 学生の声

黒木 啓介

理学部応用理学科災害科学コース4年(宮崎県立妻高校出身)

私は、2016年の4月に発生した熊本地震をターゲットとして、トリガーの解明を行っています。トリガーとは、地震の「引き金」のことを示し、何故その場所で発生したのかや、地下でどのような応力がかっていたのかを明らかにする研究です。本研究により地震のトリガーを解明することができれば、地震の発生予測にも繋げることができると考えられます。本震、前震共に400点程の観測点より得られた地震動波形を読み取り、熊本県の地下での応力の加わりを解明しています。今後の同地域における減災に役立てるために研究を進めています。



research!



総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、
①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、
②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

- 海洋部門：海洋生物研究教育施設(54ページ参照)
- 生命・機能物質部門：遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

遺伝子実験施設 ▶ 物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。



実験実習機器施設 ▶ 岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野に必要な大型の共通利用機器が完備されています。共通利用機器の使用指導、実験技術の指導、受託解析等を通じて高知大学を中心とした県内の生命科学関連研究の遂行をサポートしています。



動物実験施設 ▶ 岡豊キャンパス

科学的かつ倫理面に配慮した動物実験を適正に実施するための施設です。実験動物の基礎知識や動物福祉・生命倫理に関する教育、動物実験手技の指導、そして研究支援を通じて、生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



オアシス

自律学習支援センター(OASIS) ▶ 朝倉キャンパス

Open-Access Center for Self-regulated Independent Study

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

▶ 自習コーナー

メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されています。語学学習用のCDプレイヤーを使って、発音練習などもできます。映画のDVDやDVDプレイヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

interesting & useful!



自習コーナー

▶ マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、授業、IELTS対策講座やグループ学習などにも利用されています。



マルチメディア教室

▶ 個別学習室・ペア学習コーナー

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数での学習で利用できます。



語学教材は10,000点以上!

IELTS、TOEFL、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。



活用しよう

語学学習の教材を備えた「OASIS」では、IELTS対策講座のほか、日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。

▶ パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生、日本語の上達を目指す留学生との間で行われている交流活動がパートナーシッププログラムです。英語⇄日本語、中国語⇄日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになって互いの言葉を教え合います。会話が上達するにつれて、より深い考えや意見を交換することができるようになります。



▶ 学生の自発的な活動をサポート

語学に関する企画をサポートします。過去には、英語で異文化交流を行う英会話クラブや、短期のTOEIC対策講座を開催しました。まずは、お気軽にご相談ください。



教員紹介

所属の表記は平成30年5月1日現在のものです。

役員		
学長	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	辻田 宏	スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスマーケティング
理事	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
理事	本家 孝一	生体膜の由来方とはたらき・生化学/糖鎖生物学/脂質生物学

人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース		
教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想の方向から見た神話学、フロイト・ユングの思想
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	大橋 敦弘	戦国・戦後時代を中心とする中国古代史
教授	小幡 尚	戦没者慰霊を中心とする「戦争と地域」の学的研究
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
教授	山本 秀人	日本語学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関する研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史、中国・台湾近現代史と高知県との関わり
特任シニアプロフェッサー	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
特任シニアプロフェッサー	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
准教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究
准教授	西尾 美穂	言語の構文と意味の関係
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
講師	仲嶺 真	社会と対人関係(特に恋愛関係)に関する心理学
講師	宮里 修	縄文・弥生時代の考古学、中世城郭の調査・研究
講師	渡邊 ひとみ	青年および成人期女性のアイデンティティ発達の研究

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース		
教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	遠山 茂樹	社会ネットワーク論、デジタルメディア論、コミュニティ論
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	Darren Lingley	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、魚梁瀬森林鉄道と暮らしの諸相の研究
准教授	古閑 恭子	アカン語、ンゼマ語(ガーナ)の記述研究、アフリカ言語文化の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
准教授	Joanna Hare	和英翻訳や解説、四国遍路、宝珊湖、深沢七郎の文学
講師	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
講師	Stefan Hug	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	Marcus Otlowski	英作文教授法、英語教授法

人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース		
教授	飯岡 芳明	北東アジアの条件不利地域における資源管理の解析と制度設計
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法に関する法社会学的研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
特任シニアプロフェッサー	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	福田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	憲法
准教授	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	霜田 博史	地方財政制度に関する日独比較研究
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族と社会構造研究、田園回帰と移住
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制と政策課題に関する研究
講師	赤間 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方
講師	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
講師	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究
講師	海野 晋悟	長期停滞のマクロ経済分析、災害からのレジリエンスを規定する金融経済要因の研究
講師	小川 寛貴	選挙制度が政党や有権者に与える影響の研究、議会研究
講師	寺崎 新一郎	外国や異文化に対する態度とマーケティングに関する研究

講師	野崎 華世	女性就業および子どもの発達に関する研究
講師	深山 誠也	高齢者介護組織における競争戦略と組織特性に関する研究
講師	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかわりに関する研究
教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース		
教授	玉瀬 友美	幼児の物語文理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者のキャリア形成に関する研究、地域の子育て支援に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース		
教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学―実存主義的理解
准教授	金山 元春	心地よい人間関係とより良い未来を築くためのもの見方と立居振舞について
講師	野中 陽一朗	教授学習過程に関する教育心理学的研究
講師	福住 紀明	学級経営におけるソーシャルスキルの指導プロセスに関する研究
講師	横山 卓	地域社会と教育、青少年の逸脱行動、自主防犯活動
助教	石嶺 ちづる	アメリカにおける学校から職業への移行に関する支援の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース		
教授	玉木 尚之	中国における音楽についての考え方を理解する研究、[論語]の平易な解釈方法をさぐる研究
准教授	岩城 裕之	方言語彙の記述および分析と、災害・医療現場での方言利用のあり方について
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典の教育に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科教育における実践的な授業研究

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース		
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快楽論、リラクゼーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の権利について
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	中村 努	社会保障の地域格差研究、IT技術を活用した企業や組織の空間行動分析
講師	望月 良親	日本史、特に近世都市史、地域史

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース		
教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	山口 俊博	幾何学、トポロジーの研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する授業の実証的研究
助教	袴田 綾斗	数学科における教師教育・教員養成に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース		
教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象とした量子力学多体問題
教授	原田 哲夫	早寝、早起き、朝ご飯で3つお徳の科学的根拠。アメンボ類の研究
教授	善喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	伊谷 行	海洋生物の共生生態学、干潟ベントスの生態学、環境教育
講師	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
講師	西脇 芳典	科学捜査のための犯罪遺留物の起源解明

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース		
教授	松原 史典	文法理論による様々な言語現象の解明と英語の語法・用法の研究
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究、デジタル教材の開発
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース		
教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の音楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
准教授	高橋 美樹	沖縄のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究
講師	金 奎道	学校音楽教育、教育実践研究、音楽教育メソッド(オルフ、ダルクローズ)に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース		
教授	金子 宣正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	中村 稔	古代ギリシャの造形表現と美意識の研究
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育教育コース		
教授	駒井 説夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか

准教授 宮本 隆信 体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
 講師 常行 泰子 運動・スポーツと社会に関する実証的研究
 講師 幸 篤武 体力科学、生活習慣病の予防に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース

教授 道法 浩孝 ソフトコンピューティング、電気・電子及び計測・制御に関する教育
 講師 北川 晃 フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース

教授 小島 郷子 家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
 特任シニアプロフェッサー 田村 和子 被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
 准教授 森田 美佐 仕事と家庭生活におけるジェンダー平等に向けた研究
 講師 柴 英里 健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース

教授 喜多尾 哲 知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
 教授 寺田 信一 脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
 助教 松田 弥花 スウェーデンの特別な支援を必要とする人びとに対する教育の研究

教職実践高度化専攻

教授 岡田 倫代 対人関係・コミュニケーションとメンタルヘルスに関する研究
 教授 鹿嶋 真弓 学級経営、教師の指導行動に関する研究
 教授 楠瀬 弘哲 メタ認知能力の育成を図る理科問題解決学習指導法の開発
 教授 是永 かな子 北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
 教授 田中 元康 小学校の授業実践に関する研究、国語科、複式学級の指導法
 教授 中野 俊幸 教科授業論、特に算数・数学学習指導法、数学教材開発
 教授 永野 隆史 学校経営マネジメント及び地方教育行政機構に関する研究
 教授 柳林 信彦 アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
 准教授 古口 高志 ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
 准教授 野村 幸代 授業プロセスと発話の検討に関する研究
 准教授 松本 秀彦 特別支援教育、発達障害者支援、学習困難児者に対する学習支援
 准教授 森 有希 道徳教育及び道徳科の指導に関する研究
 講師 宇川 浩之 特別支援教育の指導と評価、進路指導に関する実践的研究
 講師 古市 直樹 協同学習に関する科学的・哲学的研究
 講師 本間 希久恵 特別支援教育の指導と評価に関する実践的研究
 特任准教授 大西 正人 人権教育・生徒指導に関する研究

理工学部 数学物理学科 数学コース

教授 小松 和志 準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
 教授 野村 昇 数理統計学における数値計算法とその応用
 教授 福岡 慶明 代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
 教授 諸澤 俊介 複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
 准教授 小野寺 栄治 偏微分方程式、幾何解析
 准教授 土基 善文 非可換代数幾何学、非可換環論
 准教授 三角 淳 相転移を含む確率モデル

理工学部 数学物理学科 物理科学コース

教授 飯田 圭 高密度物質の理論
 教授 津江 保彦 強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
 教授 中村 亨 極高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
 教授 西岡 孝 極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
 准教授 加藤 治一 遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
 准教授 島内 理恵 燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
 准教授 仲野 英司 理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
 講師 藤代 史 エネルギー・環境関連の機能性セラミックスの合成及び物性評価

理工学部 情報科学科

教授 岡本 竜 知識工学と学習科学
 教授 高田 直樹 電子ホログラフィ、高性能計算、GPGPU、計算電磁工学
 教授 豊永 昌彦 計算機による組合せ最適手法(回路設計・IoT設計・ニューラルネットワーク)
 教授 本田 理恵 データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
 准教授 伊藤 宗彦 層型空間の開基、多角形の位相的性質
 准教授 老川 稔 計算機アーキテクチャ、半導体集積回路工学、電子ホログラフィ
 准教授 塩田 研一 暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
 准教授 三好 康夫 学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
 准教授 森 雄一郎 ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
 講師 鈴木 一弘 離散数学(グラフ理論、離散幾何学)とその応用研究

理工学部 生物科学科

教授 遠藤 広光 魚類の分類・系統学に関する研究
 教授 近藤 康生 二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
 教授 佐々木 邦夫 魚類の形態学的研究
 教授 鈴木 知彦 グアニジンキナーゼ及びヘモグロビンの構造、機能および進化・比較生化学
 教授 奈良 正和 地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
 教授 松井 透 コケ植物の分類、系統、生態、形態、繁殖季節等の研究
 教授 松岡 達臣 原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構

准教授 有川 幹彦 原生動物に見られる特異な細胞機能の分子機構解明
 准教授 岡本 達哉 地衣学
 准教授 関田 諭子 渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
 准教授 峯 一朗 藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
 准教授 三宅 尚 植物化石の分析に基づいた東アジアの第四紀植生史の解明
 講師 宇田 幸司 酵素の構造と機能の進化に関する研究
 講師 加藤 元海 山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をとおして解明
 講師 比嘉 基紀 植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理工学部 化学生命理工学科

教授 和泉 雅之 生体分子(タンパク質、糖鎖)の有機合成とその生理活性の研究
 教授 市川 善康 天然物化学、生物有機化学、有機合成化学に関する研究
 教授 杉山 成 生命機能を司る脂溶性リガンドの認識機構の解明とその応用研究
 教授 藤原 滋樹 動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
 教授 森 勝伸 水や土のイオンの分析方法と廃材を用いる環境材料の開発
 教授 米村 俊昭 生体関連無機-有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
 教授 渡邊 茂 有機-無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
 准教授 梶芳 浩二 水熱法および電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
 准教授 砂長 毅 群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究
 准教授 中野 啓二 有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
 准教授 湯浅 創 酵素の生化学と分子進化
 講師 恩田 歩武 触媒化学、水熱化学、バイオマス資源から有用な有機化合物を合成
 講師 小崎 大輔 新しい分析法の開発とそれをを用いた国内外の環境モニタリング
 講師 永野 高志 鉄やハロゲンの性質を活用する触媒的有機分子変換反応の開発
 講師 波多野 慎悟 機能性高分子材料の合成と分析・環境・医療分野への応用
 講師 松本 健司 天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発
 助教 今村 和也 太陽光を利用する物質変換反応のための、触媒・光触媒の開発
 助教 越智 里香 糖やアミノ酸を分子骨格として用いた機能性超分子材料の開発
 助教 仁子 陽輔 超分子蛍光プローブの開発とその生命科学への応用
 助教 山崎 朋人 微細藻類の遺伝子発現制御機構解明とその知見を応用した物質生産

理工学部 地球環境防災学科

教授 佐々 浩司 レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
 教授 笹原 克夫 地すべり及び斜面崩壊発生メカニズムの解明とその予測手法
 教授 田部井 隆雄 GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
 教授 野田 稔 災害に強い構造物の実現と極端気象の工学モデルの構築
 教授 橋本 善孝 構造地質学・沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学
 教授 原 忠 液状化などの地盤災害と地震防災・減災に関する工学的な研究
 教授 村上 英記 地震火山活動に伴う電磁気現象の発生メカニズムの研究、月内部構造探査のための手法研究
 准教授 大久保 慎人 地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究、地震学、地球物理学
 准教授 川畑 博 野外調査と岩石の観察・分析を通して、マグマの一生を読み解く研究
 准教授 張 浩 流域における水・土砂災害および環境保全に関する研究
 准教授 中川 昌治 四国付加体の鉱物学鉱床学、粘土鉱物の鉱物学鉱床学
 准教授 松岡 裕美 古地震の研究(海底活断層の研究、津波堆積物の研究)
 准教授 山田 伸之 地震動(地盤と構造物の揺れ)および防災教育に関する研究
 講師 坂本 淳 大規模災害時の道路ネットワーク復旧計画と被害軽減予測
 講師 藤内 智士 野外調査を中心とした地殻変動に関する研究
 講師 野口 昌宏 木造ビル建築の開発や木造住宅の地震防災に関する研究
 講師 長谷川 精 堆積学・地球化学分析から過去の地球の気候変動や惑星環境の復元
 講師 村田 文絵 バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究、四国に大雨をもたらす降水システムの研究

理学部 理学科 数学コース

教授 下村 克己 安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
 特任シニアプロフェッサー 逸見 豊 代数的および組み合わせ論的方法を用いたトポロジーの研究

理学部 理学科 物理科学コース

助教 斎藤 卓也 格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究

理学部 理学科 生物科学コース

特任シニアプロフェッサー 石川 慎吾 植生の動態に関わる環境条件、攪乱および植物の生態学的特性

理学部 理学科/応用理学科 化学コース/応用化学コース

教授 藤山 亮治 有機 π 電子系の置換基効果解析

理学部 応用理学科 海洋生命・分子工学コース

特任シニアプロフェッサー 川村 和夫 海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究

理学部 附属水熱化学実験所

教授 柳澤 和道 水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分

医学部 医学科 解剖学

教授 由利 和也 神経情報伝達系とステロイドホルモン
 准教授 大迫 洋治 心の痛みが身体の痛みを増強するメカニズム
 助教 田中 健二郎 情動や社会性の発達メカニズム
 助教 日高 千晴 社会性行動における脳内膜タンパク質の役割の探求
 助教 Vadym Zinchuk 蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化

教員紹介

助教 高橋 弘 精神・神経疾患の病態解明と創薬研究

医学部	医学科	病理学
教授	村上 一郎	ランゲルハンス細胞組織球症の研究、病理診断学
教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
准教授	倉林 睦	VHL遺伝子と糖代謝
准教授	長沼 誠二	食道がんの浸潤転移のメカニズム
助教	井口 みつこ	人体病理
助教	中嶋 絢子	人体病理
助教	田中 千遥	人体病理
助教	岩下 和花	人体病理

医学部	医学科	生理学(統合生理学)
教授	山口 正洋	匂いが情動を誘導する機構、大人の脳のニューロン新生、食嗜好の神経機構
准教授	谷口 睦男	香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
助教	村田 芳博	味を感じる仕組みの生理学、匂い記憶の脳内メカニズム
助教	越智 経浩	脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖代謝

医学部	医学科	生理学(循環制御学)
教授	佐藤 隆幸	医療機器の開発と事業化支援
准教授	池田 哲朗	心不全時の自律神経系の制御機構
助教	市川 厚	生体循環における呼吸機構の相互作用
助教	戸高 寛	自律神経による心筋保護作用の機序解明と応用

医学部	医学科	生化学
講師	太田 信哉	染色体構造の理解、プロテオミクス
助教	宮原 馨	糖脂質の細胞内輸送とその制御
助教	久下 英明	神経シナプスがつくられる仕組みを明らかにする研究

医学部	医学科	遺伝子機能解析学
教授	麻生 悌二郎	アルツハイマー病に対する新規創薬基盤の構築
助教	安川 孝史	新規認知症治療薬の創薬に向けた基盤研究

医学部	医学科	生体分子構造学
教授	関 安孝	天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

医学部	医学科	薬理学
教授	齊藤 源頭	下部尿路・性生殖器の薬理学
准教授	清水 孝洋	緊張するとなぜトイレが近くなる? 排尿の脳内メカニズムを探る
助教	東 洋一郎	高次脳機能障害の機序解明と治療法の開発 脳内グリア細胞の薬理学
助教	清水 翔吾	脳が制御する排尿機能の解明

医学部	医学科	微生物学
教授	大畑 雅典	微生物群集の解析と疾患との関係、微生物感染による発がん機序
准教授	松崎 茂展	バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教	橋田 裕美子	皮膚微生物叢と疾患との関係、微生物感染と発がんに関する研究
助教	樋口 智紀	がんの個別化医療につながる新しい分子標的を探索する研究

医学部	医学科	寄生虫学
准教授	是永 正敬	寄生虫病の研究、熱帯医学

医学部	医学科	免疫学
教授	宇高 恵子	T細胞認識・がん免疫
准教授	清水 健之	リンパ球による生体防御、炎症、腫瘍免疫
助教	小松 利広	T細胞の標的組織への浸潤機構

医学部	医学科	法医学
教授	古宮 淳一	外傷病理病態、法アルコール学、法医学防医学的研究
助教	中西 祥徳	法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教	西村 拡起	法中毒学、法医学防医学的研究

医学部	医学科	医療学(環境医学)
教授	菅沼 成文	産業医学、環境医学、国際保健、特に職業性呼吸器病
特任教授	吾妻 健	熱帯地方の食品媒介及び水媒介性寄生虫の分子遺伝学的研究
講師	Naji Abderrahim	免疫抑制に関与するmiRNAの同定と免疫療法開発、細胞死防止の目的の関与系幹細胞の機能解明
助教	栄徳 勝光	神経分化、肺疾患におけるエピジェネティクス解析
特任助教	安光ラヴェル香保子	出生コホート調査・発達障害

医学部	医学科	医療学(公衆衛生学)
教授	安田 誠史	高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
講師	宮野 伊知郎	医療ICT政策と地域包括ケアシステム

医学部	医学科	医療学(医療管理学)
教授	小林 道也	消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法の臨床試験
講師	岡本 健	大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

医学部	医学科	家庭医療学(寄附講座)
寄附講座教授	阿波谷 敏英	地域基盤型医学教育、地域包括ケアシステム、へき地医療、在宅医療
准教授	松下 雅英	高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
特任助教	福留 恵子	プライマリ・ケアの現場における指導医評価(360度評価)の開発

医学部	医学科	高知馬路村ゆず健康講座(共同研究講座)
特任助教	宮本 美緒	食品の機能性に関する栄養学解析

医学部	医学科	災害・救急医療学(寄附講座)
特任教授	長野 修	災害医学教育・救急医学全般・病院防災・災害医療計画の立案

医学部	医学科	医学教育創造・推進室
教授	高田 淳	高齢者の心血管疾患に関する研究
准教授	藤田 博一	医学教育、統合失調症、気分障害の心理教育

医学部	医学科	医学教育創造・推進室、体育
講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部	医学科	消化器内科学・内科(消化器)
教授	西原 利治	肝癌抑止と生活習慣病研究
准教授	岩崎 信二	原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
講師	耕崎 拓大	胆膵疾患の先進治療
講師	山田 高義	消化管の先進医療
助教	野崎 靖子	肝がんの診断と治療
助教	廣瀬 享	肝硬変の診断と治療
助教	小笠原 光成	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
助教	木岐 淳	悪性胆膵疾患の治療
特任助教	吉岡 玲子	胆膵領域における診断と治療

医学部	医学科	内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)
教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授	藤本 新平	糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
准教授	西山 充	食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師	堀野 太郎	腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
講師	田口 崇文	内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析
助教	井上 紘輔	急性腎障害における尿中バイオマーカーの研究
助教	島村 芳子	慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
助教	谷口 義典	難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
助教	中山 修一	肥満患者における食欲調節の解明
助教	平野 世紀	高齢者糖尿病患者における運動療法および栄養療法の確立
助教	船越 生吾	糖尿病における骨代謝について
特任助教	近江 訓子	非アルコール性肝炎と糖尿病の関連について
特任助教	松本 竜季	急性腎障害における熱誘導蛋白質の役割を明らかにする研究

医学部	医学科	血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)
教授	横山 彰仁	呼吸器疾患およびアレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	砥谷 和人	血液疾患の治療
講師	大西 広志	喘息、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	酒井 瑞	呼吸器疾患の病態・治療
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の治療
助教	森 正和	リンパ系腫瘍の診断・治療
助教	向田 賢市	呼吸器疾患の病態・治療
助教	高松 和史	呼吸器疾患の病態・診断・治療
特任助教	穴吹 和貴	呼吸器疾患の病態・診断・治療

医学部	医学科	老年病・循環器内科学・内科(老年病・循環器)
教授	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症、心不全、老年医学
准教授	山崎 直仁	心臓弁膜症、心臓病の身体所見(心音、心機図)、肺高血圧症
講師	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	馬場 裕一	心筋症・心不全、肺高血圧症
助教	弘田 隆省	不整脈疾患
助教	野口 達哉	循環器救急・血管内カテーテル治療全般(急性心筋梗塞・狭心症・末梢動脈疾患・静脈血栓塞栓症)
助教	宮川 和也	虚血性心疾患・BLS/ICLS/JMECC(心臓蘇生講習)
特任助教	濱田 知幸	高齢心不全患者の包括的医療管理

医学部	医学科	脳神経内科学・内科(脳神経)
教授	古谷 博和	認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
講師	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患

医学部	医学科	小児思春期医学・小児科
教授	藤枝 幹也	免疫抑制状態と感染症、小児脳性麻痺など脳障害に対する自家誘導血単核細胞輸血
准教授	久川 浩章	小児癌に対する免疫療法、小児血液腫瘍
助教	荒木 まり子	小児内分泌疾患、早産児の成長、内分泌機能について

助教	山本 雅樹	先天性心疾患および不整脈、小児救急、学校心臓検診
助教	大石 拓	アレルギー疾患の患者及び学校保健所等への教育方法について、気管支喘息の発作誘発因子についての研究
助教	石原 正行	小児腎疾患について
助教	玉城 渉	川崎病における心磁図の有用性に関して
特任助教	菊地 広朗	小児血液腫瘍

医学部 医学科 神経精神科学・精神科

教授	敷井 裕光	認知症の包括的治療、高次脳機能障害、神経画像、精神疾患治療に対するICT活用
講師	上村 直人	認知症の人の生活支援・自動車運転能力評価、精神科地域連携治療
助教	赤松 正規	精神療法、統合失調症の治療、電気痙攣療法
助教	掛田 恭子	身体疾患・がん患者に対するメンタルサポート、リエゾン精神医学、緩和医療
助教	安岡 江里奈	女性のメンタルヘルス、気分障害の病態解明と治療法の開発
特任助教	須賀 楓介	うつ病・心的外傷後ストレス障害(PTSD)の病態解明、認知行動療法、自殺予防
特任助教	大崎 千栄	統合失調症の治療、慢性期精神疾患治療、生活支援

医学部 医学科 皮膚科学・皮膚科

教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚瘻、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師	中島 英貴	メルク細胞癌のポリオマーウイルス
助教	大湖 健太郎	乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態、アレルギー性皮膚疾患
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	山本 真有子	関節症性乾癬
助教	藤岡 愛	自己免疫性水疱症、薬疹
特任助教	木戸 一成	皮膚外科、皮膚腫瘍/皮膚癌、メラノーマ

医学部 医学科 放射線医学・放射線科

教授	山上 卓士	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
准教授	南口 博紀	インターベンショナル・ラジオロジー(画像下治療)(特に門脈・静脈系)や画像診断に関する研究
講師	村田 和子	PETおよびMRIを用いた画像診断に関する研究
特任講師	小林 加奈	各種癌治療における低侵襲画像誘導放射線治療の開発
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	田所 導子	心臓CT、心臓MRI
助教	山西 伴明	インターベンショナル・ラジオロジー(画像下治療)(特に塞栓術に関する臨床研究)
助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学および核医学診断における研究

医学部 医学科 外科学(外科1)・外科(一)

教授	花崎 和弘	肝胆膵癌の新規治療、人工臓器研究、漢方の薬物動態研究、光線医療
准教授	大島 雅之	胆道閉鎖症早期発見、カテーテル感染、新生児・小児内視鏡手術
准教授	杉本 健樹	乳癌治療、遺伝性腫瘍、マンモグラフィ遠隔診断、蛍光センチネルリンパ節生検
講師	駄場中 研	乳癌、一般外科、骨盤機能(便秘)治療
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
助教	沖 豊和	乳腺・内分泌、造影超音波の乳癌への応用
助教	上村 直	消化器外科/肝胆膵外科/周術期管理
助教	北川 博之	食道外科、食道癌の胸腔鏡手術、蛍光イメージングを用いた手術の工夫、周術期管理
助教	坂本 浩一	小児外科、新生児外科
助教	辻井 茂宏	消化器外科/学生・研修医の教育について
特任助教	宗景 絵里	難治性がんに対する遺伝子治療
特任助教	小河 真帆	乳腺、内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌

医学部 医学科 外科学(外科2)・外科(二)

教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授	穴山 貴嗣	低侵襲手術を支援する新規イメージガイド技術の開発、抗血栓剤感受性試験の臨床応用
講師	吉田 行貴	頭頸部癌再建
学内講師	弘瀬 伸行	No-touch saphenous vein graftの長期開存に寄与する因子の解明および内視鏡的採取法の開発
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	廣橋 健太郎	胸部外科学、肺癌・胸部悪性腫瘍の診断と治療
助教	木原 一樹	心臓血管手術の体への負担を最小限にする方法の開発
助教	宮崎 涼平	低侵襲呼吸器外科手術・摘出癌細胞の三次元培養による抗腫瘍薬の効果予測法の開発
特任助教	田代 未和	体に優しい血管手術に必要な手術器械の工夫
特任助教	矢野 晶子	足病変における下肢救済へ向けた治療戦略の確立

医学部 医学科 麻酔科学・集中治療医学・麻酔科

教授	横山 正尚	疼痛の機序、術後認知機能、周術期管理、集中治療、ヘンクリック、局所麻酔薬
准教授	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	青山 文	術後認知機能障害とせん妄の病態機序解明および予防戦略に関する研究
助教	山中 大樹	慢性的痛み診療の基盤となる情報の集約
特任助教	勝又 祥文	術後認知機能障害の病態機序解明および予防戦略
特任助教	北村 園恵	周術期疼痛に関する研究

医学部 医学科 産科婦人科学・産科婦人科

教授	前田 長正	子宮内膜症の謎に迫ろう、膈帯血を用いた脳性麻痺治療と再生医療
准教授	池上 信夫	周産期(出生前診断)、更年期(ホルモン補充療法)
助教	谷口 佳代	子宮内膜症のメカニズムと薬物療法
助教	松島 幸生	膈帯血幹細胞を用いた脳性麻痺治療および再生医療、周産期医療
助教	都築 たまみ	生殖内分泌

助教	牛若 昂志	タイムラプスを用いた子宮内膜症腹腔細胞の解析、卵巣がん再発予防のための免疫活性化
特任助教	山本 横平	生殖内分泌、子宮内膜症のメカニズムとその治療法

医学部 医学科 整形外科・整形外科

教授	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
准教授	武政 龍一	脊椎椎間病、骨粗鬆症、医用人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師	川崎 元敬	有痛性骨関節疾患に対する集束超音波技術による新規治療法の開発
助教	岡上 裕介	人工関節、関節バイオメカニクス
助教	喜安 克仁	脊椎椎間病、骨粗鬆症の臨床研究、周術期管理
特任助教	上羽 宏明	手・上肢の疾患とその治療
助教	泉 仁	肩、肘、スポーツ、運動器の痛み
助教	田所 伸朗	脊椎椎間病診療における臨床神経生理学

医学部 医学科 眼科学・眼科

教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
講師	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	多田 憲太郎	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
特任助教	岸本 達真	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
特任助教	石田 わか	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部 医学科 耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の客観的評価基準作成
病院教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、中耳疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	川瀬 かほり	痙攣性発声障害、嚥下障害の評価
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺におけるウイリス動態、顔面神経麻痺後遺症の治療
助教	青井 二郎	頭頸部腫瘍の診断と治療
助教	長尾 明日香	音声障害の病態評価と治療、高速度カメラによる声帯振動の解析
特任助教	伊藤 広明	めまいの基礎的臨床的研究

医学部 医学科 脳神経科学・脳神経外科

教授	上羽 哲也	悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CPG結合タンパクMBD1の機能的解析
准教授	中城 登仁	間脳・下垂体腫瘍の治療、松果体病変に対する下垂体の関与
講師	福井 直樹	3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
特任講師	福田 仁	破裂脳動脈瘤の病態に関する疫学的アプローチ
助教	中居 永一	脳脊髄液減少症診断の臨床研究
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教	上羽 佑亮	脳卒中後のロボットリハビリテーションの可能性

医学部 医学科 泌尿器科学・泌尿器科

教授	井上 啓史	癌の浸潤・転移、血管新生における分子生物学、および光線力学に基づく癌の診断・治療
准教授	辛島 尚	癌の浸潤・転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
講師	蘆田 真吾	遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質の役割に関する研究
助教	田村 賢司	泌尿器科領域のブレイクスルーを生み出す研究
助教	深田 聡	泌尿器腹腔鏡手術、高齢者の泌尿器癌に対する外科的治療、周術期管理
助教	福原 秀雄	泌尿器癌に対する新規治療法の開発
特任助教	久野 貴平	排尿筋過活動に対する新規治療薬の開発研究

医学部 医学科 歯科口腔外科学・歯科口腔外科

教授	山本 哲也	口腔外科、口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	北村 直也	バクテリオファージを利用した細菌感染症制御法の開発
講師	笹部 衣里	口腔癌の治療耐性獲得機序に関する研究
助教	仙頭 慎哉	歯科口腔外科学、口腔腫瘍学
助教	吉澤 泰昌	顎骨再生療法の基礎的研究

医学部 医学科 病態情報診断学

教授	松村 敬久	臨床検査医学・心臓超音波検査
助教	上岡 樹生	幼若血小板分画検査の臨床応用、感染・炎症に関連して発生する呼吸器腫瘍

医学部 附属病院 検査部

講師	竹内 啓晃	ピロリ菌感染症、薬剤耐性菌と院内感染、食品・食材の生体効果と創薬
助教	岡崎 瑞穂	内分泌代謝疾患

医学部 附属病院 手術部

准教授	山本 正樹	心臓血管外科学・心臓手術のための術中検査システム開発
助教	岩部 純	食道・胃外科、食道がん細胞のエピゲノム

医学部 附属病院 放射線部

准教授	刈谷 真爾	小線源放射線治療の確立、放射線による癌細胞死のメカニズム
助教	吉松 梨香	インターベンショナル・ラジオロジー
特任助教	梶原 賢司	腹部・骨盤領域の診断やカテーテル治療の有用性を明らかにする研究

教員紹介

医学部 附属病院 救急部		
特任准教授	山内 英雄	病院前救護体制の改革、災害医療、医学教育
特任講師	門田 知倫	いかにして災害関連死をなくすか
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部 附属病院 輸血・細胞治療部		
講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部 附属病院 集中治療部		
講師	矢田部 智昭	集中治療室における栄養と血糖管理
助教	立岩 浩規	神経障害性痛の病態機序の解明と新規治療法の開発に関する研究
助教	田村 貴彦	重症患者における栄養管理に関する研究

医学部 附属病院 リハビリテーション部		
准教授	石田 健司	介護予防・ロコモ対策・介護機器開発研究
助教	永野 靖典	地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部 附属病院 総合診療部		
教授	瀬尾 宏美	能動的学習や臨床技能教育に関する研究
准教授	武内 世生	感染症、HIV/AIDS診療、感染管理、臨床推論
講師	小松 直樹	総合診療、プライマリ・ケア/地域医療
助教	北村 聡子	総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来、不整脈治療

医学部 附属病院 内視鏡診療部		
准教授	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
特任准教授	谷内 恵介	膵臓がんペプチドワクチンの開発
助教	水田 洋	ピロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について

医学部 附属病院 病理診断部・病理診断科		
講師	戸井 慎	人体病理

医学部 附属病院 周産母子センター		
講師	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
特任助教	三浦 紀子	超低出生体重児の循環管理
助教	氏原 悠介	タイムラプス法を用いたがん免疫治療

医学部 附属病院 がん治療センター		
特任助教	前田 広道	大腸がんの化学療法、術後肛門機能に関する研究

医学部 附属病院 免疫難病センター		
教授	仲 哲治	がん・自己免疫病・炎症性疾患における診断薬・創薬開発
准教授	藤本 稔	免疫シグナル異常と疾患・臨床免疫学
特任准教授	世良田 聡	疾患関連蛋白解析による新規バイオマーカーおよび新規抗体医薬開発への応用
特任助教	平松 宏祐	がん増殖における脂質代謝の役割解明
特任助教	大河原 知治	がんとサイトカインシグナル伝達

医学部 附属病院 医療安全管理部		
准教授	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み

医学部 附属病院 薬剤部		
教授	宮村 充彦	臨床薬理学、天然物化学、嚥下機能改善剤の開発

医学部 附属病院 次世代医療創造センター		
特任教授	執印 太郎	泌尿器腫瘍学、稀少疾患医学、腫瘍マーカー開発
特任講師	若林 由美	臨床試験プロジェクトマネジメント、レギュラトリサイエンス、品質保証
特任講師	田井 麻美	品質管理、モニタリング
特任助教	黒岩 朝	データマネジメント、統計学、代数学（整数論）

医学部 医学科 英語		
講師	Ribble Daniel Brownson	比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部 附属医学情報センター		
教授	奥原 義保	医療情報システム、医療情報データの解析
准教授	畠山 豊	医療情報解析、データマイニング
講師	渡部 輝明	数理科学的手法を用いた診療情報解析と感染症の感染動態の解析
助教	永田 桂太郎	診療により蓄積されたデータを用いて診療の役に立つ情報を得る
助教	兵頭 勇己	医療情報解析・身体運動の定量化・運動障害のシミュレーション

医学部 先端医療学推進センター		
講師	沈 淵	臍帯血幹細胞から抗腫瘍エフェクター細胞へ分化誘導・免疫学、再生医療学
助教	王 飛霏	脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム
助教	馬場 伸育	臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析
助教	山下 竜幸	組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復

医学部 看護学科 基礎看護学		
----------------	--	--

教授	池内 和代	母子・家族の健康、助産学教育及び看護管理に関する研究
教授	栗原 幸男	保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究
教授	森木 妙子	看護師長、時間管理、経営意識、災害看護、看護管理の工夫に関する研究
准教授	笹岡 晴香	便秘に関する緩和ケアおよび評価
准教授	下嶽 ユキ	カンボジア、クラチエ州・コチュレイン島における甲状腺に関する研究
講師	下元 理恵	看護師、OJT、慢性心不全患者に関する研究
助教	下田 真梨子	中堅看護師の離職に関する研究

医学部 看護学科 臨床看護学		
教授	溝淵 俊二	高知県の機能性素材の探索
教授	山脇 京子	慢性疾患患者のQOL
准教授	佐藤 美樹	睡眠と健康、自律神経活動、生活習慣に関する研究
講師	小松 輝子	助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤と尿失禁に関する研究
講師	高橋 美美	大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術に関する研究
講師	濱田 佳代子	妊娠、出産、育児の支援に関する研究
講師	吉村 澄佳	働く女性の健康に関する研究、睡眠と健康
助教	寺下 憲一郎	問題解決能力の測定、数値化に関する研究、がん患者 高齢者の癒し生きがいに関する研究
助教	川合 弘恭	小児慢性疾患をもつ子どもや思春期・青年期の人に関する研究
特任助教	渡部 嘉哉	天然物由来成分の機能性に関する免疫学的解析

医学部 看護学科 地域看護学		
教授	奥谷 文乃	においや味の情報は脳でどのように処理されているか
講師	杉本 加代	壮年期における生活習慣
講師	齋藤 美和	保健師の人材育成、学生のコミュニケーション力に関する研究
助教	林 昌子	在宅生活を送る脳卒中高齢者の持てる力・高齢者看護
助教	和田 庸平	地域包括ケアシステムにおける連携や在宅療養を含めたパートナーシップに関する研究

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 暖地農業学専攻領域		
教授	尾形 凡生	果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授	島崎 一彦	試験管内の組織培養によるランの苗生産技術の開発と希少植物の生態調査
教授	村井 正之	稲遺伝・育種、老人・病院用ご飯、米粉パン用極多収晩生品種、良食味、鑑賞用稲
准教授	西村 安代	野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業
准教授	増田 和也	農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究
准教授	松川 和嗣	高知県独特の和牛である土佐あかしの生産振興にかかわる研究
准教授	宮内 樹代史	園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化
准教授	宮崎 彰	イネの高温登熟性・乾燥適応性に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理
講師	濱田 和俊	果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師	松島 貴則	労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師	山根 信三	循環型農業生産・高品質なし果実の作出・GTL利用省エネ多収農業

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 自然環境学専攻領域		
教授	荒川 良	天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
准教授	伊藤 桂	ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授	鈴木紀之	昆虫の行動・進化・群集、生物多様性の生態学的な効果
准教授	手林 慎一	植物の病害虫や環境に対する抵抗性の化学的・分子生物学的解明
准教授	森 牧人	広域農林生態系の気象環境学的評価

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学専攻領域		
教授	大谷 慶人	きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材パルプ・紙
特任シニアプロフェッサー	塚本 次郎	環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解の空間分布・パターン
准教授	市浦 英明	機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授	市栄 智明	樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究
准教授	鈴木 保志	林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
准教授	古川 泰	地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師	松本 美香	中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 生産環境管理学専攻領域		
教授	河野 俊夫	食品偽装防止技術、食品への異物混入検出技術などの食品安全工学
教授	藤原 拓	地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授	松本 伸介	農業水利施設の構造設計、建設材料の新規開発、音環境の調査
准教授	齋 幸治	地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授	佐藤 周之	流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授	佐藤 泰一郎	中山間地域の水・土・里環境保全・環境型傾斜地農業の推進
准教授	松岡 真如	衛星データやデジタル地図を活用した陸域環境の解析

農林海洋科学部 農芸化学科		
教授	芦内 誠	バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授	岩崎 貢三	土壌-植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業
教授	枝重 圭祐	動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索
教授	木場 章範	植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくらう！～
教授	金 哲史	昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授	康 峪梅	土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授	田中 壮太	熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授	永田 信治	食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用
教授	曳地 康史	植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発

准教授	上野 大勢	高等植物の栄養生理に関する研究
准教授	柏木 文弘	食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授	島村 智子	食品成分に関する研究、食品の機能性の解明
准教授	村松 久司	産業用酵素の探求・機能解析・応用法の開発
講師	若松 泰介	新規有用たんぱく質の探求、機能解析・構造解析、そして応用

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

教授	足立 真佐雄	赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授	池島 耕	沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究
教授	大嶋 俊一郎	魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究
教授	關 伸吾	魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
教授	森岡 克司	養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
教授	益本 俊郎	養殖魚飼料の栄養と消化吸収に関する研究
准教授	足立 亨介	海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー
准教授	中村 洋平	魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態
准教授	深田 陽久	魚類の食欲・消化・成長に関する研究、ブランド養殖魚の開発
准教授	山口 晴生	海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
講師	今城 雅之	魚類の病原微生物(ウイルス、細菌、原虫、寄生虫)に関する研究

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース

教授	上田 忠治	新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
教授	村山 雅史	海洋の物質循環と海底資源形成に関する研究
教授	寄高 博行	海洋表層流の変動に関する研究
准教授	西尾 嘉朗	化学を用いた地球の謎(海底資源成因や地震火山機構等)の解明
准教授	野口 拓郎	海底熱水活動に伴う有用金属・有害金属の動態解明
助教	長谷川 拓哉	機能性無機材料の開発と新機能付与

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生命科学コース

教授	久保田 賢	造礁サンゴなどの海洋生物のタンパク質や遺伝子に関する研究
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探求と開発、およびDNP-NMR研究
教授	長崎 慶三	海洋生態系におけるウイルスの役割と存在意義に関する研究
教授	深見 公雄	海洋微生物の生理・生態とその働きを利用した環境保全・修復
准教授	金野 大助	有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
准教授	櫻井 哲也	藻類等の生命情報を網羅的に用いた比較解析によるゲノム研究
准教授	寺本 真紀	有益な物質の生産や環境浄化にむけた有益な微生物の探求・構築
准教授	難波 卓司	海洋生物が産生する化合物の薬理作用の探求と真核細胞の恒常性維持機構の解析
准教授	三浦 収	海産無脊椎動物の生態と進化の研究
准教授	山田 和彦	次世代型NMR装置の開発
助教	小野寺 健一	海洋共生微細藻を大量に培養し未利用物質資源を探索する研究
助教	Dana Ulanova	海洋微生物の二次代謝産物生合成研究

地域協働学部 地域協働学科

教授	池田 啓実	自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授	上田 健作	非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
教授	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授	内田 純一	成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論、公民館、地域施設
教授	大石 達良	日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
教授	鈴木 啓之	現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公用論
教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
准教授	石筒 寛	工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策、サービスタウンのプログラム開発
准教授	大槻 知史	持続的な地域運営の支援(防災、地域活性化、遺産保全)、防災教育
准教授	霜浦 森平	都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究
准教授	中澤 純治	産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授	中村 哲也	地域スポーツ社会学、運動部活論、スポーツと体罰研究
准教授	松本 明	持続可能な地域づくりに資する計画論、評価方法、人材育成等
准教授	湊 邦生	地域研究(モンゴル)、計量社会学、多文化関係学、地域協働学
准教授	吉岡 一洋	グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
講師	今城 逸雄	地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
講師	須藤 順	コミュニティデザイン、地域活性化、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり
講師	田中 求	農山漁村の多様な豊かさの再構築、和紙原料栽培と資源管理、獣害対策、環境社会学
講師	藤岡 正樹	防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業
講師	俣野 秀典	組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファミリーेशन
助教	斉藤 雅洋	地域活動と住民の学び、地域づくりと環境教育、学校・家庭・地域の連携・協働
助教	佐藤 洋子	地方都市・農村における女性の労働と生活に関する研究

全学教育機構(土佐さきがけプログラム担当)

准教授	前西 繁成	非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
講師	柴田 雄介	英語超文節音の効果的学習法・指導法の研究
特任講師	Sharpe Michael John	グローバル言語としての英語、英語史

大学教育創造センター

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授	立川 明	科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果

准教授	杉田 郁代	授業の中の学生支援(学生の居場所がある授業づくり)に関する研究
特任講師	高畑 貴志	教育におけるICTの活用

教師教育センター

准教授	松島 朝秀	科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究
-----	-------	----------------------------

アドミッションセンター

准教授	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
特任准教授	喜村 仁詞	大学と受験生のコミュニケーションに関する研究

学生総合支援センター

特任准教授	森田 佐知子	キャリア教育に関する国際比較、ICTを活用したキャリア支援
特任講師	坂本 智香	文章表現教育、日本語文法、英語成績不振の要因と支援

保健管理センター

教授	井上 顕	自殺対策、精神医学(特に不安症)、メンタルヘルス、社会医学
教授	岩崎 泰正	ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	澁谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築

総合研究センター

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
准教授	加藤 伸一郎	遺伝子工学的的手法による含硫化合物生合成系の機能解析
准教授	斉藤 知己	海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
准教授	坂本 修士	非翻訳RNAの産生変動が引き起こす病態生理現象
准教授	津田 雅之	発生工学的的手法を用いたマウスの発生や再生に関する研究
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増殖に関する研究
助教	都留 英美	自然免疫系細胞を中心とした生体防御システムの解析
助教	樋口 琢磨	小分子RNAを介した癌化制御に関する研究

地域連携推進センター

特任教授	川澤 慶洋	地方創生による地域活性化事業の企画立案・検証
特任教授	富 裕孝	食用資源研究開発、機能性表示、トクホ開発
准教授	赤池 慎吾	森林の公益性に関する通時的分析、文化遺産を活用した観光まちづくり、将来人口推計を使った地域づくり
准教授	石塚 悟史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
准教授	岡村 健志	自治体や企業などが実施する地域プロジェクトの企画・開発や運営支援
准教授	吉用 武史	地域学連携、自治体との連携に基づく地域活性化事業の企画立案
特任准教授	川竹 輔	高知の中小企業事情 地方自治 よさこい概論
講師	大崎 優	地域経済構造分析、中山間地域問題分析、自転車振興によるまちづくり
講師	梶 英樹	自治体等との連携に基づく地域活性化事業の企画立案及び運営支援
講師	下方 晃博	知的財産 産学連携
特任講師	松田 高政	食の6次産業化、消費者・販売者の視点による地域産品の開発
助教	森 明香	環境社会学、川の文化、河川開発をめぐる住民運動の基盤と論理
特任助教	栗田 せりか	地域食材の成分分析及び食品の品質管理

国際連携推進センター

教授	新納 宏	国際協力、開発途上国論、移行経済国の市場経済化支援、中央アジアの地域開発
教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究
准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
特任講師	岡本 葉子	生態系(生物多様性)保全、持続可能な自然資源の利用(里山)と地域振興、GIS(地理情報システム)、防災
助教	Garcia Del Saz Eva	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

学術情報基盤図書館

准教授	佐々木 正人	分散システム管理運用技術、情報セキュリティ、情報教育
助教	石黒 克也	素粒子物理学、格子量子色力学、情報教育

海洋コア総合研究センター

教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
教授	岩井 雅夫	新生代地球表層圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
教授	安田 尚登	メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
教授	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明
特任教授	臼井 朗	海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
特任教授	徳山 英一	海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究、海底活構造研究
准教授	氏家 由利香	微化石生物を用いた海洋生態系と地球環境の進化
助教	Kars Myriam	環境磁気学的手法による古環境・古気候変動とガスハイドレートの研究
特任助教	浦本 豪一郎	外洋深海底の鉱物資源形成メカニズムの研究
特任助教	奥村 知世	堆積物中の微生物-鉱物相互作用の研究

IR・評価機構

教授	岩崎 保道	大学評価及びIR(Institutional Research)に関わる研究
----	-------	--

安全・安心機構

准教授	小島 優子	ヘーゲル哲学における行動と言葉に関する研究
准教授	廣瀬 淳一	協力と幸福に関する研究、社会開発論、男女共同参画人材の育成

国立大学では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

また、平成30年度には、現職教員の再教育の場としての役割に重点を置きつつ、学部卒学生についても実践力を身に付ける場として教職大学院(専門職学位課程 教職実践高度化専攻)を設置しました。

履修の特徴

修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

修士課程の履修システム



<準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の3つの準専攻履修制度が設けられています。

- 黒潮圏総合科学準専攻
黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。
- 植物医学準専攻
植物科学の広汎な知識を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。
- 海洋鉱物資源科学準専攻
海洋鉱物資源(レアメタル)をキーワードとした最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

- レディーメイド副専攻プログラム例
「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学(ISK)」「現代教育学」

専門職学位課程【教職大学院】

教員としての深い学識・卓越した能力を養成

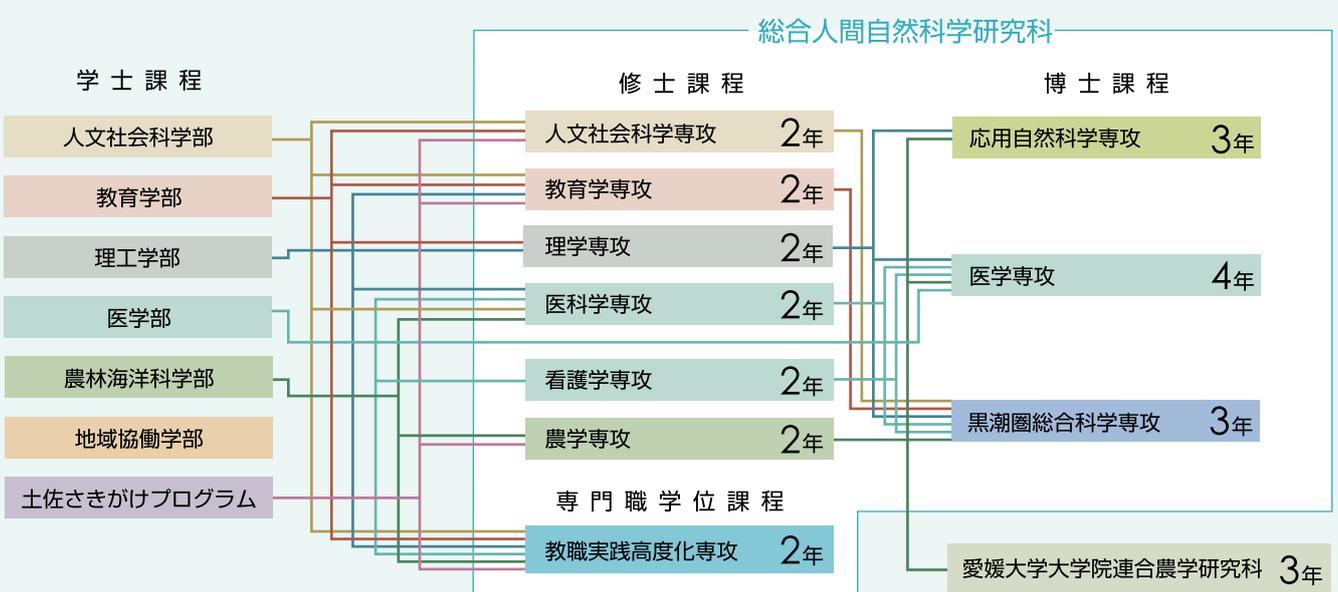
「共通科目」と「実習科目」、「総合実践力科目」、学校運営、教育実践、特別支援教育のコース別「専門科目」を履修します。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
 - グローバル社会研究コース
 - 社会科学研究コース
- } 定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
 - 授業実践コース
- } 定員12名

理学専攻

学術研究の高度化・多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学を創り出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を發揮できる人材を養成します。

- 理学コース
 - 応用理学コース
- } 定員75名

医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部卒業者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

- 医科学コース
 - 公衆衛生学コース
- } 定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース
- 定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術を併せ持つ人材を養成します。

- 農学コース
- 定員59名

専門職学位課程【教職大学院】教職実践高度化専攻

常に高知県の学校教育の現場を念頭に置き、学校教育に関わる理論と実践の融合によって、学校教育が直面する諸課題の構造的・総合的な理解に立って学校教育運営をマネジメントし、実践できる中核の中堅教員と、授業力の向上や学級経営等の充実を目指して組織的な授業改善をリードできる中核教員、また、特別支援教育に関する指導・支援の充実を図り、組織的な体制を構築することのできる中核教員を養成します。

- 学校運営コース
 - 教育実践コース
 - 特別支援教育コース
- } 定員15名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
 - 物質機能科学コース
- } 定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
 - 医療学コース
 - 情報医療学コース
 - 小児神経精神医学コース
 - MD-PhDコース
- } 定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 共生科学コース
 - 人間科学コース
- } 定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいまもなく、外国人にも門戸を開いています。

海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。

留学というチャンスを手にして

深田 恵衣 人文学部国際社会コミュニケーション学科4年
(高知県 私立土佐女子高校出身)



私は、交換留学生としてカリフォルニア州立大学フレズノ校に10ヶ月間留学しました。入学前からアメリカに留学しジャーナリズムを学びたいと思っており、専門的に学べる授業や施設が揃っているこちらの大学を選びました。

憧れの留学生活を手に入れることができても、授業では非常に苦労しました。宿題1つとつても何をやるにも時間がかかり、いつも誰かに助けってもらって何とかやっている状態でした。アメリカの大学生はとにかくよく勉強します。クラスメイトに追い付きたくて、私も必死で勉強しました。

その一方で、遊ぶときは思いっきり遊ぶというアメリカ流のメリハリの付け方も学びました。中学校の英語の教科書に載っていた「ヨセメテ国立公園」に行ったことはとても印象に残っています。

留学をすると、毎日が新しいことの連続です。特に、カリフォルニアは「世界で最もダイバーシティに富んだ場所」と言われており、多種多様な人々が暮らす土地に身を置くことで自分の視野を大きく広げることができました。みなさんも留学をして、こんな刺激的な日々を堪能してみませんか？



メディアパフォーマンスの授業で
現役アナウンサーの教授と



卒業式。
苦楽を共にしたクラスメイトと

留学先DATA

カリフォルニア州立大学フレズノ校

アメリカ合衆国

■ 学部 農学・テクノロジー学部、教養・人文科学部、経営学部、教育学部、工学部、健康科学・人間科学部、理数学部、社会科学部

■ 概要 1400エーカー(東京ドーム110個分)という全米でも最大級の広大なキャンパスを有する。スポーツではアメリカンフットボールやバスケットボールが盛ん。

※学生の所属・学年表記は平成29年度のものです。

国際交流協定

高知大学では、20の国と地域、62の大学、研究所と大学間で国際交流協定を結んでおり、そのうち52の大学と学生交流に関する覚書を結んでいます。学生交流に関する覚書を結んでいる協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が高知大学を訪れます。

大学間協定校一覧 2018.5.1現在

インドネシア	●ブラビジャヤ大学 ●チェンダラワシ大学 ●ボゴール農業大学 ●ハルオレオ大学 ●タンジュンブラ大学 ●リア外国語大学	中国	●佳木斯大学 ●天津師範大学 ●陝西科技大学 ●南京航空航天大学 ●安徽大学 ●上海海洋大学 ●瀋陽薬科大学 ●北京聯合大学 ●河南大学 ●北京外国語大学 ●常州大学 ●東北大学秦皇島分校	オーストラリア	●クイーンズランド大学
タイ	●コンケン大学 ●カセサート大学 ●タマサート大学	ベトナム	●ハノイ科学工業大学 ●ハノイ科学大学 ●タイグエン大学	アメリカ	●カリフォルニア州立大学フレズノ校 ●ロードアイランド大学
韓国	●漢陽大学校 ●明知大学校 ●韓瑞大学校 ●国立慶尚大学校 ●金剛大学校 ●東国大学校 ●白石大学校	マレーシア	●マレーシアブトラ大学 ●マレーシアサラワク大学	メキシコ	●国立ポリテック工科大学 応用研究所 サルティジョ校 ●サルティジョ工科大学
フィリピン	●フィリピン大学 ●ピコール大学 ●バルディド州立大学	台湾	●国立中山大学 ●東海大学 ●中国文化大学 ●国立東華大学	イタリア	●サッサリ大学
				オランダ	●ハンゼ応用科学大学
				スウェーデン	●イエーテボリ大学
				チェコ	●南ボヘミア大学
				ノルウェー	●インランドノルウェー応用科学大学
				ガーナ	●ガーナ大学
				カザフスタン	●カザフ国立大学

留学

学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ国際連携推進センターに相談に来てください。交換留学の情報や国際交流イベントのお知らせなどは、高知大学のHPからチェックできます。 <http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

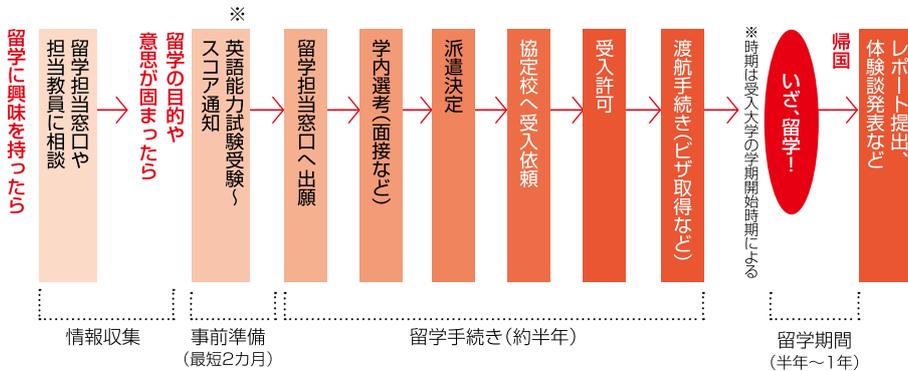


▶ 留学の種類

- **交換留学** 留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は半年または1年間で、4年間で卒業も可能です。
- **私費留学** 高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

▶ 留学の流れ — 協定校への留学 —

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



※ 英語圏の大学への留学には、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストです。リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。

IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。高知大学でも年2回受験できます(平成30年度)。

▶ 海外留学説明会

協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



▶ 国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちの一つが外国へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ本学学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。(実績:平成29年度13人)



多様な異文化交流

高知大学では、世界24ヶ国140人の外国人留学生が学んでいます(2018年5月1日現在)。授業やサークル、キャンパスで見かけたら思い切って話しかけてみましょう!

▶ グローバルコミュニケーション

海外語学研修を含む共通教育教養科目



学内での事前・事後学習および海外実習を通して、語学力向上や国際感覚を養うことを目指す科目です。平成29年度は、3学部から計7人が履修し、夏休みにオーストラリアのクイーンズランド大学の語学学校に通いました。

▶ カルチャーカフェ

誰でも参加できる国際交流カフェ



カルチャーカフェは、日本人、外国人、学生、先生、誰でも参加OKなカフェです。みんなでお茶を飲みながら、国際交流を楽しみます。みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

Campus Life

ようこそ“おらんく”のキャンパスへ!

「おらんく」とは、土佐弁で「私の家」という意味。高知県は、気候が温暖な上、住む人も気さくでおおらかな土地柄です。高知大学には、「朝倉」、「岡豊」、「物部」の3つのキャンパスがあり、学生はのびのびとした雰囲気の中で学生生活を送っています。学生主体のイベントも盛りだくさん! 楽しいキャンパスライフが待っていますよ!!

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



▶ Year Calendar 2018-19

4
Apr.

- 入学式
- オリエンテーション
- 第1学期授業開始

5
May

6
June

各種スポーツ大会
イベント

7
July

- 演習林トレイルランニングレース
- 医学部附属病院七夕コンサート

8
Aug.

- 第1学期試験期間

9
Sep.

- 第2学期履修登録

よさこい祭り
8/10・11

入学後すぐは新歓イベントがたくさんあるので、皆さんの好きなことを見つけよう!

高知に住んでみてどうですか?

高知大生の約75%以上が高知県外から来ています。

Is Kochi comfortable to live in?

わたしが
お答えします!

高尾 和紗 さん
人文学部国際社会
コミュニケーション学科3年
大阪府 私立清教学園高校出身

Q 高知に来て驚いたことはありますか?

冬が意外と寒い(笑)。風邪を引きやすい体質なので、来る前は周りの人から「高知は暖かいから大丈夫だね」と言われて期待していたのですが…。南国土佐でもコートは必要ですよ!

Q 授業以外は何をしていますか?

週4でラクロス部の活動、その後にバイトが入っていたりして、スケジュールはみっちり詰まっています(笑)。オフの日には、友達とカフェに行くことが多いかな。高知にはおしゃれなカフェが多いので、次はどこに行くかとよく話しています。レンタカーを借りて四万十川や室戸ジオパークなどへ遠出もしたいですね。

Q 高知の魅力は何ですか?

生魚が食べられなかったのに、食べられるように! カツオのたたきから始まり、色んなお刺身を美味しく食べられるようになりました。食べ物が何でも美味しいんです。



カフェテリアでもカツオのたたきからメニューに登場するかも!

学祭は大盛り上がり必至！
物部キャンパスでは
あかうしとのふれあいも！



医学部の体育祭は
とにかく盛り上がります！



卒業おめでとう！



〜おめでとう〜



- 第2学期授業開始
- 南風祭 (10/7-8)



- 黒潮祭 (11/3-4)
- 物部キャンパス一日公開
- 室戸貫歩



- 医学部体育祭
- 学長杯争奪駅伝



- 寒中水泳



- 第2学期試験
- 卒論発表会



- 卒業式



室戸岬まで約90kmの
道のりを歩く高知大学
伝統行事！

さっさい・・・



高知って どんなところ？

What is the place
that Kochi is like?

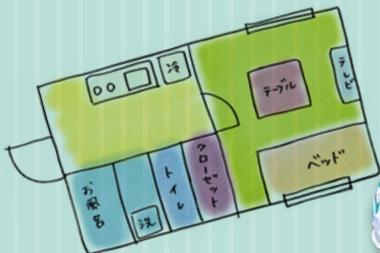


高知には
魅力的な人や自然が
たくさん！！



Q どんな部屋に住んでいますか？

私の部屋の広さは8畳のワンルーム。
私は物をあまり置かない主義なので、スッキリ
片付いています。



日曜市

新鮮な野菜や果物のほか、植木、打刃物も扱う生活市。なんとその歴史は300年以上！



ひろめ市場

高知の旬の美味しいものが一度に楽しめるひろめ市場。高知流のおもてなしを楽しんで。



仁淀川

こんなに澄んだ青見たことない！それが「仁淀ブルー」。キャンプやラフティングなどのアウトドアレジャーも盛ん。こんなに美しい自然が、朝倉キャンパスから車で20分届けば見られます！



黒潮町

サーフィンやホエールウォッチングなどのマリレジャーが人気。毎年5月に開催される「シャツアート展」は必見！



室戸ジオパーク

雄大な海、広がる水平線、大地の動きを感じられる地形。ここでしか見られない風景があります。

他にもオススメ
スポットはたくさん！
あなたのお気に入りの
場所を見つけよう

坂本龍馬やジョン万次郎
板垣退助などの歴史的偉人も
たくさん輩出！

Daily Life

Cafeteria

朝から晩までいろいろ使える学食



「鶏飯唐揚げ」は
高知大学生協
不動の人気No.1!



高知大学生協 IKUS

朝倉 岡豊 物部

営業時間はキャンパスによって異なります。

ペーカリーカフェがお気に入り、美味しいものはないかなとよく見に行きます。おすすめは、クッキーシュー! 大好きで、頑張った次の日のご褒美に週1で食べています。ミールプランを利用している友達が、食堂の「1円朝食」を利用しているのが羨ましいです。午前11時まで利用することができるので、1限目の授業が終わったあとに遅めの朝食を食べることもできるとか。

ミールプラン

年間決まった額を先に支払うことで1日定められた額(コースによって1,200円、1,000円、600円)まで食堂メニューが食べ放題になるプランのことです。「マイページ」というリアルタイムで食事歴がわかるインターネット上のサービスもあります。また1円朝食とは、ミールプランの利用者を対象に朝食メニューを250円引きで利用できるサービスのことで、朝食メニューは251~301円なので、ミールプランご利用中の方は1~51円で朝食を食べることができます。



学術情報基盤図書館

Library

朝倉 岡豊 物部

テスト期間中には、図書館の勉強スペースをよく利用しています。周りの人が勉強していると、自分もがんばらなきゃとやる気になります。グループ学習室を借りて、友達と話し合いながら課題をすることも。

2階のPCスペースは、レポートを書くのによく使います。勉強用の資料を印刷するのに、無料でプリンターが利用できるのととても便利です。



キャレル



朝倉

アクティブラーニングフロア

▶レファレンスカウンター

図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取り寄せることもできます。

▶アクティブラーニングフロア

学生が集まって、グループディスカッションやグループワークができるスペースです。可動式のテーブルやイス、ホワイトボードがあり人数や目的に合わせてレイアウトを変更して利用できます。

保健管理センター Health



朝倉キャンパス 保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師(物部キャンパスは看護師のみ)が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にもなっています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。

定期的に取り組んでいます!

朝倉 岡豊 物部

- 健康診断: 全学生対象
- メンタルヘルスに関するアンケート調査: 新入生対象
- 感染症対策、予防接種のチェック
- 心電図検査: インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 特殊健診: 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 骨密度検査
- アルコールパッチテスト
- イベント: メンタルヘルス講演会、料理作りなど

学生何でも相談窓口

朝倉

相談できる場所があるのはホントに安心...

履修方法、成績、課外活動、就職、人間関係など学生生活の悩みでどこに相談したらよいか分からない時は、ひとまずこちらへ。気軽に利用してください。



キャンパスライフ支援ルームからふるパレット

朝倉

学生スタッフも活躍中!

身体の病気や障がいがあってもキャンパスで安心して過ごせるように、バリアフリー環境の整備や授業での困りごとの相談にのっています。学部、学年に関係なく学生が集い、語り合う場「からふるパレットカフェ」を定期的で開催しています。

Cost of Living



大学生の自活ってどんな感じ？



川崎さんの生活費

収入

仕送り 10,000円+家賃
アルバイト 20,000円

支出

・住居費 39,000円
・食費、光熱費 12,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 5,000円

アパートで暮らす

川崎 智生 | 人文社会科学部2年 | 大阪府立三国丘高校出身 |

部屋探しやPC購入は、生協が便利!

僕は騒々しくない自然豊かな場所で学びたくて高知大学に来ました。このアパートは生協管理物件で、静かな環境が気に入っています。大学生協には、部屋探しだけでなくパソコンの購入などでもお世話になりました。今はその恩返しがしたいと、自分も生協のサポーターになってアルバイトをしています。一人暮らし・勉強・アルバイト、うまく両立して自立した学生生活を送りたいと思っています。

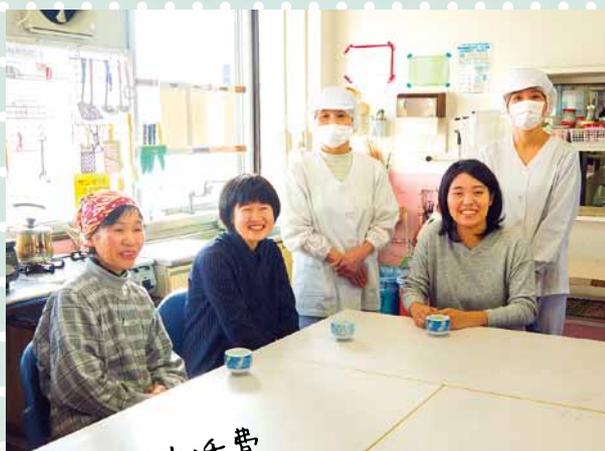
体にも財布にもやさしいミールプラン

カフェテリアやベーカーリーカフェで使えるミールプランは、一人暮らしの強い味方です。週ごとに替わるメニューは常に200種類ほどあり、毎日食べても飽きません。また、1円で朝食が食べられる特典もあっておすすめです!

▶ミールプランの詳細情報は、P69へ

一人暮らしの仲間同士、助け合える

高知大学は県外出身者が多く、みんな一人暮らし。図書館で勉強した後は、いつも誰かのところに集合です(笑)。友達づくりの機会も多いので、遠方から一人で来て心配はいりません。僕は、仁淀川でバーベキューをした新入生歓迎会がとても印象に残っています。みんなでおいしいお肉を食べ、川で泳いで、仲良くなれましたね。



神尾さんの生活費

寮母さんや調理師さん、友人の梅津さんと、前列右が神尾さん

収入

仕送り 15,000円
アルバイト 45,000円
奨学金 30,000円

支出

・寮費 19,000円
(食費・光熱費込み)
・食費 15,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 6,000円
・貯金 40,000円

学生寮で暮らす

神尾 はな | 地域協働学部3年 | 高知県立高知追手前高校出身 |

先輩・後輩との絆があって心強い!

親を離れての新生活は、わくわくする気持ちと、わからないことへの不安が入り交じっています。でも、寮ならたくさんの先輩や友達と一緒になので安心! 私も入学当初、履修登録のやり方や授業科目、ゼミの話などいろんなことを教えてもらいました。ほぼ全学部の学生がいるので縦も横もつながりができ、交友関係も広がります。

寮母さん、調理師さんは、第二のお母さん

かつら寮は、平日は昼と夕の2食付き。お昼は毎日、寮に食べに帰ります。調理師さん手作りのごはんは量も十分だし、すごく美味しい! 風邪をひいたらお粥を作って部屋まで持ってきてくれます。寮母さんは、私たちのちょっとした体調の変化に気づいてくれて、いつも優しく声を掛けてくれます。大好きな高知のお母さん(お姉さん?)たちに囲まれて、毎日楽しく健康に過ごせています。

食堂はみんなが集う場所

レポートや試験勉強などの時期には、みんなが食堂に集まって自分の課題に取り組みます。勉強がハードでしんどい時も、隣にがんばっている人がいればやる気が出るし、お互いに教え合ったり励まし合ったりもできます。一方で、バレンタインデーの時期には食堂が、にわかパティシエたちの作品でいっぱい(笑)。甘いチョコの香りが漂って、「まさに女子寮」という感じになるんですよ。

Club Activities

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずです。

サークル活動

全国制覇を目指し、
合言葉は「**団結**」!

体育会サッカー部

主将 山下 裕司 人文学部(現人文社会科学部)3年
(岡山県 岡山県作陽高校出身)

高知大学サッカー部は、2017年総理大臣杯17年連続27回、インカレ24年連続33回の出場を果たしました。2018年度から宮武新監督の下、新しい体制となります。これを機に、今まで以上に主体的に取り組み、天皇杯王者奪還すべく部員全員で「団結」し戦っていきます。また、地域の子

どもたちにサッカー指導をする少年少女サッカー教室などの地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。2018年度はさらに高みを目指して部員一同練習に励んでいます。



サークル一覧

体育系サークル

朝倉キャンパス 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、体育会サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、体育会卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部、漕艇部

岡豊キャンパス 医学部合気道部、居合道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部自転車部、医学部蹴球会、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ソフトボール部、医学部卓球部、医学部ダイビング部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部

硬式野球部

硬式野球部は現在選手が38名、マネージャー5名で活動しています。監督、コーチ2名、部長の指導のもと、全国で勝つことを目標に日々練習に取り組んでいます。また、野球を通しての人間の成長も大切にしています。



陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



アメリカンフットボール部

アメフト部は中四国一部リーグ優勝を目指して日々練習に励んでいます。選手、マネージャーの仲が良く和気藹々とした雰囲気自慢の部活です!!ほとんどの選手が大学から始めます。一緒にアメフトしましょう!



漕艇部 (ボート部)

代表 山下 智哉 理工学部1年
(香川県立坂出商業高校出身)

高知大学漕艇部は、四国インカレ優勝を目標に日々練習に励んでいます。ボートはスタートからゴールまでの決められた距離を漕ぎその順位を競う競技です。ルールは単純ですが漕ぐ技術や天候に左右されたりなどとても奥が深く練習を重ねると水上を進む爽快感を感じることができます!経験者はもちろん大学から始める人も多いので今までと違ったことがしたいという方大歓迎です!

水上でしか
味わえない
青春を!



医学部ゴルフ部

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約50名。練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾いなどのお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。





高知大学のサークル数は100以上!
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。
詳しい情報は、高知大学のホームページを
チェックしてみてください!

スマホの
カメラでは撮れない
一枚をぜひ
撮ってみませんか?



写真部

行平 壮秀 人文社会科学部2年
(大阪府私立初芝富田林高校出身)

高知大学写真部には、カメラを触るのがはじめての方からベテランまで、様々な部員が所属しています。

また、写真の勉強会やカメラの貸し出しも実施しているので、カメラを持っていない人でも安心して活動できます。写真部全体での活動としては、週に1回の部会、月に1回の野外ロケ、そして年に1回の撮影合宿を行っています。

また、撮った作品を展示する部展も年に2回行っています。



文化系サークル

朝倉キャンパス 高知大学交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、写真部、子ども倶楽部、ニューシネマ☆パラダイス、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老銃、環境サークルESMIQ、防災すけっと隊、ジャズ研究会ゆずジャズ、アカペラサークルOn-Air

岡豊キャンパス アウトドア・HAM・サークル、ACT-K、ACLS南国、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部裏千家茶道部、医学部映画研究会、医学部小原流華道部、医学部合唱団、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会(うどん部)、医学部軽音楽部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、医学部美術部、地域医療研究会ARMS、パソコンサークルDOS/V、Peer部、フィールド医学研究会、Mental Health Care Club、医学部まんが研究部、医学部災害医療研究会

演劇研究会

私たちの活動内容は発声や即興劇などの基礎練習と、年に3回ある公演の練習です。また外部からイベントの参加依頼をいただき公演を行うこともあります。メンバー同士の繋がりが強く、和気あいあいとした雰囲気です!



ジャズ研究会 ゆずジャズ

去年は中四国のジャズイベントを主催してとても充実していました。少しでもゆずジャズのことが気になったそのあなた!ゆずジャズのTwitter、部室、気軽に遊びに来てください!怖がることはありません。ゆずジャズはエブリタイムウェルカムムードです!!!



表千家不白流茶道部

各人が自由な趣向で人をもてなし、もてなされる。それが、茶道の真髄です。

部員全員が、「お茶で友達をもてなしてみたい」「茶道の魅力を知ってもらいたい」と、そう思えるような茶道部にしていきたいと思えます。



ニューシネマ☆パラダイス

自主映像制作サークル『ニューシネマ☆パラダイス』は、企画、脚本、撮影から全て自分たちで行います。

映像については、長編映画からPVなど様々で、回生問わず、メンバーも大募集です!



防災すけっと隊

代表 山本 詩菜 理学部(現理工学部)2年
(岡山県立西大寺高校出身)

私たち高知大学防災すけっと隊は、近い将来必ず起こるとされている南海トラフ地震に備え、高知県の防災力を向上させることを目的に活動を行っています!小中学・高校での防災授業や、地域に入っでの防災活動、防災グッズの開発・販売活動、防災イベントの企画・実施などの活動を行っています☆私たちと一緒にやりたいことを創造・実現し社会貢献を目指しませんか?



防災で社会貢献、
私たちの
「やりたい」を実現



ASAKURA Campus

朝倉キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ



充実キャンパスでのびのびライフ

1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃれにもぴったりな場所です。



朝倉での移動は自転車が一番便利。買い物も通学もこれ一台！ただし、南国の日差しはきついので気を付けて

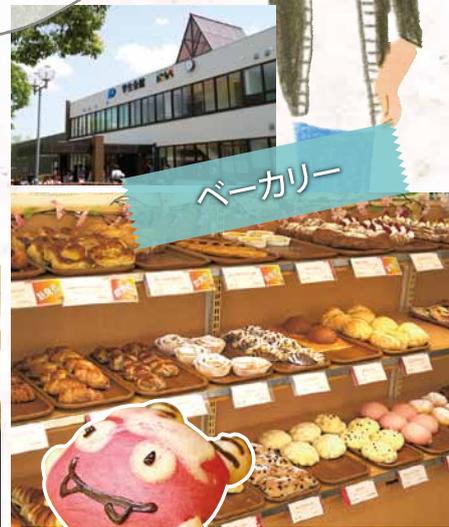


2. 高知大学生協 IKUS

朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気！季節ごとのアイデア商品も登場します。



カフェテリア



ベーカリー



パソコン購入

ノートパソコンは授業で使うので必須です。学協で購入できますので、お問い合わせください。学協では、サポート修理も受付。安心です。



書籍コーナー



コンビニコーナー

学生が多く、にぎやかなキャンパスです。メインストリートのヤシの木が南国土佐らしい！



3. hocco sweets ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



メディアの森は大学の学びには欠かせない場所

4. メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。メディアの森とは、朝倉キャンパス学術情報基盤図書館の愛称です。新聞閲覧コーナーやアクティブラーニングフロア、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。



5. トレーニング室・武道館

2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。



学生さんに聞きました!

キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching ASAKURA campus



シンボルツリー「おうちの木」

おうち 檜クラブ学生ラウンジ ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※檜(おうち)=センダン

OKO Campus

岡豊キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで
読み込もう
詳しくは
90ページ



医学部生は勉強も 遊びも真剣!

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた第二病棟が完成。救急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。



研究施設

勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。



イベント

課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます!





Shop情報



① 学生食堂



② 書店



③ ホスピタルローソン



④ タリーズコーヒー



医学科ロビー



看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です！



学生さんに聞きました！

キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます

キャンパス周辺ガイド

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮（御座・薮野）周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

▶ 詳しくは、物部キャンパス78ページ参照

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないで、ご注意ください。



MONOBE Campus

物部キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは90ページ



周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

学習・研究・厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使える。アクティブな生活が満喫できます！



カフェテリア

福利厚生施設



研究室



野菜販売

キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！

高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

森林

河川

農地

ラボ

海洋

海底

フィールドサイエンス

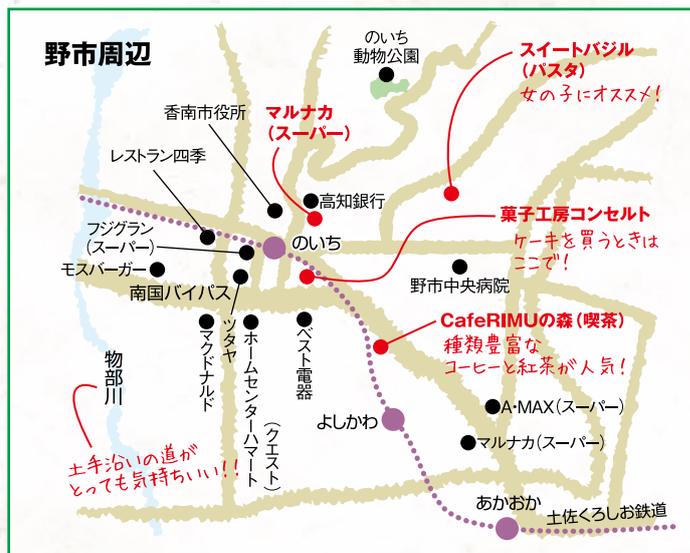


1 キャンパスに隣接する農場は、なんと東京ドーム4個分もの広さ！ 2 農場では田植え体験や、様々な農作物の栽培環境を学ぶ授業などがある 3 土佐あかうしの触れ合いや飼育管理の体験も！ 4 高知県の山は森林率日本一。亜熱帯から亜寒帯までの幅広い植生が特徴だ 5 水質日本一の仁淀川、四万十川、キャンパス横を流れる物部川など流域環境も多様 6 シュノーケリングや釣りを通じて海と触れ合う授業や、実習船で水質調査を行う授業も！ 7 海底コア研究の最先端に触れ、太古の地球から未来へと思いを馳せる 8 食や環境、土壌中に見られる様々な微生物を生育させる作業と観察を行う



キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます！学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



学びを支える様々な制度や取組

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生活全般における相談役として助言や指導を行います。

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

▶ 入学前教育

一部の学部等では、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題を発見する力を養うための入学前教育を実施しています。

▶ 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。また教養科目自然分野では理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽にに行けるシステムです。

e-ポートフォリオ

学生の入学から卒業までの履修、成績、課外活動等の学びに関わる情報を集積し分かりやすく可視化するシステムです。

学生は、e-ポートフォリオを活用することで、学びの目標設定(Plan)→実行(Do)→振り返り(Check)→改善(Action)を意識することができ、学びの量と質の向上につながります。

また、e-ポートフォリオ内の多くの情報は、アドバイザー教員にも共有され、学生支援に役立てられます。



もうひとつの学びの場 — 学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業だけではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

学生と社会をつなぐリエゾンオフィス コラボレーション・サポート・パーク

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援していく仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との様々な出会いを通して成長していく学生を応援しています。



アプリをダウンロードして
スマホで
読み込もう
▶ 詳しくは
90ページ

学生の「何かしたい」をかたちに コラボ考房プロジェクト

「自分の持っているアイデアで、高知をもっと元気にしたい!」「やってみよう!」など、何から始めていいかわからないなど、様々な思いを持っている学生団体の活動をサポートする仕組みがコラボ考房プロジェクトです。1年間、支援教員とコラボスタッフが、企画のブラッシュアップやチーム作りのサポートなどを行います。企画を整理し形にしていくためには、幾度もハードルを越えなければなりませんが、充実した経験ができるよう、教員、スタッフが学生たちを応援しています。



活動ブラッシュアップ会の様子

▶ 現在支援期間中の団体 (29年度～30年度)

- さきはま大好きクラブ (さきらぶ)
「室戸市佐喜浜の観光場所の整備及び情報提供」
室戸市佐喜浜の魅力を発信するため、活動中!
- 土佐の懸橋 ハンプロ
「そうだ、狩りに出よう。
～狩猟を通して、中山間と野生動物の共生を考える～」
狩猟のノウハウを身につけ、地域の人と鳥獣被害対策の活動を行う!

いろんな地域をのぞいてみよう えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンデイツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。



- ▶ 実施例 ● 本山町吉延地区 田んぼアート田植え体験
- 須崎市 伝統の七夕飾り「わら馬」づくり
- いの町伊野地区 まち歩きツアーのブラッシュアップなど

Voice 参加者の声

えんむすび隊の活動は1日から参加OK。希望次第でいろんな体験ができます。参加して感じたことは、地域ごとに違いがあり、魅力的。だからこそおもしろい! 地域活性化のために何ができるのか、机の上では学べなかった大切なことを教わった気がします。



入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

入学料・授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料免除及び徴収猶予の制度があります。

▶ 初年度納付金 **817,800円**
(入学料+授業料)

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円 5月中
	第2学期	267,900円 11月中
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■ 入学料・授業料に関するお問い合わせ先
財務部経理室出納係 TEL 088-844-8125

支援制度

経済的理由による授業料免除及び徴収猶予

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により、入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

なお、日本学生支援機構の給付型奨学金の給付対象者は、申請することにより各期の授業料が全額免除されます。

がんばる学生をサポート!

学業等成績に基づく授業料免除 (仮称)

学業成績が優秀な学部生・大学院生に対して、各学部、専攻からの推薦により授業料年額の半額から全額が免除されることがあります。推薦時期は、10月を予定しており、各学部・専攻で定めた選考基準により決定されます。(予定)

■ 入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先
学務部学生支援課 学生生活支援係 TEL 088-844-8146

住居

▶ 学生寮について



南湊寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南湊寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (82人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車まで約10分
日章寮	男子 (60人)	約10,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部キャンパスに隣接

■ 日章寮を除く学生寮に関するお問い合わせ先 学務部学生支援課事務係 TEL 088-844-8091
■ 日章寮に関するお問い合わせ先 物部総務課学務室学生支援係 TEL 088-864-5116

▶ アパート・マンションについて

アパートやマンションの情報提供は、高知大学生活協同組合が行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

アパート(6畳~8畳 1K・ワンルーム)
月額:約25,000円~約50,000円



■ 高知大学生活協同組合 TEL 088-844-1501
※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。
<https://sign.jp/kouchi/>

▶ 国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。



奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、その他に高知大学独自の奨学金及び地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金

大学・大学院等で学ぶ人を対象とした、国が実施する奨学金です。

※日本学生支援機構奨学金についての詳細は日本学生支援機構のホームページを確認してください。 <http://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

▶ 給付型奨学金 (学部奨学生)

※ 授業料の全額免除を受ける場合は、給付月額が減額されます。

区分	給付月額
自宅通学	20,000円
自宅外通学	30,000円

■ 奨学金制度に関するお問い合わせ先

朝倉キャンパス 学生支援課	TEL 088-844-8565
岡豊キャンパス 学生課	TEL 088-880-2268
物部キャンパス 物部総務課学務室	TEL 088-864-5116

▶ 貸与型奨学金

奨学金の種別

- (ア) 第一種奨学金(無利息)
- (イ) 第二種奨学金(利息付)…在学中は無利息、卒業後年3%を上限とする利息付。
- (ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(利息付)…この奨学金は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年(編入学者の入学年次を含む)において、希望により第1回目振込時の月額に増額して貸与を受けることができます。

貸与月額

(ア) 第一種奨学金(無利息) <学部奨学生>

区分	貸与月額(予定)			
自宅通学	(最高月額) 45,000円		30,000円	20,000円
自宅外通学	(最高月額) 51,000円	40,000円	30,000円	20,000円

※ 最高月額を選択するには家計支持者の認定所得金額が日本学生支援機構の定める収入基準額以下である必要があります。

(イ) 第二種奨学金(利息付) <学部奨学生>

2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、7万円、8万円、9万円、10万円、11万円、12万円から選択

(ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(貸与額)

10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択

高知大学だけの奨学金制度

▶ 高知大学修学支援基金奨学金

高知大学に在学する経済的理由により修学が困難な学生の修学を支援し、高知県及び我が国の将来を支える人材育成に資することを目的とする、寄附金に基づく「高知大学修学支援基金」を原資とした返還義務を必要としない奨学金です。

▶ 高知大学地方創生人材育成基金奨学金

高知の将来を考え、高知に根ざし、高知のために真に貢献しようとする学生を対象に奨学金を給付することにより、将来に渡り高知で生計を立て、その発展に貢献する人材の育成に資することを目的とする奨学金(給付)です。

▶ 高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生(外国人留学生を除く)に対して奨学金を1年間支給するものです。

▶ 高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース及び農林海洋科学部農林資源環境科学科に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学資金を受けない学生に対して支給する奨学金です。

▶ 土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

▶ 国際交流基金

詳しくは、国際交流ページ(66ページ)をご覧ください。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)制度

この保険制度は、大学で学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った被害を救済(学研災)し、また正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償(学研賠)するための保険制度です。学生は安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

サポート 1

いつでも、どんなことでも、
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

私たちが全力で
サポートします!!



経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気軽に相談に来てください。

▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポート
します!

国光 ゆかり ひなた編集室 代表

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する...こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



サポート 2

今すぐ役立つ、
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



サポート 3

話題の就活本や、
過去の「就職活動報告書」が
閲覧できます!

就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職活動(内定)報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!



サポート 4 インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんの自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

サポート 5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

理論系・実践系のセミナーを活用して、動ける自分に出会えるはず!

THINKING

社会での自分の役割を自己分析から考え、就職活動を楽しめるような意味づけをしていきます。

ACTION

多彩な実践セミナーで、経験から得た気づきを今後の行動に活かせるようにサポートしています。

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね!

就活セミナー (理論編)

外部から講師を招聘して、就職活動に対する基本的な知識・スキルを座学で身につけます。

平成30年度スケジュール

- 5月 就活スケジュール・スタートアップ・就職室の活用術
- 10月 教養・適性試験対策
- 11月 エントリーシート対策
- 12月 グループディスカッション対策
- 2月 直前対策講座



就活セミナー (実践編)

理論編と連動しながら、実践的な対策を行っていきます。

平成30年度スケジュール

- 10月 U・Iターン就職相談会
- 11月 教養・適性試験対策実践
- 12月 エントリーシート実践
- 11月～2月 面接対策特訓
- 1月 グループディスカッション実践
- 10月～2月 学内業界研究セミナー
- 3月 学内合同企業説明会
- 3月～4月 バスツアー支援
- 随時 セカンドキャンパス(首都圏・関西圏などの就活拠点)の設置
- 随時 個別企業説明会、個別就職相談

教職・公務員セミナー

教職・公務員に特化したセミナーも実施しています。

平成30年度のスケジュール

- 5月 採用試験の概要と対策(教職・公務員)
- 10月 出願への準備(教職)
- 11月 合格者報告・座談会(教職)
- 10月～11月 国家公務員セミナー(公務員)
- 12月 人物評価の対策(教職・公務員)
- 1月 人物評価実践指導(教職・公務員)

自己分析・理解セミナー

就職活動の軸となる自己アピールポイント抽出のために自己理解を実践するセミナーです。

平成30年度のスケジュール

- 6月・10月・2月 自己分析・理解セミナー

インターンシップ支援プログラム

就職活動が本格化する前に業界・企業、『働くこと』を考えるキッカケとしてインターンシップに参加することをオススメしています。事前のセミナーや様々な地域のインターンシップ情報が得られる相談会を実施します。

平成30年度のスケジュール

- 6月 インターンシップ準備セミナー
西日本各県のインターンシップ担当者によるブース形式の相談会
中四国の企業中心のマッチングセミナー
高知県企業マッチングセミナー
- 7月 インターンシップスタートアップセミナー

就活生の強い味方!

就活生の強い味方!

セカンドキャンパス 東京 大阪 広島 福岡

慣れていない都市でも、安心して利用できる高知大学の拠点「セカンドキャンパス」です。

セカンドキャンパスでできること

1. ラウンジ利用
インターネットやコピー機などが無料で利用できます。
2. 荷物の一時預かり
キャリアバッグなどを無料で預けることができます。
3. 更衣室完備
私服やスーツへの着替えができる更衣室を備えています。
4. セミナーの実施
スキルアップセミナーや対策講座が受けられます。(要予約)
5. 休憩・情報交換
休憩や就活中の他学生との情報交換の場として活用できます。

学生証提示で
利用無料
予約不要

関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の説明会に参加したい。でも遠方へ何度も出向くのは金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。





学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOB、OGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援セミナーの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合も電話で対応しています。

Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場に行くのは交通費など負担が大きくなりそうで心配なのですが…

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。このほか、首都圏・関西圏などに就活拠点（セカンドキャンパス）を設けていますので、学生証を提示すれば、施設などを無料で利用できます。

Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのセミナーの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援を行っています。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば、面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。また、採用活動のピークを過ぎて就職活動を継続している学生や求職中の既卒者に対して「未内定者マッチング支援」を行っています。学内説明会に参加いただいた企業・団体から未内定者へのスカウトを受ける形で未内定者とのマッチングを実施しています。

Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行った全てのセミナーのDVDを物部キャンパスで視聴できます。

就職関連データ

■グラフ1

就職先の県内外比率
(平成29年度卒業生)

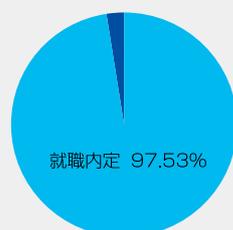
合計:828人



■グラフ2

就職希望者数に対する
就職内定者率

(平成29年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成29年度卒業生)



先輩たちの就活体験

企業

出会いや経験をチャンスに変えて

大倉 永里子 人文学部4年 | 全日本空輸株式会社 内定 | 徳島県立阿波高校出身

大学生活を振り返ると、いくつもの出会いが私を成長させてくれたと感じます。最初の出会いは、ゼミの先生です。「常に目標を持ちなさい」「そのために必要なことは何?」と、夢に向かう具体的なステップを気づかせてくださいました。おかげで、入学時から留学を目指していた私は、まず英語力を高めるため大学2年の夏にイギリスに短期留学を行い、それを土台に大学3年で1年間の交換留学を果たすことができました。

留学先のスウェーデン・イエーテボリ大学では、さらに多くの出会いやカルチャーショックが待っていました。特に影響を受けたのは、女性がみんな強く優しく自立していたことです。また、成人教育が進んでおり、教育のチャンスが人生の中で何度でもあることにも感銘を受けました。学び続ける姿勢の

大切さ、そして自分の意見を相手に伝える力もここで鍛えられました。こうした留学での経験は、私を将来の夢により近づけてくれたと思います。

帰国後、就職活動にあたって、私はずっと憧れであった客室乗務員になるために、説明会に参加して業界研究や企業研究を深めたり、就労室主催の対策講座やプログラムを活用したりして試験や面接に臨みました。ここでも大切な出会いがあり、先生にご紹介いただいた航空会社勤務のOGの方から貴重なアドバイスをいただきながら就活を進め、夢を実現することができました。



大学の様々な支援や人の縁に支えられ、今の私があります。4月からは、これまで自分が支えてもらった分をこの先出会う人や後輩、先生、家族に返していけるような社会人になりたいと思っています。

企業

失敗を恐れずチャレンジしよう

中山 慎也 理学部4年 | シャープ株式会社 内定 | 鹿児島県立川内高校出身

僕が高知大学に進学したのは、理学がベースの理学部情報科学コースで、応用だけでなく理論から徹底的に学びたいと考えたからです。入学後は疑問点を片っ端からつぶすように勉強。恥ずかしさや面倒な気持ちを捨て、1年生の時からいろいろな先生を訪ねて授業の質問をしたり、専門書を見せていただいたりしました。

また、苦手だった英語を克服したいと生協の英語コミュニケーション講座にも挑戦。修了後には今度は自分が教える側のサポーターとなり、2年生の夏には講座のオーストラリア旅行にも参加しました。この経験は、何にでも臆せず挑戦することの大切さを僕に教えてくれました。

3年生第2学期からは、希望だった画像処理やAIを扱う研究室に配属となり、竜巻の前兆状態を画像処理で自動検出する研究に取り組みました。プログラム

の開発に苦労しましたが、少ない人手・コスト・リスクで減災に貢献できる技術の開発に携わり、視野も広がりました。

卒業後の進路については、実は当初公務員を考えていましたが、就職室のマッチング支援に参加して企業の方と話をすることで気持ちが大きく変化。大学で学んだ知識や経験を活かして企業で自分の可能性を伸ばしたいと思い、現在の内定先に就職を決めました。マッチング支援を助けてくださった研究室の先生と支援してくださった就職室の方々には本当に感謝しています。

高校生のみなさん、大学は自分を変えるチャンスにあふれています。チャレンジすれば、結果がどうあれ自分の自信につながり、またやる気が湧いて“いいルーブ”が生まれます。ぜひ失敗を恐れずチャレンジし、自分の道を見つけてください!



こちらも注目

地域で活躍したい学生には...

大学・行政・経済団体がタッグを組んで学生の意欲を後押し!

地方創生推進士



学部を問わず、大学の教育課程で地域住民と積極的に触れ合い、地域の課題解決に取り組んだ学生、高知県への理解と愛情を持ち、地域に貢献したいと考える学生に与えられる称号が「地方創生推進士」です。地方創生推進士と県内企業とのマッチングやインターンシップなど、意欲ある学生が高知県で活躍できる機会を増やす取組を行っています。

—— 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)



合格者の最高得点率・最低得点率・平均得点率（一般入試）

平成30年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		86.8%	65.4%	73.0%	80.1%	62.3%	67.8%	800
		国際社会コース		82.8%	61.4%	73.1%	81.6%	64.6%	72.4%	700
		社会科学コース	A選抜	84.9%	57.3%	65.0%	76.8%	58.7%	63.0%	1,200
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
		教育科学、教科教育、特別支援教育		76.3%	53.8%	63.5%	74.5%	60.6%	63.9%	1,150
		音楽教育コース、美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		科学技術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
理工学部	数学物理学科	数学受験		73.0%	54.0%	61.6%	71.9%	53.2%	57.4%	1,300
		理科受験		64.1%	52.3%	57.5%	67.2%	55.0%	61.2%	1,300
		情報科学科		70.6%	52.6%	58.8%	74.9%	50.6%	58.0%	1,300
		生物科学科		70.3%	54.8%	60.2%	77.6%	63.9%	67.0%	1,300
		化学生命理工学科		65.6%	52.5%	59.2%	72.1%	58.8%	64.7%	1,300
		地球環境防災学科		70.4%	49.0%	58.1%	67.0%	51.6%	59.5%	1,300
医学部	医学科			88.9%	79.1%	83.9%	82.4%	76.0%	78.3%	1,900
		看護学科		75.8%	64.3%	67.9%	77.1%	66.7%	69.6%	790
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			72.1%	53.3%	60.8%	72.1%	56.0%	61.6%	800
		農芸化学科		71.0%	56.5%	63.5%	73.0%	60.9%	66.0%	700
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		75.3%	65.1%	67.8%	75.0%	67.0%	69.0%	900
		海底資源環境学コース		63.4%	55.9%	60.1%	68.7%	60.8%	64.5%	1,400
地域協働学部	地域協働学科	海洋生命科学コース		72.1%	58.4%	65.0%	73.6%	67.9%	70.1%	1,300
				80.0%	58.0%	66.1%	72.7%	61.4%	65.0%	900
土佐さがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース		-	-	-	-	-	-	1,000	
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		-	-	-	-	-	-	700
		国際社会コース		80.5%	66.3%	73.8%	79.6%	69.5%	75.1%	700
		社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	1,000	
理工学部	数学物理学科			-	-	-	-	-	-	1,000
		情報科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		生物科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		化学生命理工学科		72.9%	54.0%	63.7%	72.5%	57.3%	64.7%	900
		地球環境防災学科		-	-	-	-	-	-	1,000
医学部	看護学科		83.4%	60.1%	68.8%	79.6%	63.6%	68.3%	790	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			70.7%	57.4%	64.0%	70.5%	59.3%	65.2%	900
		農芸化学科		75.7%	66.5%	69.6%	76.5%	69.4%	71.5%	700
	海洋資源科学科		78.0%	61.9%	68.0%	79.1%	64.6%	69.3%	800	

平成29年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		82.9%	66.8%	73.8%	77.5%	64.7%	68.8%	800
		国際社会コース		81.9%	66.6%	73.5%	77.6%	66.2%	69.5%	700
		社会科学コース	A選抜	71.9%	58.7%	64.7%	75.4%	58.5%	61.4%	1,200
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	B選抜	-	-	-	-	-	-	1,200
		教育科学、教科教育、特別支援教育		76.3%	55.0%	63.3%	80.6%	56.5%	64.7%	1,150
		音楽教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
理工学部	数学物理学科	数学受験		73.4%	55.7%	61.8%	67.4%	56.8%	59.3%	1,300
		理科受験		67.1%	52.4%	58.4%	73.8%	60.7%	63.9%	1,300
		情報科学科		65.0%	43.1%	55.1%	68.5%	56.0%	60.2%	1,300
		生物科学科		69.8%	56.4%	59.8%	70.5%	62.2%	64.2%	1,300
		化学生命理工学科		76.6%	53.1%	60.5%	80.3%	63.4%	66.2%	1,300
		地球環境防災学科		69.0%	51.0%	57.9%	69.1%	60.6%	63.3%	1,300
医学部	医学科			91.3%	80.3%	84.8%	80.0%	73.0%	75.4%	1,900
		看護学科		76.6%	65.9%	69.4%	77.8%	68.4%	70.7%	790
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			81.1%	56.7%	63.7%	79.1%	60.0%	65.3%	800
		農芸化学科		79.7%	64.4%	68.9%	79.0%	67.2%	70.6%	700
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		73.6%	64.4%	68.0%	74.9%	67.0%	69.5%	900
		海底資源環境学コース		67.3%	53.0%	60.4%	73.1%	56.5%	64.8%	1,400
地域協働学部	地域協働学科	海洋生命科学コース		75.4%	61.3%	66.4%	78.2%	63.3%	67.0%	1,300
				75.9%	59.0%	66.3%	77.6%	64.1%	67.6%	900
土佐さがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース		-	-	-	-	-	-	1,000	
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		-	-	-	-	-	-	700
		国際社会コース		83.5%	74.6%	77.6%	83.2%	77.0%	79.0%	700
		社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
教育学部	学校教育教員養成課程	教育科学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	1,000	
理工学部	数学物理学科			-	-	-	-	-	-	1,000
		情報科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		生物科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		化学生命理工学科		78.1%	54.7%	62.9%	76.9%	57.3%	63.7%	900
		地球環境防災学科		-	-	-	-	-	-	1,000
医学部	看護学科		75.1%	59.5%	68.5%	76.7%	58.4%	68.1%	790	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			73.8%	57.9%	64.7%	74.2%	63.5%	67.9%	900
		農芸化学科		75.7%	56.7%	63.9%	76.8%	60.7%	66.9%	700
	海洋資源科学科		-	-	-	-	-	-	800	

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。 注:3 平均点は小数第2位を四捨五入する。

2013~2018年度入学者出身校一覧 ※学校名は入学時の名称

北海道

釧路湖陵、札幌第一、札幌学院、旭川西、クラーク記念国際、北嶺、函館ラ・サール、北星学園女子、上士幌、室蘭米、北見北斗、旭川北、札幌旭丘、札幌北陵、苫小牧工業、札幌新陽、札幌南、北星学園余市、遺愛女子、札幌清田、立命館慶祥、札幌星光、静内、登別明道中等教育学校、苫小牧東、岩見沢東、函館中部、中標津、札幌新川、旭川東、札幌稲雲、岩見沢西

青森

青森山田

岩手

前沢、宮古

宮城

尚絅学院、仙台第三、泉館山、東北学院、宮城野、仙台第二、宮城第一、仙台北向山、石巻

秋田

本荘

山形

新庄北、長井、日本大学山形、基督教独立学園

福島

福島東、郡山、富岡、磐城

茨城

牛久米進、古河第三、土浦日本大学、鹿島学園、水戸第一、日立第一、緑岡、牛久、江戸川学園取手、清真学園、水城、常総学院、つくば秀英、茗溪学園、土浦第二、水戸第二、茨城、土浦第一、茨城キリスト教学園、土浦第三、藤代、海道第一、水戸桜ノ牧、鹿島

栃木

大田原、鹿沼、真岡、那須高原高校、作新学院、大田原女子、足利女子、足利南、宇都宮中央女子、石橋、真岡女子

群馬

太田(県立)、前橋(県立)、太田女子、東京農業大学第二、富岡、桐生女子、桐生、勢多農林、中之条、高崎北、藤岡中央、沼田

埼玉

開智、浦和(県立)、大宮開成、松山、開智未来、春日部、浦和第一女子、熊谷女子、川越、栄北、東京農業大学第三、西武学園文理、西武台、春日部共栄、獨協埼玉、城西大学付属川越、浦和明の星女子、大妻嵐山、越谷北、川越東、武南、本庄、蕨、熊谷、草加、春日部女子、川口北、川越南、浦和(市立)、和光国際、聖望学園

千葉

千葉(県立)、銚子(市立)、成東、成田、佐原、千葉英和、日本大学習志野、東葛飾、市原中央、渋谷教育学園葛藤、木更津総合、柏日体、専修大学松戸、東邦大学付属東邦、幕張総合、麗澤、東京学館浦安、船橋東、昭和学校秀英、千葉西、千葉北、流山おおたかの森、佐倉、成田国際、佐原白楊、匝瑳、長生、木更津、津田沼、千葉東

東京

城北(私立)、東京学芸大学附属、芝、兼勝、西、田園調布、佼成学園、聖徳学園、多摩大学附属聖ヶ丘、多摩科学技術、駒場、広尾学園、武蔵(都立)、町田、麻布、江戸川女子、桐朋女子、三鷹中等教育学校、開成、八王子学園八王子、拓殖大学第一、日本放送協会学園、京華、安田学園、東京、十文字、関東第一、文京学院大学女子、青稜、大森学園、東洋女子、成立学園、杉並学院、成蹊、吉祥女子、錦城、桜美林、自由学園高等科、武蔵(私立)、日本大学第二、光塩女子学院高等科、田園調布学園高等部、日本大学第三、東京都市大学等々力、東京農業大学第一、世田谷学園、駒場東邦、駒澤大学、立教女子学院、大泉、三鷹、府中、一橋、戸山、新宿、東京工業大学附属科学技術、目黒(都立)、国分寺、日比谷、江戸川、青山、東京工業高等専門学校、東京大学教育学部附属中等教育学校、筑波大学附属、小川川、都文館、狛江、晴星、学習院高等科、國學院、早稲田、成城、海城、八丈、女子学院、城東、桜修館中等教育学校、小川、新宿山吹、国際、小金井北、世田谷東、砂川、東大和南、正則

神奈川

鎌倉学園、桐光学園、湘南学園、湘南、山手学院、横浜サイエンスフロンティア、大和、小田原、横浜専入、光陵、東海大学付属相模、桐蔭学園、柏陽、湘南学院、横浜緑ヶ丘、高木学園女子、藤嶺学園藤沢、日本大学藤沢、神奈川大学附属、横浜翠苑、森村学園高等部、公文国際学園高等部、横浜、湘南白百合学園、横浜平沼、横須賀大津、逗子開成、横浜創英、鶴嶺、厚木、川崎(県立)、生田、戸塚、平塚江南、東、菅、神奈川総合、金井、横浜雙葉、関東

学院、伊志田

新潟

長岡、東京学館新潟、日本文理、新潟第一、柏崎翔洋中等教育学校、高田北城、巻、新潟西、新潟、新潟南

富山

富山東、魚津、片山学園、高岡西、高岡南、羽羽、富山、高岡、氷見

石川

金沢、金沢桜丘、飯田、金沢錦丘、小松、金沢二水、星稜、金沢学院東、小松大谷、日本航空高等学校石川、小松市立

福井

北陸、美方、武生東、若狹、武生、高志、敦賀

山梨

巨摩、甲府第一、富士河口湖、山梨学院、韭崎

長野

松本城ヶ崎、飯田、諏訪清陵、松本県ヶ丘、伊那弥生ヶ丘、諏訪二葉、上田、長野(県立)、長野吉田、佐久長聖、東海大学付属第三、長野日本大学、木曾青峰、中野西、屋代、松本深志、野沢北、岡谷南、松高学園、伊那北、長野西、松本美須ヶ丘

岐阜

長良、岐阜、岐阜東、恵那、中津、益田清風、加茂、多治見、大垣東、麗澤瑞浪、岐阜農林、鶯谷、多治見西、斐太、可兒、中京、加納、多治見北、岐阜北、各務原西、瑞浪、高山西、大垣北、大垣南、岐阜東、海津明誠、帝京大学可兒

静岡

清水東、三島北、浜松湖南、静岡城北、磐田南、富士宮西、浜名、吉原、浜松西、伊東、掛川西、島田、袋井、静岡市立、伊豆中央、下田、静岡北、浜松日体、加藤学園暁秀、掛川東、葦山、沼津東、静岡東、富士、清水西、磐田東、聖隷クリストファー、榛原、三島南、沼津西、浜松市立、浜松南、静岡、焼津中央、浜松学芸、藤枝明誠、藤枝東、静岡聖光学院、静岡学園、御殿場南、静岡中央、富士市立、静岡西、沼津城北、浜松湖東、浜松工業、科学技術、清流館、知徳

愛知

東海、滝、愛知、南山、岡崎西、横須賀、西尾、刈谷北、旭丘、五条、名古屋西、愛知淑徳、一宮南、国府、岡崎北、一宮、瑞陵、半田東、高蔵寺、緑、菊里、春日丘、旭野、千種、昭和、松蔭、豊田北、春日井、小牧南、豊田南、大府東、西春、春日井南、名東、名古屋東、愛知工業大学名電、名城大学附属、桜丘、豊川、大府、東郷、天白、半田、豊田西、碧南、丹羽、東邦、名古屋女子大学、豊野、刈谷、星城、中京大学附属中京、愛知教育大学附属、一宮西、清林館、岡崎城西、津島、光ヶ丘女子、藤ノ花女子、海陽中等教育学校、名古屋大学教育学部附属、明和、成章、長久手、中央、春日井東、津島東、桜花学園、阿久比、豊橋南、豊明、田口、知立東、日進西、美和、鶴城丘、東海南、熱田、岡崎東、小牧、岡崎、中村

三重

高田、四日市西、津西、神戸、宇治山田、川越、名張西、皇學館、桑名、鈴鹿、暁、尾鷲、津東、津、四日市、ウツクス山学園、鈴鹿南、三重、松阪、桜丘、学芸津田学園、木本

滋賀

水口東、彦根東、光泉、膳所、東大津、石山、八日市、米原、虎姫、河瀬、草津東、ECC学園、比叡山、安曇川、近江兄弟社

京都

京都成章、福知山、鳥羽、大谷、亀岡、菟道、嵯峨野、西舞鶴、宮津、洛南、洛西、桃山、京都教育大学附属、東山、南陽、京都女子、京都産業大学附属、城南菱創、福知山成美、東宇治、日吉ヶ丘、山城、西京、園部、峰山、桂、京都橘、立命館、龍谷大学付属平安、京都学園、堀川、海洋、網野、西城陽、京都共栄学園、紫野、京都文教、綾部、ノートルダム学院、塔南、洛北、西乙訓、洛星、須知、花園、京都聖母学院

大阪

清風、高槻、清教学園、関西大倉、泉陽、明星、開明、清風南海、桃山学院、帝塚山学院泉ヶ丘、今宮、近畿大学附属、大阪桐蔭、浪速、東海大学付属仰星、池田、四天王寺、鳳、大阪教育大学附属平野、大阪学芸、茨木、寝屋川、三島、槻の木、金蘭千里、東住吉、四天王寺羽曳丘、北千里、常翔学園、大阪市立、フル学院、和泉、興国、初芝富田林、牧野、高津、八尾、春日丘、三国丘、箕面、大阪教育大学附属天王寺、河南、四條畷、枚方、大阪星光学院、豊中、堺、夕陽丘、上宮、大谷、岸和田、大阪国際大和田、南、

東、大阪学芸中等教育学校、大手前、早稲田摂陵、大阪商業大学堺、関西創備、近畿大学泉州、大阪信愛女子学院、向陽台、大阪青凌、羽衣学園、追手門学院、大阪薫英女子学院、常翔啓光学園、金光八尾、清水谷、市岡、富田林、生野、住吉、阿倍野、佐野、布施、桃谷、港、茨木西、豊島、桜塚、北野、天王寺学園、天王寺、八尾翠翔、初芝立命館、此花学院、大阪商業大学、履正社、賢明学院、泉北、淀川工科、関西大学第一、香里丘、狹山、都島工業、扇町総合、桜宮、刀根山、咲くやこの花、上宮太子

兵庫

津名、姫路飾西、三田祥雲館、八鹿、龍野、小野、川西緑台、姫路南、洲本、御影、三木、加古川西、夢野台、北須磨、姫路、相生、兵庫県立大学附属、明石北、明石城西、滝川、神戸、長田、淳心学院、篠山鳳鳴、星塚、神戸星城、加古川東、西宮(市立)、白陵、宝塚北、須磨学園、香寺、豊岡、北摂三田、神戸商業、西宮(県立)、伊丹(県立)、社、明石、須磨東、柏原、六甲、淡路町南、明石南、西宮北、佐用、近畿大学附属豊岡、加古川北、雲雀丘学園、兵庫、有馬、東播磨、尼崎北、伊丹北、明石西、姫路南、三田学園、東洋大学附属姫路、尼崎小田、須磨友ヶ丘、柳学園、西脇、姫路西、尼崎福園、姫路商業、西宮東、伊川谷北、福岡、赤穂、西宮今津、山崎、六甲学院、神戸鈴蘭台、賢明女子学院、仁川学院、報徳学園、明陽学院、芦屋(県立)、高砂南、出石、神戸龍台、鳴尾、北条、上部、宝塚西、姫路工業、伊和、播磨農業、猪名川、尼崎(県立)、滝川第二、神戸国際、川西北陵、宝塚、網干、六甲アイランド、明石清水、高砂、国際、和田山、明石商業、須磨翔風、甲南、神戸甲北、伊丹(市立)、神戸山手女子、親和女子、灘、神戸大学附属

奈良

帝塚山、桜井、奈良学園、平城、高田商業、敬済、奈良北、西大和学園、高田、青翔、智辯学園、橿原、天理、智辯学園奈良レレッジ高等部、香芝、五条、郡山、奈良学園登美ヶ丘、登美ヶ丘、天理教学園、奈良、生駒、一条、奈良育英

和歌山

向陽、桐蔭、田辺、近畿大学附属和歌山、日高、開智、海南、近畿大学附属新宮、和歌山信愛、智辯学園和歌山、星林、新宮、串本古座、耐久、神島、橋本、和歌山信愛女子短期大学附属、那賀、初芝橋本

鳥取

倉吉東、鳥取西、米子東、鳥取東、米子西、倉吉西、八頭、境、鳥取中央育英、鳥取城北、倉吉北、米子松蔭、鳥取工業、倉吉農業

島根

松江南、出雲、松江北、大社、浜田、松江東、隠岐島前、益田、石見智翠館、大田、三刀屋、平田、大東、江津、安来、北上、出雲西、松江西、開星、島根中央、飯南、津和野

岡山

倉敷南、岡山城東、岡山一宮、岡山学芸館、岡山操山、岡山芳泉、総社南、津山、倉敷天城、倉敷古城池、新見、玉島(県立)、岡山朝日、明誠学院、瀬戸、総社、岡山白陵、倉敷青陵、高梁、金光学園、岡山理科大学附属、西大寺、玉野光南、林野、岡山、玉野、勝山、邑久、就美、井原、矢掛、関西、笠岡、岡山大安寺、岡山県作陽、おかやま山陽、津山東、備前総務、創志学園、倉敷翠松、朝日塾中等教育学校、倉敷商業、興譲館、津山商業、岡山県実作、岡山大安寺中等教育学校、和気開成、笠岡商業、岡山南、岡山工業、倉敷鷺羽、岡山後楽館、岡山龍谷

広島

府中、福山誠之館、広島国泰寺、修道、広島皆実、廿日市、大門、広島学院、尾道東、神辺旭、福園北、広島大学附属、広島なごさ、尾道北、広島、安古市、広、広島大学附属福山、尾道商業、三原、呉三津田、広島井口、宗徳、基町、高陽、ノートルダム清心、広島城北、西条農業、如水館、海田、三次、広島女子学院、広島国際学院、福山暁の星女子、銀河学院、因島、沼田、安佐北、近畿大学附属広島(福山校)、五日市、福原、賀茂、舟入、庄原格致、安芸府中、盈進福山明台学、比治山女子、安田女子、呉宮原、近畿大学附属広島(東広島校)、広島県瀬戸内、御調、AICJ、近畿大学附属福山、広島三育学院、可部、武田、呉港、近畿大学附属東広島、世羅、山形華陽、広島文教女子大学附属、油木、山陽、広陵、吉田、日彰館、呉、戸西、美鈴ヶ丘、広島工業大学

山口

山口、徳山、豊浦、下関南、小野田、華陵、下関西、岩国、宇部、サビエル、下関中等教育学校、下松、大津緑洋、長府、高木、防府、青瀬、松陰、周防大島、

西京、萩、大津、厚狭、光、早瀬

徳島

城北、脇町、城南、富岡西、池田、城東、阿波、徳島市立、徳島北、富岡東、城ノ内、川島、徳島科学技術、海部、小松島、徳島文理、鳴門渦潮、鳴門、那賀、名西、辻、阿波西、板野、新野

香川

高松桜井、高松第一、観音寺第一、三本松、丸亀、高松商業、高松西、坂出、高松北、香川誠陵、坂出商業、香川中央、三木、高松、善通寺第一、高松東、英明、香川県大手前、高松中央、坂出第一、小豆島、観音寺中央、香川県藤井、坂出工業、丸亀城西、高瀬、大手前高松、観音寺総合、土庄、高松南

愛媛

三島、今治北、西条、宇和島東、八幡浜、松山北、新居浜西、松山中央、今治西、川之江、大洲、松山南、松山東、新居浜東、清美、南宇和、松山西中等教育学校、宇和島南中等教育学校、愛光、小松、今治東中等教育学校、伊予、野村、川之石、今治南、松山商業、松山聖徳、清美平成中等教育学校、新田青雲中等教育学校、丹原、新田、今治明德、松山工業、愛媛大学附属、三崎、弓削、上浮穴、新居浜商業、土居、内子、宇和、東温、吉田、北宇和、北条

高知

高知追手前、高知学芸、高知小津、高知西、土佐、土佐塾、中村、土佐女子、高知南、高知商業、高知丸の内、安芸、岡豊、高知工業、高知、山田、明德義塾、須崎、高知農業、宿毛、室戸、幡多農業、橘原、高知北、高知東、嶺北、春野、窪川、清水、大方、四方十、清和女子、高知東工業、伊予商業、中芸、高岡、宿毛工業、高知江の口看護学校

福岡

筑紫、福岡大学附属大濠、自由ヶ丘、戸畑、九州国際大学付属、北筑、福岡中央、東福岡、修猷館、八女学院、明善、八幡、小倉、育徳館、西南学院、大牟田、近畿大学附属福岡、明治学園、香住江、福岡工業大学附属鹿尾、三池、田川、筑紫丘、久留米、京都、小倉南、城南、上智福岡、筑紫台、筑紫女子学院、筑陽学園、福岡女子学院、東筑、久留米大学附設、九州産業大学付属九州、東海大学付属第五、福岡雙葉、宗像、長崎、八幡南、精華女子、嘉穂東、乾手、福岡、朝倉、筑前、嘉穂、小郡、輝翔館中等教育学校、西南女子学院、敬愛、常盤、伝習館、糸島

佐賀

佐賀北、鹿島、伊万里、致遠館、白石、鳥栖、東明館、唐津東、佐賀西、唐津西、武雄、小佐、佐賀商業、弘学館

長崎

長崎南、西陵、猶興館、諫早、佐世保西、五島、佐世保北、長崎東、島原、長崎北、長崎西、上五島、長崎北陽台、志保南、川棚、長崎南山、大村、海星、精道三川台、島原翔南、純心女子、清峰、口加、対馬、長崎日本大学

熊本

鹿本、東稜、八代、熊本西、大津、真和、人吉、熊本、玉名、第二、熊本北、清々嶺、第一、熊本農業、水保、天草、水川、八代清流、熊本マリスト学園、宇土、阿蘇中央

大分

日田、大分西、佐伯鶴城、大分雄城台、中津南、大分舞鶴、大分鶴崎、別府鶴見丘、国東、大分豊府、宇佐、大分、安心院、大分東明、明豊、中津北、竹田、高田、梓葉、別府青山、藤蔭、爽風館、大分上野丘、大分商業、大分南、森

宮崎

延岡、高鍋、宮崎西、妻、宮崎南、都城泉ヶ丘、延岡第一、宮崎北、宮崎大宮、都城西、小林、日向、宮崎星雲、那覇、五ヶ瀬中等教育学校、佐土原、鵬翔、聖心ウルスラ学園、延岡学園、宮崎日本大学、宮崎学園、延岡商業、日南、都城東

鹿児島

武岡台、鹿児島中央、川辺、出水、松陽、鹿児島玉龍、加治木、ラ・サール、大口、甲南、志布志、尚志館、池田学園池田、種子島、鳳凰、川内、出水中央、神村学園高等部、鹿児島、樟南、加世田、曾於、鶴丸、指宿、古仁屋、大島、鹿児島、国分、鹿児島実業

沖縄

向陽、那覇、琉球、首里、普天間、興南、沖縄尚学、コザ、読谷、那覇国際、開邦、名護、糸満、与勝、八重山、那覇西、宮古、宜野座、ヒューマンキャンパス、昭和薬科大学附属、知念

入試 Q&A

Q 高知大学の推薦入試について教えてください。

高知大学など国立大学の推薦入試(以下、AO入試も同じ)は「公募制」です。私立大学に見られる「指定校制」とは全く異なるため、出願資格(評定〇以上など)を満たしていれば全国各地の高校からも受験可能です。そのため、概して志望倍率は高めで、当日の試験の出来によって合否が決まると言っても過言ではありません。入試科目は面接や作文、あるいは教科試験や口頭試問が課される学部学科もありますので、事前に学生募集要項などで必ずお確かめください。

Q 高知大学の合格偏差値はどれくらいですか？

難しい質問ですね。というのも、偏差値などの入試難易度は大手予備校等が独自の方法で算出しているため、大学側に質問されても全く分からないのが正直なところ。高校の先生に聞いたり、受験情報誌で調べてみてください。

Q 高知大学(国立大学)と私立大学の違いを教えてください。

国立大学は学費等の条件がどこもほぼ同じなので、「高知大学と私立大学」ではなく、「国立大学と私立大学」との違い、でお答えします。国立大学は、私立大学と比べて①学費(授業料等)が安いこと、②教員一人あたりの学生数が少ないという特徴があります。

①学費(授業料など)は年間535,800円で、一般に私立大学文系学部の約半分、同系系学部の3分の1程度とされています。国立大学の学費は、学部学科に関係なく同じ額なので医学部ではもっと違いが出ることもあります。

②大学の授業は1~2年次では大人数の教室などで一斉に受講しますが、高学年になると研究室(ゼミナール)に配属され、専門性を身につけます。国立大学の多くで、いち研究室あたりの指導学生数は5人前後と言われています。教員一人あたりの学生数が少ない=教員と学生の距離が近く、一人ひとりの学生に対してきめ細かく指導できると言えるでしょう。

インターネット出願サイトについて

平成30年度入試からインターネットを利用する出願のみの受付となりました。

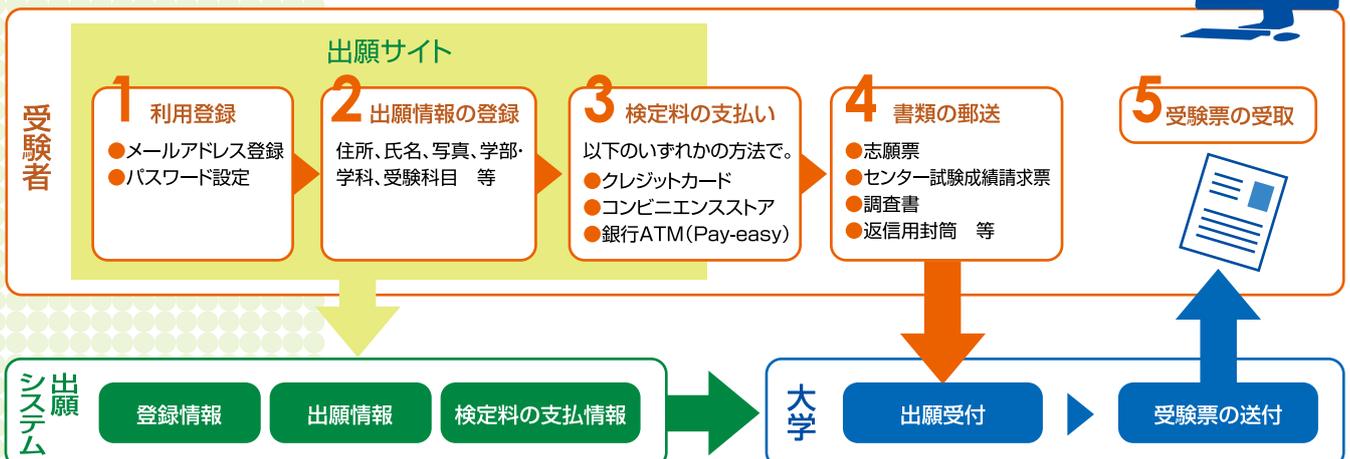
※私費外国人留学生、社会人入試、編入学を除く

四国の5国立大学(高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学)共通の出願サイトです。

- 紙の願書は取り寄せ不要
- 記入漏れ防止のチェック機能つき
- 24時間、出願データの送信が可能
- 検定料はクレジットカードやコンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easy)での支払いが可能
- 本人写真のプリントが不要
- 願書の受付状況がインターネットで確認できる

進学支援サイト「今ログ」開設!

高校生活や学校外の活動記録を「今ログ」に記録できます。記録データは、進路に関するアイデアの整理や大学出願時の検討など、様々な活用ができます。大学側は閲覧やデータ利用ができない仕組みとなっていますので、安心してご活用ください。



オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。



	8月4日(土)		8月5日(日)
朝倉 キャンパス	人文社会科学部 理工学部 地域協働学部 土佐さきがけプログラム	朝倉 キャンパス	教育学部、地域協働学部
		岡豊 キャンパス	医学部医学科、医学部看護学科
		物部 キャンパス	農林海洋科学部



プログラム

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、ミニゼミ、キャンパスツアー
在学生の体験談/質問コーナーなど

※プログラムによっては事前予約が必要なものがあります。
開催時間、申込み方法等については大学HPをご覧ください。

[お問い合わせ先] 入試課入試広報室

☎ **088-844-8766** FAX 088-844-8147

高知大学入試情報サイト <http://nyusi.kochi-u.jp/>

大学案内・学生募集要項等の請求方法

高知大学ホームページをご覧ください。

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

または

▶ 受験生サイト

▶ 学生募集要項等の
請求方法

一般入試、AO入試、推薦入試の各募集要項は、インターネット出願への移行に伴い、Web閲覧のみとなります。

お問い合わせ先

- 入試情報サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています!

<http://nyusi.kochi-u.jp/>

- モバイル端末からのアクセスはこちらから。
メールマガジンも配信中!

<http://daigakujc.jp/kochi-u/>



メールマガジン

大学の入試情報や
キャンパスライフについて
配信中!

キャンパスライフ

に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課

TEL 088-844-8149

E-mail gs03@kochi-u.ac.jp

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入学者選抜

に関するお問い合わせ先

学務部入試課

TEL 088-844-8153

E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

LINEで情報配信中! @kochi-univ.adm

高知大学アドミッションセンターのLINE@アカウントができました。オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信していくので、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。

【登録方法】

LINEアプリから右のQRコードを読み取るか、「友だちをIDで検索」より「@kochi-univ.adm」を検索してください。



スマートフォン用アプリ 「高知大学AR」ができました!

1. 大学案内の中から、マーカーを探そう

スマホで読み込もう このマークが添えられている「マーカー」を探してください。

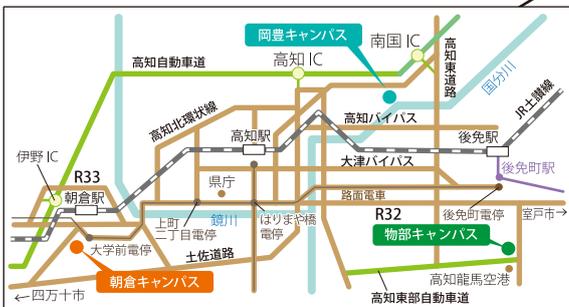


2. ARカメラを起動して、マーカーにかざしてみよう

先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。またこのアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!

アプリストアで「高知大学」と検索!





[キャンパス間の所要時間]



■ **朝倉キャンパス**: 人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部・土佐さきがけプログラム 高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約40分
空港連絡バスで約35分「はりまや橋」又は、約40分「JR高知駅」下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
車で約20分又はバスで約25分
- 高知駅から 路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

■ **岡豊キャンパス**: 医学部
南国市岡豊町小連

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約10分

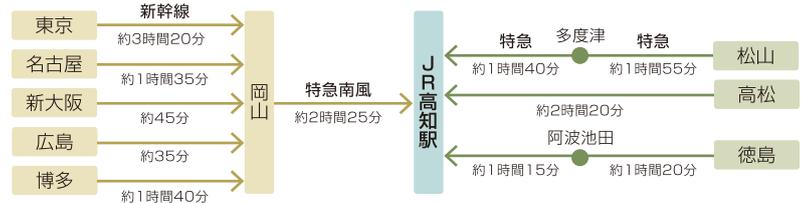
■ **物部キャンパス**: 農林海洋科学部
南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

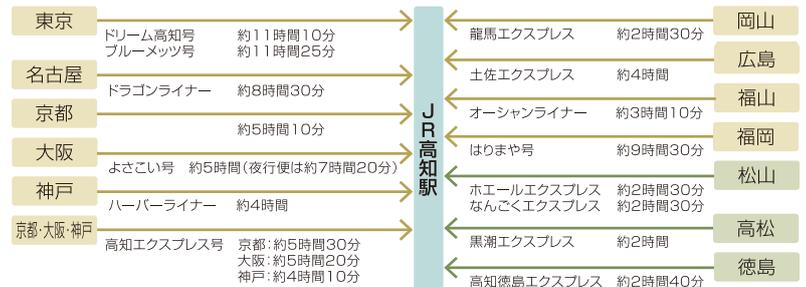
- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
- 高知駅から 車で約30分
空港連絡バスで約35分、「高知龍馬空港」下車、徒歩約15分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

高知県までの交通アクセス

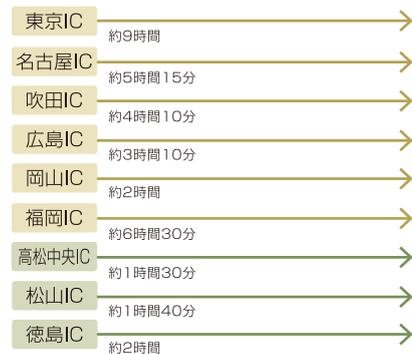
▶ **JR** ※乗換時間は含みません



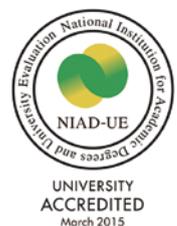
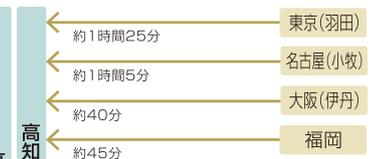
▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



高知大学案内

発行日 2018年6月 / 発行 高知大学総務課
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp